



沖縄県薬剤師会報

No.322. 2024(令和6年) 3・4・5月号



沖縄県薬剤師会

目次

トピックス	令和6年能登半島地震災害支援等への対応について(お礼)… 前濱 朋子・知念 大輔 (1)
表 彰	令和6年 春の叙勲 渡嘉敷見先生が受章…………… 長嶺 勇作 (2)
	令和6年度日本薬剤師会有功賞受賞…………… (3)
	石川 元信先生、島袋 勇先生、島袋 徳子先生、田仲 和恵先生、仲村 将順先生
	中村 麗子先生、原國 愛子先生、比嘉 清久先生、山城 秀子、伊敷 幸太郎先生
	神山 康喜先生、松田 進先生、吉田 和子先生、太田 秀雄先生、仲村 千佳子先生
第89回 総 会	第89回臨時総会会長演述…………… 前濱 朋子 (4)
	第89回臨時総会開催…………… 大城 喜仁 (5)
	第89回臨時総会に係る資料…………… (10)
災 害 対 策	令和5年度 沖縄県災害薬事コーディネーター養成研修会 …… 神山 康馬・仲地 剛 (25)
	能登半島地震災害支援派遣報告…………… 前里 由紀子 (28)
薬学部創設	令和5年度県内国公立大学薬学部設置シンポジウム…………… 阿部 義則 (30)
	関連イベント：(子ども調剤体験報告)…………… 又吉 智賀子 (32)
転 載 記 事	薬学部設置で「地域医療の底上げ」期待…………… (35)
薬 事 情 報	令和5年度医療安全講習会…………… 白坂 亮 (36)
実 務 実 習	令和6年度第Ⅰ期薬学生実務実習報告…………… 宮本 直樹 (38)
	令和6年度第Ⅰ期実務実習薬学生からの体験記・感想…………… (40)
地域医療提供	令和5年度在宅訪問薬剤師座学研修会報告…………… 三浦 健太郎 (42)
卸 薬 部 会	日本医薬品卸勤務薬剤師会2024年度研修会受講報告…………… 鈴鹿 玲子 (44)
学 薬 部 会	学薬だより～蟻虫とアタマジラミの予防対策等について～…………… 知名 博樹 (48)
月例相談会	第190回健康とおくすり相談会報告 …… 又吉 智賀子 (49)
寄付・支援	沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式…………… (50)
D I	薬事情報おきなわNo. 279…………… 薬事情報センター (51)
試験センター	試験検査センターからのお知らせ…………… (65)
薬 草 学	身近な薬草を知ろう 第64回 ニトベギク …… 狩俣 イソ (66)
リレー随筆	囲碁とA I …… 竹内 聡 (68)
薬連だより	沖縄県薬剤師連盟臨時評議員会…………… 大城 喜仁 (69)
	オレンジ日記「災害支援と防災技術」「医薬品の供給安定化に向けて」「ODへの対応」…… 本田 顕子 (72)
	政幸だより「通常国会が始まりました」「資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会で質問に 立ちました」「能登半島地震の被災地を視察しました」「予算委員会で質問に立ちました」…… 神谷 政幸 (74)
	沖縄県薬剤師連盟SNSアカウントを開設 …… (76)
会 務 報 告	令和6年2月～4月分…………… (77)
	沖縄県薬剤師連盟会務報告 令和6年2月～4月分 …… (81)
転 載 記 事	訪問薬剤師について(那覇市医師会報掲載記事) …… 喜友名 朝史 (82)
	協会けんぽとの連携事業「事業所で取り組む禁煙サポート事業」…………… (84)
	1週間程度の予備準備を ―災害時の服用薬 …… 糸嶺 達 (86)
	薬学部新設「琉球大単独では困難」…………… (87)
国保・社保	令和6年度 レセプト受付日と診療報酬支払日 …… 沖縄県国民健康保険団体連合会 (88)
	令和6年度診療(調剤)報酬請求書等受付及び返戻レセプト等発送日について… 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 (89)
会 員 作 品	誌上ギャラリー(裏表紙)について…………… (90)
編 集 後 記	…………… (90)
お 知 ら せ	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について…………… (24)
	地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！…………… (48)
	会報原稿募集のご案内…………… (90)

・表紙

題字：豊平峰雲

「博多灯明」photo by 伊集 智英(くはら薬局) 撮影地：福岡県博多区

写真説明：昨年福岡を訪れた際に行われていた灯明祭りの写真です。

トピックス

令和6年5月10日

会員各位

沖縄県薬剤師会
会 長 前濱 朋子
災害対策委員会
委員長 知念 大輔

令和6年能登半島地震災害支援等への対応について（お礼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会にて、令和6年1月17日から3月末日まで能登半島地震の被災者支援のための義援金を募集したところ、260万9,775円のご芳志をお寄せいただきました。お寄せいただきました義援金は、4月22日に日本赤十字社沖縄県支部に全額を届けました。

これとは別に、日本薬剤師会が行った被災会員への義援金については、全国の薬剤師会から3,200万円以上集まり現地被災会員の復興のために使われるとのことでした。

また、災害支援薬剤師の募集では、6名の会員から申し込みがあり、その内5名が日本薬剤師会及び九州チームとして石川県に派遣されました。派遣された会員は避難所での調剤や医薬品・OTCの供給、環境衛生などに従事し、その活動は高く評価されています。

この度、会員の皆様からいただいたご支援、ご協力に衷心より厚く感謝を申し上げ、ご報告させていただきます。

敬具

令和6年 春の叙勲 渡嘉敷見先生が受章



左から前濱朋子会長、渡嘉敷見先生、阿部義則専務理事

5月16日（木）、会員の渡嘉敷見先生が沖縄県薬剤師会館を訪れ、前濱朋子会長および阿部義則専務理事に令和6年春の叙勲（瑞宝双光章）受章の報告をされました。

渡嘉敷見先生は、昭和58年から現在に至るまで那覇市立松城中学校、他複数の学校薬剤師に委嘱され40年間学校薬剤師として活動されております。また、昭和62年に沖縄県学校薬剤師会の副会長に就任し、平成9年から平成25年まで沖縄県学校薬剤師会会長を務められました。その間、複数の大会の沖縄県での開催実現に向けて企画・立案し、実行に移して成功させたことで、学校薬剤師のみならず養護教諭等の資質向上にも寄与されました。

このような功績が認められ、今回の受章に至っております。

渡嘉敷見先生、この度の受章、誠におめでとうございます。（文：事務局 長嶺 勇作）



令和6年4月29日（月）
沖縄タイムス・琉球新報

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

令和6年度 日本薬剤師会有功賞 受賞



おめでとうございます

石川 元信先生	島袋 勇先生	島袋 徳子先生
田仲 和恵先生	仲村 将順先生	中村 麗子先生
原國 愛子先生	比嘉 清久先生	山城 秀子先生
伊敷 幸太郎先生	神山 康喜先生	松田 進先生 (物故会員)
吉田 和子先生	太田 秀雄先生	仲村 千佳子先生



<見本>

寸法：縦195mm × 横145mm
本体：木製（背面にスタンド有り）
レリーフ：鉄製（金塗装）
プレート：アルミ製（レーザー加工印刷）

※受賞者の功績を称え誇りを維持し、より親しみを感じて頂ける形として、日本薬剤師会の組織・会員委員会で検討し、これまでの表彰状および記念品を令和4年度から「表彰盾」に変更することになった。

※同賞の伝達授与は令和6年8月25日（日）開催予定の「熟年の集い」にて執り行われます。受賞者には、ご案内の通知をお届け致しますので、是非ご出席の程よろしくお願い致します。

第89回総会

第89回臨時総会 会長演述

沖縄県薬剤師会第89回臨時総会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

今年、1月1日に発生した能登半島地震、翌2日に羽田空港で起きた海上保安庁航空機と日本航空旅客機の衝突事故でお亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますと共に、被災された全ての方々、その関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

能登半島地震・津波被害への支援におきましては、本会の会員が沖縄県医師会のJMATの一員としていち早く現地に赴き支援活動を開始し、その後も日薬や九山の支援チームとして支援活動に参加しています。前線で活動された会員の皆様に敬意を表します。

さて、昨年5月にコロナウイルス感染症の感染症法上の分類が変更されたことにより、人々の行動制限がなくなって、コロナ禍前の生活に戻りつつある中、季節性インフルエンザやコロナウイルス感染症が流行し、セルフメディケーションや環境衛生に関する知識の提供など、地域においては薬局・薬剤師、学校においては学校薬剤師への期待は益々高まっています。

また、今年4月からスタートする県の第8次沖縄県医療計画においては、5疾病及び新たに加わった新興感染症を含む6事業、並びに在宅医療の全てに薬剤師・薬局の役割が明記されたほか、災害薬事コーディネーターの配置の明記など地域への医薬品の安定供給を担う薬剤師への期待が現れたものとなっています。

このように薬剤師への期待がかかる一方で、規制改革推進会議では、薬剤師の対人業務強化の名の下に「調剤業務の外部委託」が進められようとしています。

更に、引き続き懸念されている医薬品の供給不足への対応や地域包括ケアシステムの構築への対応も令和6年度直面する課題となっています。

本会としましては、このような課題等に対し、日薬を通して国政に働きかけを行っていますが、やはり、我々薬剤師職能からの国会議員の政策関与が欠かせません。会員の皆様には、御理解と御協力をお願いします。

本日は、議案2件の審議と令和6年度の事業計画、収支予算の報告を予定していますのでよろしくお願い申し上げます。

令和6年3月17日
会長 前濱 朋子



<第89回臨時総会次第>

1. 開会の辞

(議長・副議長選出)

2. 議長・副議長登壇あいさつ

点呼、宣告

3. 会長あいさつ

4. 議題

- 議案 第1号 会費等の減免措置規程の件
 第2号 理事の辞任に伴う理事の選任の件
 報告 第1号 令和6年度事業計画書の件
 第2号 令和6年度収支予算書の件
 第3号 令和6年度会費額に関する件

5. 閉会の辞

司 会 常務理事 宮城 幸枝
 副 会 長 中村 克徳

議 長 宮本 直樹
 副 議 長 新垣 慶朗
 会 長 前濱 朋子

専務理事 阿部 義則
 常務理事 姫野 耕一
 常務理事 喜友名朝史
 副 会 長 川満 直紀
 副 会 長 川満 直紀
 副 会 長 古謝 玄太



開会の辞
 中村克徳 副会長



議長：宮本直樹代議員（左）
 副議長：新垣慶朗代議員（右）



会長あいさつ
 前濱朋子 会長



議案第1号
 阿部義則 専務理事



議案第2号
 姫野耕一 常務理事



報告第1号
 喜友名朝史 常務理事



報告第2・3号
 川満直紀 副会長



閉会の辞
 古謝玄太 副会長



司会
 宮城幸枝 常務理事

第89回総会

第89回 臨時総会 開催

日時：令和6年3月17日（日）13:30～14:45

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

司会の宮城幸枝常務理事が、第89回臨時総会を進行した。

司会が、「代議員には、新型コロナウイルス感染症等の発生を踏まえた今回の臨時総会開催の取扱いについて、発熱や風邪症状がある、体調に不安がある場合等は、参加の自粛を要請、また、欠席の場合は、予備代議員への出席の呼びかけ、もしくは本会定款第19条の議決権の代理行使に係る委任状の提出を案内したが、多くの代議員が会場へ参加いただいたことに感謝する。」と述べた。続けて、配布資料の確認および修正箇所の説明を行った。

開会の辞を中村克徳副会長が、「令和6年度診療報酬改定は、より薬剤師間の連携が必要な重要な改定となっており、情報共有も重要となってくることから当会が発信する研修等も十分に活用していただきたい。」と述べた。

定款第15条により、議長と副議長の選出が行われ、議長に那覇北支部の宮本直樹代議員、副議長に宜野湾支部の新垣慶朗代議員が選出され、代議員51名の内、会場出席38人、委任状提出による出席が12人、欠席1名で、50名が出席扱いとなることを確認し、議決権定数（代議員総数の過半数）を満たしていることが述べられ、第89回臨時総会開催の成立を宣言した。

そして、前濱朋子会長があいさつ（前頁掲載会長演述参照）したあと、副議長より議題（議案2題、報告3題）を各担当役員が説明し、議案はその都度決議を執ることが告げられた。

<議案第1号 会費等の減免措置規程の件>

阿部専務理事が、本会会費規程の施行上必要と認められる会費等の減免措置を「会費等の減免措置規程」（後頁掲載資料参照）として定めることについて、次のように提案理由等を説明し、決議を求めた。

本会の会員数は、組織率約50%で横ばい状態となっており、沖縄県においても今後訪れる少子化を見据えると新規会員の獲得が本会の大きな課題となっている。組織強化等に資するとして理事会が認めた時の入会金や年会費の減免措置や会費規程第4条第3項に規定する疾病、罹災等により会費の納付が困難な場合に、年会費の減免措置を行うことができるよう規程を制定する必要がある。沖縄の病院薬剤師で本会の会員となっているのは8%程度と低いことから、特に組織強化に資する事項として、病院薬剤師で40才以下の若年層（本会の青年部会の対象年齢）を対象に入会金の免除と年会費額の50%減額措置の規定を設けた。減免措置規程は、会費規程に付随するものとして会費規程に準じて社員総会の決議を求めるものとなっている。

宮本直樹議長が、議案第1号について質疑があるか求めた。代議員からの多種多様な質疑が出され、阿部専務理事が順次説明、答弁した。

宮本直樹議長が、議案第1号について決議を採るため、賛成の代議員に挙手を求め、定款第17条により出席代議員の過半数の挙手を確認し、議案第1号の会費等の減免措置規程の件は、決議・承認された。

＜議案第2号 理事の辞任に伴う理事の選任の件＞

姫野耕一常務理事が、理事の辞任届の提出があり、その後任として所属部会より推薦があることについて、次のように提案理由等を説明し、決議を求めた。

卸勤務薬剤師部会代表理事の島袋さゆり理事が令和6年3月31日付けで勤務会社を退職することが辞任理由で、同部会からの新たな理事を選任する必要がある。理事候補者は卸勤務薬剤師部会所属の鈴鹿玲子氏である。選任や任期等については、配布資料に記載の定款第24条第1項、第27条第1項と第3項ならびに本会理事候補選出要綱を参考にしていきたい。

宮本直樹議長が、議案第2号について質疑があるか求めた。

代議員から、質問ではなく、理事選任にあたって、個々人の履歴を添付するよう要望があった。

宮本直樹議長が、議案第2号について決議を採るため賛成の代議員に挙手を求め、定款第17条により出席代議員の過半数の挙手を確認し、議案第2号の理事の辞任に伴う理事の選任の件は、決議・承認された。

＜報告第1号 令和6年度事業計画書の件＞

喜友名朝史常務理事が、配布資料（後頁掲載資料参照）に沿って事業計画を滞りなく説明した。各委員会、各部会の事業計画については、特に、新規、変更のある箇所を具体的に説明した。

宮本直樹議長が、報告第1号「令和6年度事業計画書の件」について、質疑があるか求めたが、特に無かった。

＜報告第2号 令和6年度収支予算書の件＞

川満直紀副会長（財務担当理事）より、これら予算は、今年度の収支状況を踏まえ本会顧問税理士と調整、去る2月22日開催の財務委員会においても調整と確認をし、3月2日開催の理事会にて承認を得ていると先に述べた。資料の説明は、事業会計ごとに収支予算書の数字を読み上げた後、概要を説明する順序で行われた。また、合算内訳予算表より、公益事業にあたる実施事業等会計、共益及び収益事業にあたるその他会計（会営薬局うえはら・とよみ等）、会本体の管理にあたる法人会計についても説明した。

そして、会費収入だけに頼らない経常収益力の強化、及び国や県からの補助金等の獲得・拡充も視野に入れながら、薬剤師の職能及び社会的・経済的地位の向上に関する事業を実施していくこと、支出面においても、節約するところは節約して、会員からいただいている会費収入であることを肝に銘じて大切に使用していくことを述べた。

最後に、令和6年度事業計画でも報告した今後の会営薬局の収支状況を踏まえた本会の公益認定についても、プロジェクトを立ち上げて検討作業に取り組んでいくことも加えて述べた。

宮本直樹議長が、報告第2号について質疑があるか求めた。

代議員から、琉球大学病院の移転後の会営薬局うえはらの運営に関する質問があり、前濱会長が、プロジェクトを立ち上げて検討していくこと、琉球大学病院の移転後も直ぐに閉局することではなく、残務整理もしながら検討していきたい等の説明、答弁した。

続けて代議員から、地域の薬局では薬剤師や医療事務が不足する中、急な入院や治療、冠婚葬

祭なども多々あり、薬局を休むと患者どころか近くのクリニックや薬局にも迷惑をかける。そこで、会が派遣業務を取り入れることも前向きに検討いただきたい、との要望に前濱朋子会長が、地域の現状は地区薬剤師会が把握していると認識しているが、この提案についてもプロジェクト内で検討していく、と答弁した。

＜報告第3号 令和6年度会費額に関する件＞

川満直紀副会長（財務担当理事）より、令和6年度の各種会費額は、令和5年度と同じ設定額となっているが、今後の収支状況も踏まえ、去る2月22日開催の財務委員会、3月2日開催の理事会の承認を得て、臨時総会の報告とすることを述べた。また、会費額の変更が無いことによって会費規程の変更も無く、社員総会の決議を要さない案件ではあるものの予算編成との連動もあることから、収支予算書と併せて臨時総会で報告することを述べ、配布資料（後頁掲載資料参照）に沿って説明した。

宮本直樹議長が、質疑があるか求めたが、特に無かった。

全議題の審議を滞りなく進行した議長と副議長が降壇した。

最後に、閉会の辞を古謝玄太副会長が、長い時間にわたる総会への参加への労いとともに、次のように述べた。

「沖縄県の社会経済状況について一言だけ述べさせていただく。昨年、コロナ感染症が5類に移行してから観光客が非常に増えてきた。昨年の観光客数でいうと国内客はコロナ前と同等であったが、インバウンドについてはそこまで回復していなかった。しかし、今年に入って路線も回復し、新たに東南アジア路線もできることから、おそらくインバウンドもコロナ禍前のように増え、県内に多くの人が入ってくることが十分に予想される。感染症の対応にも関係することなので、共通認識として持っていただければと思う。もう一つは人口の話だが、とうとう沖縄県も人口減少に突入した。昨年末に国の機関が発表した推計によると、2050年まで引き続き全国的に人口が減少していくことが見込まれている。東京都以外は全て減少していく。沖縄県は他の地域にくらべると人口の減り幅は少ないが、顕著に高齢化が進んでいくということである。人手不足に加え、高齢者への対応というのも医療関係では大きなテーマとなっていくものと思う。そこは行政機関としてしっかりと対応していくとともに、薬剤師会としてもこうした課題に取り組んでいければと思っているので、引き続きご協力いただきたい。」と述べ、沖縄県薬剤師会第89回臨時総会を閉会した。
(文:事務局 大城喜仁)

※第89回臨時総会の議事録は、本会定款第4章社員総会第20条に基づき、作成、署名押印され、沖縄県薬剤師会事務局に保管されている。質疑の詳細は、議事録を参照されたい。

[第89回臨時総会出席者]

敬称略

<理事・監事>

- | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|
| ○前濱 朋子 (会長) | ○中村 克徳 (副会長) | ○川満 直紀 (副会長) |
| ○古謝 玄太 (副会長) | ○阿部 義則 (専務理事) | ○姫野 耕一 (常務理事) |
| ○佐藤 雅美 (常務理事) | ○宮城 幸枝 (常務理事) | ○知名 博樹 (常務理事) |
| ○喜友名朝史 (常務理事) | ○浅沼 健一 (北部地区代表) | ○石川 恵市 (中部地区代表) |
| ○又吉智賀子 (那覇地区代表) | ○名嘉 紀勝 (南部地区代表) | ○古謝 真己 (宮古地区代表) |
| ○幸地 良信 (八重山地区代表) | ○知念 大輔 (災害対策担当) | ○島袋さゆり (卸部会代表) |
| ○村田美智子 (女性薬部会代表) | ○吉田 典子 (薬事情報担当) | |
| ○江夏 京子 (監事) | ○山里 勇 (監事) | |

<代議員>

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| ○玉城 純 (名護支部) | ○新川 祥平 (宜野湾支部) | ○國吉 直子 (小禄支部) |
| ○西坂 順 (名護支部) | ※藤田 由 (宜野湾支部) | ○久場 良幸 (浦添支部) |
| ○屋嘉比康作 (名護支部) | ○池田 武俊 (宜野湾支部) | ※杉山 英司 (浦添支部) |
| ※江夏 恭範 (うるま支部) | ○新垣 紀子 (首里支部) | ○鈴木 一徳 (浦添支部) |
| ※瑞慶山純子 (うるま支部) | ○大塚成一郎 (首里支部) | ○武富 弘記 (浦添支部) |
| ※徳嶺 恵子 (うるま支部) | ○村上 市子 (首里支部) | ※日高久美子 (浦添支部) |
| ○福地 健治 (うるま支部) | ○上原 幸代 (那覇東支部) | ○新垣 秀幸 (糸満支部) |
| ○阿嘉 秀寅 (沖縄支部) | ○大城 聖子 (那覇東支部) | ○伊敷松太郎 (糸満支部) |
| ※内嶺 陽平 (沖縄支部) | ※玉村 澄恵 (那覇東支部) | ○小湾 勝敏 (糸満支部) |
| ○玉城 幸輝 (沖縄支部) | ○戸田 澄之 (那覇東支部) | ○松本 圭五 (糸満支部) |
| ○玉城 武範 (沖縄支部) | ※又吉 晴美 (那覇東支部) | ※川上雄一朗 (南風原支部) |
| ○普久原 隆 (沖縄支部) | ○安次富長洋 (那覇北支部) | ○川上 善久 (南風原支部) |
| ※諸見里めぐみ (沖縄支部) | ○平良 博文 (那覇北支部) | ○鈴鹿 玲子 (南風原支部) |
| ○四谷 祐子 (沖縄支部) | ☆宮本 直樹 (那覇北支部) | ○伊敷さゆり (南風原支部) |
| ○上原 卓朗 (沖縄支部) | ○大湾 優子 (那覇中央支部) | ○下地 仁 (平良支部) |
| ○藤原 明人 (嘉手納支部) | ※小湾 喜彦 (那覇中央支部) | ○新嵩 由香 (石垣支部) |
| ◎新垣 慶朗 (宜野湾支部) | ○島袋 雅子 (小禄支部) | |

☆：議長 ◎：副議長 ○：現地出席 ※議決権委任 (内、議長委任18人)



役員席側

第89回総会

<議案第1号 会費等減免措置規程に関する件>

会費等減免措置規程

(目的)

第1条 この規程は、定款第7条第2項に規定する経費の負担及び会費規程第10条に規定する会費規程の施行に必要な事項及び本会の組織強化等に資することを目的に入会金、年会費の減免措置について必要な事項を定める。

(入会金の減免措置)

第2条 次の各号のいずれにも該当する者について、理事会の承認を得て入会金を免除することができる。

- (1) 本会の組織強化のために行う入会を推進する取り組みに賛同する者
- (2) 入会后、5年間以上会員資格を保持することを確約する者
- (3) 本会の事業活動に協力する者
- 2 会長が提案し理事会の特別決議（全理事の2/3以上の賛成）を得た場合は、入会金の一部を減額することができる。その場合の減額の割合は50%とする。
- 3 第1項、第2項の減免措置を受けた者が要件を充たさなくなったときは、減免措置を受けた額をすみやかに本会に支払うものとする。

(年会費の減免措置)

第3条 会費規程第4条第3号に規定する会員が疾病、罹災等により年会費の納付が困難なときは、必要と認める期間年会費を免除することができる。なお、必要と認める期間は、会長が判断するものとする。

- 2 次の各号のいずれにも該当する者について、理事会の承認を得て年会費を減額することができる。
 - (1) 沖縄県病院薬剤師会の会員であって、年齢が40歳以下の者
 - (2) 病院等組織にあつて、職員を管理監督する立場でない者（薬局長・薬剤部長等でない者）
 - (3) 入会后、5年間以上会員資格を保持することを確約する者
 - (4) 本会の事業活動に協力する者
- 3 前項に該当するものとして理事会の承認を得た者について、正会員（B会員）の年会費の減額の割合は、50%とし、第2条第1項の規定を適用し入会金を免除する。
- 4 第2項に規定する者のほか、次の手続きによって、理事会が承認の決議をした場合は減免の割合、期間を定めて対象とすることができる。
 - (1) 理事会の特別決議（全理事の2/3以上の賛成）によること
 - (2) 第1項第3号、第4号を充たす者であること
- 5 第3項の減免措置を受けた者が第2項各号の要件を満たさなくなったときは、すみやかに減免措置を受けた額の総額を本会に支払うものとする。

(年度途中での入会、会費区分の変更等)

第4条 年度途中で入会する正会員等の年会費は、沖縄県薬剤師会会費規程第4条第2項の規

定により取り扱うものとする。

- 2 年度途中で会費区分の変更の必要が生じた場合の年会費は、経費区分毎に月割りで計算した額を合算した額とする。(減免措置の取り消し等)

(その他)

第5条 入会金、年会費の減免措置に関する理事会の承認等議案にあつては、利害関係にある理事は決議に参加することはできない。

附 則

- 1 この規程は、令和6年3月17日から施行する。
- 2 この規程施行前に行った入会金等の減免措置については、この規程によるものとみなすものとする。

<議案第2号 理事の辞任に伴う理事の選任の件>

理事の辞任届の提出があり、その後任として以下の者が所属部会より推薦されておりますので、この者を後任の理事に選任することについて社員総会の決議を求める。

- ・理事候補者名：鈴鹿 玲子
- ・所 属 部 会 名：卸勤務薬剤師部会
- ・任 期：選任の日から令和6年度会計に関する定時社員総会の終結の時まで

※辞任届出理事名：島袋 さゆり

辞 任 理 由：令和6年3月31日付け退職に伴うもの

<参考>一般社団法人 沖縄県薬剤師会 定款 抜粋

(役員の選任)

第24条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

2～5 略

第25条～第26条 略

(役員の任期)

第27条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。

2 略

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 略

一般社団法人 沖縄県薬剤師会理事候補選出要綱

○会長候補以外の理事候補については、六地区薬剤師会及び定款施行規則第4条に定める部会から各1人を理事候補として推薦することができる。

【提案理由】

- ・卸勤務薬剤師部会からの理事の辞任に伴い、同部会からの新たな理事を選任する必要がある。

第89回総会

<報告第1号 令和6年度事業計画の件>

令和6年度 沖縄県薬剤師会 事業計画

新型コロナウイルス感染症は、昨年5月、感染症法上の分類が変更され、多くの社会活動が再開されました。4年間余り続いた新型コロナウイルス感染症は、多くの負の影響をもたらしましたが、一方、会議や研修会、在宅勤務におけるwebの活用などコロナ以前にはなかなか進展しなかった新たな生活スタイルが定着してきています。我々薬剤師に関することでは、自らの感染防御に努めながら検査キットの販売やOTC医薬品の提供、ワクチンの集団接種会場での充填業務などに尽力したことで今までにないほど薬剤師に対する認知度、期待の高まりを感じることができます。

また、今年1月に発生した能登半島地震・津波被害への支援において、沖縄県医師会のJMATに薬剤師の参加を求められたことについてもこれまでの薬剤師の活動が認められた成果だと考えます。

今年4月からスタートする県の第8次沖縄県医療計画において、沖縄県災害医療本部に災害薬事コーディネーターの配置が記載され、本会では、昨年度から県の委託事業としての養成研修を受託して実施しています。薬剤師の災害対応力向上に向け、県とともに取り組みを進めていきます。

この医療計画においては、5疾病と新たに加わった新興感染症を含む6事業、並びに在宅医療の全てに薬剤師・薬局の役割が明記され、地域への医薬品の供給は須く薬剤師が担うことが期待されています。これまで大きな課題とされてきた薬剤師の確保についても、県は医療計画と連動する形で薬剤師確保計画を策定し取り組みを進めるとしていることから、本会としても連携して取り組んでいきます。

国は、医療DXを推進するとし、日本薬剤師会も推進する立場であることから、本会も賛同し、日本薬剤師会が掲げる(1)電子処方箋への対応(レセコン対応・体制)、(2)オンライン服薬指導への対応(導入・訓練)、(3)電子お薬手帳への対応(日薬eお薬手帳3.0)、(4)マイナ保険証の利用促進、(5)サイバーセキュリティ対策に関する取り組みを推進します。

一方、規制改革では、「対人業務の充実」の名の下に「調剤業務の外部委託」が進められようとしていますし、国が目標に掲げる「地域包括ケアシステム」の構築時期まであと1年となり、超高齢社会が本格化する2025年を目前にして、如何に地域社会と共生していくかがこれからの薬局・薬剤師にとって重要な課題ともいわれています。また、ジェネリック医薬品を中心とした医薬品の供給不足は依然続いており、国は令和5年度補正予算により医療上必要性の高い医薬品の増産支援をするなどしていますが産業構造上の要因もあり一朝一夕に解決するものではないようです。

このような時代の変化、社会の要請に対応し、将来にわたって薬剤師・薬局がさらに存在意義を高めていくことができるよう本会としては取り組みを進めていきます。

このような状況に鑑み本会としては、令和6年度の事業を推進するにあたって、次に掲げる取り組みを重点的に推進していきます。

1 時代の変化に即した薬剤師・薬局機能の充実のための取り組み

- (1)地域医療提供体制の構築推進
- (2)地域包括ケアシステムを踏まえた介護、保健等の提供体制への取り組みの推進
- (3)災害時に必要な医薬品・医療材料の確保・供給及び薬剤師の確保・派遣に対する対応
- (4)公衆衛生・薬事衛生への対応
- (5)薬剤師養成のための薬学教育への対応
- (6)関係機関との連携強化

2 生涯学習に関する取り組み

- (1)沖縄県薬剤師会学術大会の開催
- (2)新任・新人薬剤師研修会の開催
- (3)地域薬学ケア専門薬剤師などの薬剤師育成支援事業への参画並びに専門薬剤師の養成
- (4)日本薬剤師会生涯学習支援システム「JPALS」の登録及び利用促進
- (5)かかりつけ薬剤師機能強化のための「研修シラバス」を組み入れた研修会の開催
- (6)日本薬剤師研修センター認定薬剤師の認定薬剤師取得の支援
- (7)日本薬剤師会学術大会への参加・発表促進
- (8)地域薬剤師会生涯研修の計画及び実施の支援
- (9)病院薬剤師会との共催による学術講演会の開催
- (10)他団体の実施する研修会・講演会への積極的参加の促進
- (11)倫理審査の円滑な運用
- (12)日本薬剤師研修センター「研修会開催支援業務」研修会の開催
- (13)会員が求める新しい生涯学習の企画、実施
- (14)日本薬剤師会研修プラットフォームの導入及び登録・利用促進

その他事業として、部会、委員会を通じて以下の事業を実施します。

1 関連事業

- (1)健康とお薬相談会の実施
- (2)「薬と健康の週間」事業（10月17日 ～ 10月23日）
- (3)各種関連協議会への参加協力
- (4)関連機関・団体との協議及び懇談
- (5)関係行政当局との定期的連携協議
- (6)おきなわ薬剤師会報の発行
- (7)薬剤師無料職業紹介（求人・求職斡旋）事業、薬剤師確保対策事業
- (8)日本薬剤師会各種保険への加入促進
（薬剤師賠償責任保険・個人情報漏洩保険・休業補償保険・薬剤補償保険・サイバー保険）
- (9)財務基盤の強化
- (10)麻薬覚せい剤及び薬物乱用防止対策行事への参加協力
- (11)公的介護保険制度への積極的参加
- (12)「健康おきなわ21」の企画実践

2 沖縄県関係事業

(1)補助事業

- ・救急医療対応薬局体制確保事業
- ・認定薬剤師育成支援事業
- ・薬剤師確保対策事業
- ・訪問薬剤管理指導推進事業

(2)受託事業

- ・沖縄県災害薬事コーディネーター養成研修会業務
- ・沖縄県薬剤師認知症対応力向上研修事業
- ・「薬と健康の週間」運営等業務委託
- ・ポリファーマシー防止普及啓発、相談事業（仮称）令和6年6月から事業予定

3 協会けんぽ沖縄支部、沖縄県保健医療福祉事業団との三者事業

- ・事業所で取り組む禁煙サポート事業

4 委員会・部会実施事業

- ・以下各委員会、部会実施事業を記載

委員会・部会

1 学術研修委員会

- (1)第37回沖縄県薬剤師会学術大会の開催
- (2)令和6年度新任・新人薬剤師研修会の開催
- (3)日本薬剤師研修センター「研修会開催支援業務」研修会の開催
- (4)日本薬剤師会研修プラットフォームの登録及び利用促進
- (5)地域薬学ケア専門薬剤師などの認定薬剤師育成支援事業への参画ならびに専門薬剤師の養成
- (6)かかりつけ薬剤師機能強化のための「研修シラバス」を組み入れた研修会の管理
- (7)日本薬剤師会学術大会・九州山口薬学大会への参加・派遣・発表促進
- (8)JPALSの登録及び利用促進
- (9)薬剤師生涯学習の支援
- (10)生涯教育担当者連絡会議等への参加
- (11)倫理審査の円滑な運用
- (12)その他、研修会・講演会の共催及び支援

2 地域医療提供体制対策委員会

- (1)薬薬連携会議の開催（薬薬連携及び医療従事者間の連携事業の推進）
- (2)医薬分業関連事業に関すること
- (3)健康サポート薬局機能の充実を図る研修と周知活動の実施
- (4)在宅医療支援薬局の拡充と他職種への情報提供の実施
- (5)「地域連携薬局」「専門医療機関連携薬局」認定サポート
- (6)お薬手帳・電子お薬手帳の啓発活動
- (7)成育医療分野における薬物療法に係る連携体制構築

- (8)無菌調製研修会の実施（会営薬局うえはら無菌室の共同利用を支援）
- (9)ジェネリック医薬品の推進
- (10)おきなわ津梁ネットワークの推進
- (11)その他、地域医療提供体制対策に関すること

3 医療保険委員会

- (1)令和6年度調剤報酬改定等説明会の開催
- (2)共同指導・個別指導における指摘事項の研修会
- (3)充実した薬歴簿作成についての研修会
- (4)会報への「調剤報酬請求業務Q&A」の継続掲載
- (5)新規保険薬局向け相談業務
- (6)調剤報酬の改定に伴う薬局業務に必要な書類等の整備（掲示物・お薬手帳等）
- (7)その他、医療保険に関すること

4 保健・福祉委員会

- (1)生活習慣病等の予防医療に関する事業
- (2)健康とおくすり相談会等の薬剤師の地域貢献に関する事業
- (3)薬剤師認知症対応力向上研修会の開催
- (4)地域包括ケアシステムにおける薬局薬剤師の役割に関する事業
- (5)自殺対策に関する事業
- (6)禁煙支援に関する事業
- (7)緊急避妊薬に関する事業
- (8)その他、保健・福祉に関すること

5 薬事情報委員会

- (1)医薬品情報の管理・収集・提供
- (2)県民からの薬の相談及び県民向け広報活動
（沖縄県難病相談支援センター「アンビシャス」原稿執筆等）
- (3)日本薬剤師会「文献書誌情報検索システムBunsaku」事業
- (4)アンチ・ドーピング防止・啓発活動
- (5)沖縄県薬剤師会ホームページの制作・企画・運用
- (6)広報誌発行
- (7)医療事故調査制度に関すること（沖縄県医師会医療事故調査支援委員会への参加等）
- (8)沖縄県医療安全推進協議会（沖縄県医療安全対策事業）への協力
- (9)PMDA（医薬品医療機器総合機構）が集積する医療安全全般に係る関連事業の啓発・推進
- (10)薬局における医療安全管理指針、業務手順書の定期的な見直しを啓発
- (11)調剤業務、医薬品販売業務に関する過誤対策及び支援
- (12)医療安全講習会の開催
- (13)DEM事業の実施
- (14)高度管理医療機器等継続研修会の開催薬剤師会関連機関および他機関との機能連携
- (15)地域公衆衛生活動の推進と支援
- (16)その他（会営薬局の支援等）

6 災害対策委員会

- (1)災害薬事コーディネーターの整備
- (2)災害支援薬剤師の整備
- (3)新興感染症発生・まん延時に対応する体制整備
- (4)沖縄県薬剤師会BCP(事業継続計画)に沿った改訂検討
- (5)災害時の救援活動等への医薬品・支援用品の準備
- (6)災害時における公衆衛生対策方法の周知
- (7)救命活動に関する事業ガイドラインに基づいたBLS(一次救命救急)訓練、講習会開催
- (8)県の防災計画・訓練等への積極的な参画
- (9)県内医薬品卸売業者との災害時医薬品供給に関わる連携
- (10)その他、災害対策に関すること

7 広報委員会

- (1)おきなわ薬剤師会報の発行・会報掲載用の取材
- (2)薬剤師職能のPR(県民への啓発・薬学生との懇談)
- (3)ホームページの効果的活用のための支援
- (4)薬学部創設に向けての広報活動
- (5)マスコミへのタイムリーな情報提供
- (6)くすりと健康フェア(薬と健康の週間)PR活動
- (7)その他、広報に関すること(Facebook運営など)

8 財務委員会

- (1)一般会計、収益事業部の予算・決算に関すること
- (2)会費徴収に関すること
- (3)収益事業部の運営・経済面での監督、指導
- (4)その他、予算・決算に関すること

9 会営薬局委員会

- (1)調剤報酬改定等に対応した運営に関すること
- (2)会営薬局であることを意識した運営に関すること
- (3)会営薬局の労務環境に関すること
- (4)その他、会営薬局の運営等に関すること

10 試験検査センター委員会

- (1)令和6年度計画的試験
- (2)医薬品精度管理試験(日本薬剤師会)および
登録試験検査機関技能試験(厚生労働省)の実施
- (3)学校及びこども園等の検査委託業務
- (4)民間企業からの検査業務
- (5)試験検査センター委員会の開催
- (6)県薬会報にて試験検査に関する広報

- (7)会員並びに調剤薬局等から医薬品等の分析依頼に対応
- (8)試験検査センター業務に関連する医薬品医療機器等法上の事項に対する
問い合わせへの対応
- (9)学校薬剤師業務に対する支援

11 薬学生実務実習受入委員会

- (1)認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップへの参加派遣
- (2)本島及び先島においての認定実務実習指導薬剤師養成講習会（新規・更新）の開催
- (3)指導薬剤師のスキルアップ研修会の開催
- (4)実務実習指導薬剤師の適正配置と実習生のマッチング
- (5)受入薬局への事前説明会およびサポート体制の充実
- (6)早期体験実習の受入
- (7)地区薬剤師会・他協力施設との連携
- (8)その他、薬学生実務実習受入に関すること

12 組織強化委員会

- (1)病院薬剤師の入会促進
- (2)未加入薬剤師の入会促進
- (3)各委員会・部会への組織強化につながる提言
- (4)その他、会の組織強化に関すること

13 薬学部創設推進委員会

- (1)沖縄県主催の薬学部設置シンポジウムへの参画
- (2)沖縄県内国公立大学薬学部設置に関する広報
- (3)関係機関との調整
- (4)その他、沖縄県内国公立大学への薬学部創設の推進に関すること

14 表彰選考委員会

- (1)沖縄県薬剤師会有功賞の設置
- (2)各種表彰の対象者の選考に関すること

15 学校薬剤師部会

- (1)学校薬剤師としての資質の向上のための講習会・研修会の実施
※公衆衛生に関連した地域活動に係る内容を含む
- (2)学校環境衛生検査全項目実施へ向けての働きかけ
- (3)学校給食センター（共同調理場）での環境衛生検査の実施と指導助言
- (4)「全国学校保健調査」の実施ならびにデータ解析
- (5)学校薬剤師部会組織の強化、試験検査センターへの検査委託の推進
- (6)学習指導要領に基づいた“くすりと健康の教育”の充実
- (7)未成年の喫煙・飲酒防止ならびに薬物乱用防止活動の推進と充実
- (8)健康教育の一環として「がん教育推進」のための資質向上と周知

- (9)学校における薬剤師職能紹介事業等への講師派遣
- (10)学校薬剤師の配置（1人1校担当を目指す）
- (11)なごみ会主催県民健康フェア「健康とおくすり相談会」への参加
- (12)県薬ホームページ“学薬の頁”、また県薬会報“学薬だより”の充実
- (13)学校における流行する感染症等への対応
- (14)沖縄県薬剤師会学校薬剤師部会、周年記念誌の発行
- (15)認定こども園の環境衛生検査の充実と指導助言
- (16)医薬品の適正使用について学校側への管理指導及び助言
- (17)各関係団体への協力と連携の推進

16 病院診療所薬剤師部会

- (1)組織と役員会の強化拡大
- (2)学術・教育研修活動の推進（Web対応の強化）
- (3)認定・専門薬剤師育成
- (4)薬薬連携の強化・拡大（研修制度の充実、合同研修会の実施）
- (5)「地域連携薬局」「専門医療機関連携薬局」における研修体制の充実
- (6)学会・学術大会に対する協力
- (7)病薬会誌発行とホームページの活用と充実
- (8)実務実習の充実と新規事業への取り組み
- (9)電子処方箋の運用
- (10)疑義照会簡素化プロトコルの活用促進
- (11)その他、病院診療所薬剤師部会事業に関すること

17 女性薬剤師部会

- (1)一般社団法人日本女性薬剤師会講座
「令和5年度薬剤師継続学習通信教育講座」の斡旋とスクーリングの実施
- (2)漢方講座の定期的継続開催
- (3)沖縄の薬草への知識を深める活動
- (4)「妊娠・授乳とくすり」関連研修会の開催
- (5)地域貢献活動として、浦添市と那覇市の「乳児一般健康診査」への継続参加
- (6)緊急避妊薬の調剤に関する事業
- (7)日本女性薬剤師部会事業に関する事業
- (8)その他

18 青年薬剤師部会

- (1)青年部組織強化（各地区での情報交換会、若手フォーラムの開催）
- (2)若手薬剤師への研修会・勉強会の開催・顔の見えるつながり
- (3)他県薬剤師会青年部会との交流（九州山口若手薬剤師協議会への参加）
- (4)なごみ会主催県民健康フェア「健康とおくすり相談会」への参加
- (5)薬剤師職能に関する啓発活動（グッジョブ事業など）
- (6)薬学生とU・Iターンに関する相談（薬剤師無料職業紹介所と協働）

- (7)薬学生との交流、日本薬剤師会学生会員への入会促進
- (8)その他（海軍病院見学など）

19 卸勤務薬剤師部会

- (1)学術大会、研修会、フォーラム等への派遣
- (2)薬学生実務実習生の受け入れ協力
- (3)令和6年度の継続研修テーマに則った研修の実施
- (4)その他、卸勤務薬剤師部会事業に関すること

20 行政薬剤師部会

- (1)組織の強化拡大
- (2)全国又は地方学会等への参加
- (3)沖縄県薬剤師会への入会取組強化
- (4)その他、行政薬剤師部会事業に関すること

また、令和8年度に本会が100周年を迎えることから、令和6年度に100周年対応プロジェクトを立ち上げ、準備を進めます。また、会営薬局の収支状況に鑑み、本会の公益認定についてもプロジェクトを立ち上げ、検討作業に取り組んでいきます。



代議員から活発な質疑があった

第89回総会

<報告第2号 令和6年度収支予算書の件>

令和6年度 収支予算

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
	小 計	小 計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
【 経 常 収 益 】				
基 本 財 産 運 用 益	0	0	0	0
基 本 財 産 受 取 利 息	0	0	0	0
特 定 資 産 運 用 益	100	1,050	600	1,750
特 定 資 産 受 取 利 息	100	1,050	600	1,750
受 取 入 会 金	0	0	1,050,000	1,050,000
受 取 入 会 金 費	0	0	1,050,000	1,050,000
受 取 会 費	0	6,000,000	101,610,000	107,610,000
正 会 員 受 取 会 費	0	0	56,400,000	56,400,000
賛 助 会 員 受 会 費 A	0	0	390,000	390,000
賛 助 会 員 受 会 費 B	0	6,000,000	44,500,000	50,500,000
特 別 会 員 会 費	0	0	320,000	320,000
事 業 収 益	88,326,000	1,706,138,900	0	1,794,464,900
出 版 物 事 業 収 益	1,300,000	3,800,000	0	5,100,000
広 告 料 事 業 収 益	410,000	0	0	410,000
そ の 他 事 業 収 益	21,100,000	2,407,500	0	23,507,500
調 剤 報 酬 収 入	27,500,000	1,569,750,000	0	1,597,250,000
一 部 負 担 金 収 入	6,500,000	115,350,000	0	121,850,000
小 分 治 療 剤 収 入	8,216,000	0	0	8,216,000
保 険 外 料	1,200,000	9,575,000	0	10,775,000
受 取 手 数 料	150,000	5,256,400	0	5,406,400
保 険 等 調 整 増 減	0	0	0	0
新 規 契 約 賦 課 金	10,000	0	0	10,000
利 用 契 約 金	2,200,000	0	0	2,200,000
医 薬 品 検 査 手 数 料	240,000	0	0	240,000
水 質 検 査 手 数 料	12,600,000	0	0	12,600,000
空 気 検 査 手 数 料	6,900,000	0	0	6,900,000
保 険 受 託 収 入	0	0	0	0
受 取 補 助 金	13,109,950	0	0	13,109,950
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	12,387,000	0	0	12,387,000
受 取 補 助 金 等 振 替 額	722,950	0	0	722,950
受 取 寄 付 金	0	0	265,207	265,207
受 取 寄 付 金	0	0	0	0
募 金 収 入	0	0	0	0
寄 付 金 等 振 替 額	0	0	265,207	265,207
雑 収 入	141,200	197,150	3,400,500	3,738,850
受 取 利 息	200	2,150	500	2,850
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	0	40,000	0	40,000
雑 収 益	1,000	95,000	100,000	196,000
事 務 受 託 収 益	140,000	60,000	3,300,000	3,500,000
経常収益計	101,577,250	1,712,337,100	106,326,307	1,920,240,657

科 目				実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
				小 計	小 計		
【 経 常 費 用 】							0
事 業 費				168,819,680	1,703,189,920	0	1,872,009,600
期 首 棚 卸 高				4,500,000	74,200,000	0	78,700,000
仕 入 高				21,463,680	1,483,536,320	0	1,505,000,000
期 末 棚 卸 高				△10,000,000	△32,100,000	0	△42,100,000
役 員 報 酬				4,450,000	1,940,000	0	6,390,000
給 与 手 当				50,027,000	48,923,000	0	98,950,000
雑 給				23,642,800	36,120,200	0	59,763,000
賞 与 費				3,020,000	13,030,600	0	16,050,600
退 職 給 付 費				616,000	1,501,000	0	2,117,000
法 定 福 利 費				7,816,000	14,265,000	0	22,081,000
福 利 厚 生 費				185,000	542,000	0	727,000
会 議 費				1,275,000	100,000	0	1,375,000
旅 費 交 通 費				8,378,500	3,771,500	0	12,150,000
通 信 運 搬 費				3,475,000	3,125,000	0	6,600,000
減 価 償 却 費				11,238,200	1,777,300	0	13,015,500
消 耗 品 費				4,880,000	2,450,000	0	7,330,000
修 繕 費				500,000	260,000	0	760,000
研 修 費				10,000	20,000	0	30,000
出 版 物 印 刷 費				4,825,000	2,975,000	0	7,800,000
会 報 発 行 費				0	0	0	0
地 代 家 賃				972,500	18,572,500	0	19,545,000
光 熱 水 料 費				3,301,000	4,379,000	0	7,680,000
賃 借 料 費				2,632,000	1,248,000	0	3,880,000
広 報 費				5,020,000	0	0	5,020,000
保 険 料				385,000	940,000	0	1,325,000
諸 謝 金				900,000	100,000	0	1,000,000
租 税 公 課				2,701,000	609,000	0	3,310,000
支 払 負 担 金				1,800,000	200,000	0	2,000,000
支 払 補 助 金				0	6,000,000	0	6,000,000
支 払 寄 附 金				150,000	0	0	150,000
委 託 費				0	0	0	0
外 注 費				3,000,000	0	0	3,000,000
支 払 手 数 料				1,576,000	6,542,000	0	8,118,000
交 際 費				100,000	75,000	0	175,000
管 理 諸 費				0	0	0	0
管 理 維 持 費				3,279,000	3,841,000	0	7,120,000
新 聞 図 書 費				790,000	187,500	0	977,500
貸 倒 引 当 金 繰 入 額				0	0	0	0
雑 費				0	0	0	0
支 払 利 息				511,000	59,000	0	570,000
商 品 廃 棄 損				400,000	2,000,000	0	2,400,000
予 備 費				1,000,000	2,000,000	0	3,000,000
法 人 会 計 (管 理 費)				0	0	47,649,000	47,649,000
役 員 報 酬						2,330,000	2,330,000
給 与 手 当						11,690,000	11,690,000
雑 給						0	0
賞 与 費						0	0
退 職 給 付 費						40,000	40,000
法 定 福 利 費						2,050,000	2,050,000
福 利 厚 生 費						100,000	100,000

科 目			実施事業等会計	その他会計	法人会計	合 計
			小 計	小 計		
表	彰	費			0	0
会	議	費			900,000	900,000
旅	交	通			3,800,000	3,800,000
通	運	搬			1,350,000	1,350,000
減	賃	却			703,000	703,000
消	耗	品			2,000,000	2,000,000
修	繕	費			500,000	500,000
出	版	物			0	0
地	代	家			0	0
光	熱	水			950,000	950,000
賃		借			800,000	800,000
広		報			0	0
保		險			100,000	100,000
諸		謝			0	0
租	税	公			450,000	450,000
支	払	負			16,500,000	16,500,000
支	払	補			100,000	100,000
支	払	手			2,000,000	2,000,000
交		際			550,000	550,000
管	理	維			450,000	450,000
新	聞	図			200,000	200,000
支	払	利			86,000	86,000
予	備	費			2,000,000	2,000,000
経常費用計			168,819,680	1,703,189,920	47,649,000	1,919,658,600
評価損益等調整前当期経常増減額			△67,242,430	9,147,180	58,677,307	582,057
評 価 損 益 等 計			0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額			△67,242,430	9,147,180	58,677,307	582,057
2. 経常外増減の部			0	0	0	0
(1) 経常外収益			0	0	0	0
経常外収益計			0	0	0	0
(2) 経常外費用			0	0	0	0
固 定 資 産 除 却 損			0	0	0	0
什 器 備 品 除 却 損			0	0	0	0
経常外費用計			0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額			0	0	0	0
他 会 計 振 替 額			0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額			△67,242,430	9,147,180	58,677,307	582,057
法 人 税 等			38,000	132,000	0	170,000
当期一般正味財産増減額			△67,280,430	9,015,180	58,677,307	412,057
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高			△83,135,286	452,125,679	476,715,576	845,705,969
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高			△150,415,716	461,140,859	535,392,883	846,118,026
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0	0	0	0
受 取 補 助 金 等			0	0	0	0
受取地方公共団体補助金			0	0	0	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額			△722,950	0	△265,207	△988,157
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額			△722,950	0	△265,207	△988,157
当期指定正味財産増減額			△722,950	0	△265,207	△988,157
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高			0	631,322	18,323,380	18,954,702
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高			△722,950	631,322	18,058,173	17,966,545
Ⅲ 正味財産期末残高			△151,138,666	461,772,181	553,451,056	864,084,571

<報告第3号 令和6年度会費額に関する件>

令和6年度会費額は、次の基準により徴収する。

1. 正 会 員

(1) <入会金> 10,000円

(2) <会 費> 正会員A 年額 54,000円 (県薬会費 36,000円 + 日薬会費 18,000円)
 正会員B 年額 39,400円 (県薬会費 32,400円 + 日薬会費 7,000円)
 正会員C 年額 12,000円 (県薬会費 5,000円 + 日薬会費 7,000円)

※新規入会者に対して、上記会費内訳に示す日薬会費は、次のとおりとする。

正会員A → (9月までに入会 18,000円) (10月以降に入会 9,000円)

正会員B・C → (" 7,000円) (" 3,500円)

(3) <納付方法および早期納入割引>

※ 会費納入は原則一括納入とする。

※ 納入方法は、口座引き落としを原則とし、やむをえない場合は振込とする。

※ 一括納入支払期限は令和6年7月末日とする。

※ 令和6年7月末日までに一括納入の場合、早期納入割引として

正会員A 3,000円、正会員B 2,700円を還付する。

参考 (会員規程より)

正会員Aとは、薬局の開設者および管理薬剤師又は正会員Aであることを希望する者

正会員Bとは、正会員AおよびC以外の者

正会員Cとは、勤務先業態が行政薬剤師の者

2. 賛 助 会 員

(1) <会 費> 賛助会員A 年額 15,000円

賛助会員B 処方せん受付回数1回あたり8円 (上限48万円)

(2) <賛助会員B会費の納付> (会費規程より)

第7条 賛助会員Bは、薬剤師職能の向上に係る事業の経費として賛助会員B会費を毎月納付しなければならない。

2 前項の賛助会員B会費の額は、1箇月の処方せん受付回数に別表3に掲げる額を乗じて得た額 (100円未満の端数は切り捨て) とする。

3 前項の処方せん受付回数は、前年1月から12月までの総処方せん受付回数とし、これを12等分した額を当年度4月から翌年3月にかけて支払うこととする。但し、上限を48万円とする。

4 年度途中の入会等、過去の実績の無い賛助会員Bは、入会後の処方せん受付見込み回数により、1箇月の平均回数を算出するものとし、その方法は理事会で定める。

5 賛助会員B会費の納付は、原則として会員の銀行等の口座からの口座振替によるものとする。

「別表3」

賛助会員B会費 (第7条関係)

処方せん受付回数1回当たり	8.00 円	上限 48 万円
---------------	--------	----------

参考（会員規程より）

第9条 定款第5条に定める賛助会員の種別は、次のとおりとする。なお、この中で、(1)から(3)及び(5)に該当する者を賛助会員A、(4)に該当する者を賛助会員Bとする。

- (1) 薬局経営者
- (2) 薬剤師以外の薬品の製造業及び卸業者等の関係者
- (3) 医薬品販売に従事する者
- (4) 薬局
- (5) その他希望する個人及び団体

2 正会員Aが在籍する薬局は、賛助会員Bとして入会するものとする。

3. 特 別 会 員

(1) ＜会 費＞

特別会員A 年額 10,000円

特別会員B 年額 17,000円

特別会員C 年額 0円

(2) ＜納付方法＞

※ 会費納入は原則一括納入とする。

※ 納入方法は、口座引き落としを原則とし、やむをえない場合は振込とする。

※ 一括納入支払期限は令和6年7月末日とする。

参考（会員規程より）

特別会員Aとは、年齢が満80才以上の薬剤師で薬剤師業務に携わっていない者

(資格：県薬会員のみ)

特別会員Bとは、年齢が満75才以上の薬剤師で薬剤師業務に携わっていない者

特別会員Cとは、正会員、賛助会員以外の個人で、薬学を専攻する学生その他薬学及びそれに関連する知識・業務経験を有し、この法人の目的、事業に賛同するため入会を希望する者

お知らせ

会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
(香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願ひします。

【連絡先】 沖縄県薬剤師会事務局（玉寄・大城）：098-963-8930

災害対策

令和5年度 沖縄県災害薬事コーディネーター養成研修会

日時：令和6年2月4日（日）9：00～17：00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<参加報告①>

講師に、福岡大学薬学部救急・災害医療薬学研究室教授の江川孝先生、兵庫医科大学危機管理医学講座特任教授の渡邊暁洋先生、アドバイザーに沖縄赤十字病院医師の佐々木秀章先生、ファシリテーターにハートライフ病院医師の三戸正人先生、大浜第一病院 医師の田場秀樹先生、大浜第一病院薬剤師の姫野耕一先生をお招きして、災害薬事コーディネーター養成研修会が開催されました。

研修会はグループを3つに分けて行い、私のグループは、薬局薬剤師3名、病院薬剤師2名、卸業薬剤師1名、行政薬剤師2名の計8名の薬剤師にファシリテーターの田場秀樹先生がついてくださいました。

普段の勉強不足と軽い気持ちで参加したこともあり、DMAT（災害派遣医療チーム）やAMAT（全日本病院医療支援班）、OMAT、EMIS（広域災害・救急医療情報システム）など普段聞きなれない言葉がたくさん出てきて戸惑いながらわからないとも言え

名護中央薬局 大中店
神山 康馬



ず…なかなか話についていけませんでした。まずは共通言語を理解するところからだなと思いました。

そんな中、ファシリテーターの田場先生をはじめグループの皆さんが優しくかったので、楽しく研修会に参加できました。

実際の災害を想定した演習では、慣れていないこともあり言葉がうまく出ないこともありましたが、傾聴と柳腰で対応して頂いたこともあり、なんとか乗り切れました。

講師の江川先生は、普段から顔の見える関係を作っておくことが大事とおっしゃっていました。災害時は平時とは異なりいろんな情報が錯綜する中で冷静な判断が必要となり、いつもとは違うメンバーで動かなければなら



ファシリテーターのアドバイスを受けながらグループワークに取り組む参加者ら

ないので、普段から顔の見える関係を作っておくことの重要性を感じました。

最後になりますが、私は今回の研修を1回だけではなかなか自分のものにできないので、今後もこのような研修会には積極的に参加したいと感じました。

<参加報告②>

まるで初夏のような陽気に包まれた日に開催された「沖縄県災害薬事コーディネーター養成研修会」に参加しました。日曜日の午前9時から開始というハードスケジュールでしたが、臨場感に溢れた講義で、あっという間に8時間が経過し、24名の受講者にとって非常に有意義な研修会と相成りました。

本研修会では、先般の能登半島地震において災害時派遣を終えられたばかりの多忙な中、講師に福岡大学薬学部教授の江川孝先生と兵庫医科大学特任教授の渡邊暁洋先生、アドバイザーに、沖縄県災害医療コーディネーターでもある沖縄赤十字病院の佐々木秀章先生をお迎えしました。その中で、参加者を3つのグループに分けるとともに、それぞれのグループのファシリテーターとして、本県よりDMATやJMATの一員として能登半島地震に派遣された3人の医師及び薬剤師（ハートライフ病院・三戸正人先生、大浜第一病院・田場秀樹先生、同・姫野耕一先生）に研修進行を行っていただきました。

各々のグループには、病院薬剤師、薬局薬

今回、協力いただいた講師、アドバイザー、ファシリテーターの先生方、そして同じグループで研修会に参加した薬剤師の先生方、ありがとうございました。そして、今後ともよろしくお願い致します。

那覇市保健所生活衛生課
仲地 剛



剤師、卸売販売業者の管理薬剤師、県内保健所や沖縄県衛生薬務課に所属する行政薬剤師がおり、実際に発災した場合に、保健医療福祉調整本部において薬事業務を運営するキーとなる構成になりました。そのうえで、本番さながらの臨場感で、災害薬事コーディネーターに必要な業務を学び、実践していくこととなりました。

研修の前半は、江川先生と渡邊先生による講義で、我が国の災害医療提供体制、災害時の初動と共通言語について、演習を織り込みながら学んでいきました。後半では、実際に保健医療福祉調整本部における活動や避難所運営や状況の把握に関する内容について、過去に起こった災害時のケースをモデルに、実際に「手とアタマ」を使う研修を行いました。



グループワークの様子



講師

江川 孝 福岡大学薬学部教授



江川氏の講義に熱心に耳を傾ける参加者ら

各グループともリーダーを1名、記録役(クロノロジー担当とPC担当)を各2名で4名ずつ、調整本部内における連絡調整役(記録係への伝令を含む)を3~4名ずつで役割を分担しました。私は、研修内容の記録に加えて、「クロノロジー」を担当しました。「クロノロジー」とは、略して「クロノロ」と呼ばれ、調整本部やDMAT等の医療チームなどが起こった出来事、収集した情報、発信した情報について「誰が発信し」「誰が受け」「どのような内容であったか」を時系列に記録していくものです。ホワイトボードに「時刻」「発信元」「発信受」「内容」について記載していきますが、短時間のうちに刻々と変わり、加わっていく様々な状況をまとめていくという業務は、見るとやるとでは大違い! クロノロジーの内容から、どのような情報を拾い出し、対策を立てていくかということを考えると、クロノ

ロジーはとてつもなく大切な業務であり、ここで躓くと、その後の全活動に影響を及ぼすことを実感できました。

私がかつて東京都職員として勤務していた頃、まだ新人だった平成7年1月に阪神・淡路大震災が、同3月に地下鉄サリン事件(災害といえるかは別として…)が起こりました。さらに、平成12年の夏には三宅島噴火が起こりました。三宅島噴火では、現地保健所支所の業務応援にも入りました。いずれの出来事も、自分の人生観を変えてしまうほどの内容でしたが、その時々抱いた「危機管理の大切さ」「備えよ常に」の初心を忘れることなく、災害に対して、どういうことで貢献できるのか、どのような役割を果たせるのか、これからはしっかり向き合っていきたいと考えています。



研修会後の記念撮影

災害対策

能登半島地震災害支援派遣報告

福岡沖縄合同チーム8班Bチーム（沖縄：前里由紀子、久留米：北口大介、小倉：高嶋誠一）

派遣期間 令和6年2月6日（火）～10日（土）

活動場所 1.5次避難所「いしかわ総合スポーツセンター」（通称:スポセン 開設1月8日）

宿泊場所 国立能登青少年交流の家

2月5日（月） 18:40 J T A宮古発那覇行き 前任の薬剤師より情報入手

2月6日（火） 07:15 J A L那覇発福岡行き

福岡空港にて福岡県薬剤師会、鹿児島県薬と合流

11:00 A N A福岡発小松行き

12:25 小松空港着 先発の福岡県薬剤師会からレンタカーと情報の引継ぎ

15:00 活動場所のスポセンに向かい、前任の大阪府薬剤師会より引継ぎ

20:00 国立能登交流青年の家 全体ミーティング 各チーム活動報告

23:00 就寝

2月7日（水）～9日（金）

7:00 出発。 9:00 業務開始

17:00 業務終了 20:00 全体ミーティング

いしかわ総合スポーツセンター（通称：スポセン）は、電気も水道も無い1次避難所からホテルや旅館、施設などの2次避難先が決まるまでの間、2週間を目途に転所することになっている1.5次避難所です。しかし、2次避難先が決まらず、20日以上滞在している方もいます。アリーナがメイン、サブ、マルチと介護度や病気の重症度で3つに分かれていました。スポセン内では調剤はしないので、医療用医薬品の備蓄は無し。薬剤師ブースと分包機があり、石川県薬剤師会、日本薬剤師会、県外派遣チームの3チームが居ました。

仕事としては大きく3つありました。

①体調不良を訴えた方のトリアージをし、OTC薬で対応可能と判断した場合（基本はスポセンの外の薬局で家族に購入してもらう）で本人や家族の外出が難しい場合は、備蓄薬の中から選んでお渡しする。その際、定期薬、アレルギー等の確認、副作用の説明などをする。OTCは3日分のみお渡し。ビンに入って

いるOTCは1回分ずつ分包。

②処方薬を服用中の方で持参薬無し、お薬手帳、薬情も何も持っていない方に関しては、外との薬局でオンライン確認可能な薬局に生年月日と氏名を伝え、過去の処方歴を依頼。看護師または保健師へ伝達する。（医師は、それを用いてD0処方を出す。）

③D0処方の良い避難者の場合、スポセン内で診察、処



コジャ薬局 市場前店
前里 由紀子



いしかわ総合スポーツセンター内



市販薬の写真

方箋を発行。処方日数は14日分に固定。貼り薬は基本無し。臨時薬が必要な場合は外の病院を受診してもらう。薬剤師ブースで処方箋を確認し、外の薬局に送信する（送信前に疑義紹介の必要があれば疑義照会をする）。メインアリーナの患者の薬で一包化であれば連続一包化の指示。サブ、マルチの患者であれば反復一包化の指示を薬局ブースにて出す。FAX送信後、応需可能か薬局に確認の電話を入れ、可能であれば配達予定時刻を確認。

FAXを受け取った薬局がスポセンの薬剤師ブースに配達。私たちは薬をお薬カレンダーにセット（セットは必要な方のみ初回限定）。薬は避難者に担当保健師か看護師に渡す（避難者の人疲れを避ける目的や感染症を拡げないため、基本薬剤師は直接渡さない取り決めになっていた）。その際、注意事項（メーカーや味、色などが違うことや、一回服用錠数が通常と違う場合も有り）などを伝えてもらう。

その他、持参薬の整理（その際なるべく2次避難所以降も自分で管理することを前提に介入し過ぎないように注意する）。薬の日数を揃えるため、一番少ない薬に揃え残りは破棄。

薬剤師の入れ替わりが激しいので、避難者の問題がどの段階まで解決しているのかクロノロジーで把握。

2月9日時点で入所者数166人

使用テント137張り 残りテント94張り



九州チーム派遣薬剤師と一緒に



ミーティングの様子

〔感想〕

宿泊先で震度3の揺れがあったり、同チームの同部屋からコロナ陽性者が出て検査キットで毎日検査をしながらの支援でした。私のチームの支援先が震災直後の1次避難所ではなく、1.5次避難所ということで電気も水道もあり、想像していた過酷な支援とは違っていました。しかし、様々な支援の方法があることがわかりました。派遣チームが実質3日間というとても短い期間で交代し、ルールも刻々と変化するので、情報を正確に伝達することがとても難しいと感じました。短い支援なので、自分は役に立てたのかと思ってしまうこともありましたが、支援を途切れさせてはいけないので、日本中の薬剤師が支援を続けるということの大切さを感じました。また、災害が決して他人事ではなく自分事として多くの人が捉えるよう、私の経験を地元の方達に伝えたいと思いました。

薬学部創設

令和5年度県内国公立大学薬学部設置シンポジウム

日 時：令和6年3月24日（日）14：00～16：45

会 場：沖縄県市町村自治会館 2階ホール

テーマ：薬学部設置の必要性を考える

～薬剤師確保による多方面への効用～

専務理事
阿部 義則



令和5年度県内国公立大学薬学部設置シンポジウムを沖縄県との共催で開催したので報告する。

県内国公立大学薬学部設置シンポジウムの開催は昨年に続き2回目の開催である。

昨年は、薬学部設置が地域医療や住民の健康作り等へもたらす効果について考えるシンポジウムを薬学教育の立場に視点を置いて開催し、県は、「沖縄県内国公立大学薬学部設置に関する基本方針」を公表した。

今年は、副題にもあるように薬学部の設置がもたらす多方面の効用からその必要性を考え、地域医療、教育、経済界等の幅広い視野から薬学部設置の必要性、薬剤師確保の必要性を考えるシンポジウムが開催され、主催者発表で207名の参加があった。

今回は、来賓にレキオフーマ株式会社代表取締役社長の奥キヌ子氏をお招きし、創薬を手がける企業の代表として薬剤師の必要性についてご挨拶をいただいた。特別講演には全国的にも有名な「夜回り先生こと水谷修先生」をお招きし、教育者として長年薬物乱用防止に携わってこられた経験をまじえ、薬剤師の重要性についてお話いただいた。基調講演には厚生労働省医薬局総務課国際医薬審査情報分析官の井上隆弘氏をお招きし、薬剤師確保に関する最新の情報についてお話をいただいた。

その後、シンポジウムを地域医療の立場から「ドクターゴン診療所院長の井上恵吾氏」、

経済界から「沖縄県商工会連合会会長の米須義明氏」、県内に中学高校を設置運営する「昭和薬科大学理事長の渡部一宏氏」、薬剤師確保政策を所管する立場から「厚生労働省の井上隆弘氏」、主催者として「沖縄県保健医療部の糸数公部長」をパネリストに共催する沖縄県薬剤師会の前濱朋子会長がコーディネーターを務め、主題である「薬剤師確保による多方面への効用」について議論が交わされた。

このシンポジウムでは、関連イベントとして、子ども調剤体験、薬剤師の業務紹介、大学薬学部による進学相談会も行われた。子ども調剤体験には、就学前の幼児から高校生まで約100名の参加があり、薬剤師業務への関心の高さがうかがわれた。また、進学相談会には、沖縄県と本会が実施するUIターン事業の協力大学の中から昭和薬科大学、名城大学、徳島文理大学、九州保健福祉大学が出席していただき、多くの親子連れの相談に対応していただいた。

シンポジウム開催後には、来賓や特別講演の先生、パネリストの先生方のほか、主催者を代表しご参加いただいた池田竹州沖縄県副知事を囲んで懇親の場も設けられ、さながらシンポジウムが継続されているかのような活発な意見交換が行われた。

プログラム

時間	内容	登壇者
14:00～14:05	開会挨拶	沖縄県知事 玉城 デニー (代読:池田竹州沖縄県副知事)
14:05～14:10	来賓挨拶	レキオファーマ株式会社 代表取締役社長 奥 キヌ子 氏
14:10～14:20	主催者報告 沖縄県における薬剤師不足の現状と薬学部設置への取組	沖縄県保健医療部衛生薬務課 主幹 川崎 浩明
14:20～15:05	特別講演 知ってますか、薬剤師の重要性	夜回り先生 水谷 修 氏
15:05～15:30	基調講演 薬剤師確保に係る各種施策等について	厚生労働省 医薬局 総務課 国際医薬審査情報分析官 井上 隆弘 氏
15:30～15:40	(休憩)	
15:40～16:40	パネルディスカッション 薬学部設置の必要性を考える ～薬剤師確保による多方面への効用～	ドクターゴン診療所 院長 泰川 恵吾 氏 沖縄県商工会連合会 会長 米須 義明 氏 昭和薬科大学 理事長 渡部 一宏 氏 厚生労働省 医薬局 総務課 国際医薬審査情報分析官 井上 隆弘 氏 沖縄県薬剤師会 会長 前濱 朋子 氏 沖縄県 保健医療部長 糸数 公
16:40～16:45	閉会挨拶	沖縄県薬剤師会 会長 前濱 朋子 氏



開会挨拶
池田 竹州 副知事



来賓挨拶
奥 キヌ子 氏



主催者報告
川崎 浩明 氏



特別講演
水谷 修 氏



基調講演
井上 隆弘 氏



司会
糸数 美樹 氏



パネルディスカッション
左より、前濱会長、井上隆弘氏、米須義明氏、泰川恵吾氏、渡部一宏氏、糸数公氏



閉会挨拶
前濱 朋子 会長

令和5年度県内国公立大学薬学部設置シンポジウム

関連イベント（会場：沖縄県市町村自治会館 2階ホワイエ／12:30～14:00）

1. 子ども調剤体験（対象：幼児から小・中学生、高校生まで）

超人気シリーズ：薬剤師さんのお仕事チャレンジ～白衣を着てお仕事体験～

2. 薬剤師の業務紹介（パネル展示）

病院、薬局の他にも多種多様な業務を行っている薬剤師の業務をご紹介します。

3. 大学薬学部による進学相談会

県外大学の薬学部がブースを設置し、薬学部への進学を検討中の高校生等を対象に、進学相談会を開催します。

ブース出展大学（順不同）：昭和薬科大学、名城大学、徳島文理大学、九州保健福祉大学

<子ども調剤体験>

県内国公立大学薬学部設置シンポジウムの開始に先立ち、関連イベントである子ども調剤体験を担当しました。

当日は92名の幼児から高校生に体験していただきましたが、通常のイベント時よりも半分の時間で実施することになり、薬袋書きと与薬（服薬指導）は省略し調剤に専念していただきました。今回の参加者は通常よりも中学生・高校生が多かったように思われます。

カラフルなチョコレートをお薬に見立てて分包機で一包化していただきました。（分包機が2台並ぶと圧巻でした。）1回に飲むお薬を1つにまとめることによって飲み易くなり、さらに飲み違いを防ぐことができることを知っていただけたと思います。

「いつも薬局の奥から聞こえてくる音は分包機の音だったんですね。」「分包機の下からお薬が出てくるのは初めて見ました。」という親御さんもいて、お子さんだけでなく多くの方にとっても新鮮だったようです。

実験コーナーでは、鉄剤とお茶の混合で色が黒く変化することを確認していただきました（薬の吸収に影響が出ることを体験）。また、カプセル剤を少量の水で服用する時と多めの水で服用する時の違いで、少量の水ではカプセルがくっついてうまく飲めない、多めの水ではツルンとすべりうまく飲めるようになることを確認していただきました。この体験か



ぐすく薬局
又吉 智賀子

らお薬の正しい飲み方や飲み合わせや化学に興味を持っていただけると幸いです。

パネル展示「薬剤師になるまで～薬剤師の業務の紹介」のコーナーもありました。薬学部進学を検討している学生も多く足を止めていました。協力していただいた実務実習薬学生（現役薬学生）から直接話が聞けて良かったとの声もありました。病院・薬局での調剤だけでなく、在宅医療や健康サポート業務・学校薬剤師など、また研究・開発・許可（行政）と薬剤師の活躍の場は多岐にわたることを実感し希望が持てたと思います。

将来、県民の健康増進に寄与する薬剤師が一人でも多く誕生することを願い、今回のイベントがその一助になれば幸いです。

最後に、当日ご担当いただいた薬剤師、実務実習薬学生、他ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

◇参加薬剤師

○又吉 智賀子	○島袋 さゆり
○砂川 美佳	○又吉 拓舟
○宮城 友寛	実務実習薬学生 9名

< 子ども調剤体験 >



分包機で調剤



実験コーナー

< 薬剤師の業務紹介（パネル展示） >



< 大学薬学部による進路相談会 >



昭和薬科大学



名城大学



徳島文理大学



九州保健福祉大学

< 広報チラシ >

薬学部設置の必要性を考える

～薬剤師確保による多方面への効用～

令和5年度 県内国公立大学薬学部設置シンポジウム

開催の趣旨

県内国公立大学への薬学部設置の必要性、薬剤師の確保による様々な効果等について、幅広い県民の皆さんに理解を深めていただき、薬学部設置に向けた機運醸成につなげることを目的に開催します。

特別講演

夜回り先生 水谷 修 氏
「知ってますか、薬剤師の重要性」

プロフィール

1956年、横浜に生まれる。上智大学文学部哲学科卒業。
横浜市にて、長く高校教員として勤務。教員生活のほとんどの時期、生徒指導を担当し、中・高校生の非行・薬物汚染・心の問題に関わり、生徒の更生と、非行防止、薬物汚染の拡大の予防のための活動を精力的に行なっている。



開催概要

詳細・お申込み方法は裏面をご覧ください

2024年3月24日(日)

14:00～16:45

開場13:30

司会
系数 美樹



会 場：沖縄県市町村自治会館 2階 ホール
(那覇市旭町116-37/ゆいレール「旭橋」駅から徒歩約5分)

参加費：無料 定員：200名 (事前申込制・先着順)

関連イベント開催！(12:30～14:00) 詳細は裏面をご覧ください

子ども
調剤体験

事前
申込制

薬剤師
業務紹介

申込
不要

薬学部
進学相談会

申込
不要

主催：  沖縄県 共催：沖縄県薬剤師会

後援：沖縄県医師会・沖縄県歯科医師会・沖縄県看護協会・沖縄県商工会議所連合会
沖縄経済同友会・沖縄県経営者協会・沖縄県商工会連合会・沖縄県中小企業団体中央会

お問い合わせ先(事務局)：株式会社おきぎん経済研究所(担当：新垣)
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
TEL：098-869-8711 メール：oei-2@okinawa-bank.co.jp

2024年3月26日 火曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2574号



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

© 2024じほう

株式会社 じほう

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写その他の複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします

薬学部設置で『地域医療の底上げ』期待

沖縄でシンポ、「創薬シーズの発掘」「経済効果」も

沖縄県は24日、県内大学への薬学部設置に向けたシンポジウムを那覇市内で開いた。「薬学部設置の必要性を考える」と題したパネルディスカッションでは、慢性的な薬剤師不足によって地域医療の現場に支障を来している現状を問題視。薬学部で薬剤師を養成・確保し、地域医療の底上げを図ることは喫緊の課題との意見が上がった。また、研究・創薬人材も増やしていくことで、県内の豊かな天然資源を活用した創薬シーズの発掘や、製薬産業の活性化による経済効果など、多方面での効用を期待する声もあった。

県は、県内での慢性的な薬剤師不足の状況を抜本的に改善するため、県内国公立大学への薬学部設置に動いてきた。県が昨年2月にまとめた基本方針では、文部科学省に2026年度中に設置認可を申請し、28年度からの開学を目指している。現在は琉球大（西原町）と設置に向けた協議を調整中だ。

この日のパネルディスカッションでは「薬学部設置の必要性」「薬剤師確保による多方面での効用」をテーマに、薬剤師、医師、薬学教育、行政、地域財界の各関係者らが意見を交わした。

宮古島で訪問診療所を経営する泰川恵吾氏は、特に離島で薬剤師不足が深刻化しており、「服薬指導が追い付いていない」現状を危惧。宮古島は在宅みとりの数が県内最多であるにもかかわらず、無菌調製のできる薬局がないため医療機関側で対応をせざるを得ないなど、薬剤師・薬局不足の影響で「地域医療の取り組みが頭打ちになっている」と訴えた。

また泰川氏は、臨床現場では「地域特異性」の理解が重要だとも指摘した。「沖縄は日本の他の地域と特性が全然違う。地域住民と相まみえてやっていける薬剤師を地域で養成する必要がある」とし、薬学部設置は「地域医療全体の底上げに必ずつながる」と強調した。

県内に付属中学・高校を持つ昭和薬科大の渡部一宏理事長は、沖縄に薬学部を新設しても、卒業生を輩出できるのは6年後だとし、私学とも連携しながら短期的な人材確保策を考える必要があるとした。また薬学部新設に当たっては、県外から来た学生が残りたいと思えるような、地域に密着した教育・施策が必要だと述べた。

●「より付加価値の高い医薬品開発」にも期待

県商工会連合会長の米須義明氏は、薬学部の設置によって、沖縄科学技術大学院大（恩納村）とも連携した「より付加価値の高い医薬品開発が期待できる」と指摘。

豊かな植物・海洋生物などの地域資源を活用した新薬開発や、関係企業の誘致によって、地域経済の活性化につながることも期待した。

県薬剤師会の前濱朋子会長も、薬剤師不足の解消だけでなく、多方面での効用が期待されることを強調。今後も県と共に経済界なども巻き込んで「（薬学部が）設置されるまで訴え続ける」と述べた。

●設置活動「何かしらプラスの成果出る」夜回り先生。水谷氏

パネルディスカッションの前には、少年の非行を防ぐ活動に長年携わっている「夜回り先生」こと水谷修氏が講演した。青少年の薬物乱用問題に向き合ってきた経験を振り返り、薬の適正使用における薬剤師の重要性を訴えた。また10年ほど前に、高知県内に薬学部を設置するため県薬剤師会と共に活動した経験も紹介。設置には至らなかったものの、県外の大学に高知県出身の学生を優遇して入学させる「地域枠」を設けることにつながったとし、沖縄も活動が続ければ最終的に「何かしらプラスの成果が出る」と話した。

[許諾番号20240401_01]

※株式会社じほうが記事利用を許諾しています。

薬事情報

令和5年度 医療安全講習会

日 時：令和6年2月12日（月）13：00～14：45

会 場：沖縄県薬剤師会館 ホール

令和5年度医療安全講習会が開催され、144名（現地：34名、WEB：110名）の先生方にご参加いただきました。今年度の講習会は「接遇」をテーマとして行いました。

医療安全講習会の企画を担う薬事情報委員会において、昨今の薬局薬剤師及び事務員の患者に対する接遇の在り方に改善すべき点があるとして委員から意見が挙げられたことが本講習会テーマの背景にあります。沖縄県薬剤師会おくすり相談室へ実際にあった具体的なクレームとしては、「言葉遣いが悪い」「気遣いが無い」等、薬剤師・事務員の対応によるものや、調剤事故後の初期対応の悪さによって事態がより長引く状況が見受けられます。このような実情を踏まえ、薬局におけるクレームの未然防止・再発防止策（つながり防止）を目的とした内容となっております。

講師は株式会社iMus（あいむす）代表取締役の安田幸一先生、演題は『クレーム対応の基本～最近のクレーム事情から予防まで～』でした。安田先生は姫路薬剤師会理事、神戸薬科大学・姫路獨協大学・京都薬科大学等の講師など、多くの場で現在活躍されております。

冒頭でクレームに発展する原因の一つにコミュニケーションの定義を理解していないパターンがあると述べられ、伝えた相手が内容を理解し「変化」することで、初めてコミュニケーションが成立したと定義づけられるとの説明がありました。クレーマーには大きく3パターンあり、論破型説教型クレーマー、SNSによる拡散型クレーマー、反社会的勢力によるプロのクレーマーが存在すると挙げられました。世の中が便利になり効率的な仕

薬事情報委員会
白坂 亮



組みが確立されるにつれて消費者の期待値も上がり、クレーマーが増加する傾向にあることです。クレーム対応の際、誤解してはならないのは、接遇等が原因によるクレームと調剤過誤が原因のクレームは別物であり、明確に区別し対応することが重要であることを教えていただきました。前者は誠心誠意、真摯にお詫びをし、謝ってすむ問題にすませること。「ですから」「でも」「だって」と言い返すのはNGであることが対応方法として示されました。後者は、納得させて解決することが難しい場合、早めに専門家（弁護士）に相談を行い対応することが重要であると示されました。

クレーム対応の基本は3つあり、①平常心を保つこと、②スピード解決に焦らないこと（対応は迅速に、解決は焦らずに）、③ペーシ



左より、前濱朋子会長、講師の安田幸一氏、薬事情報委員会の中尾滋久委員長と司会を務めた山内一姫委員



ング（相手のペースに合わせて話をする）の3点を意識することが大切だと述べられ、薬局へのクレームとして多いのが「待ち時間が長すぎる（一包化など）」、「薬を間違えて渡された」、「受付や薬剤師の対応が悪い」等どれも現場で直面する機会の多いクレームです。しかし、これら3つの基本を意識して対応を行うことで、事態の悪化を防ぐことができると話されました。

最後にクレームを未然に防ぐ方法について教えていただき、目配り気配りのある挨拶、丁寧な説明を行う、待たせる際の声掛け、失礼のない態度や対応、普段からの関係作り等が示されました。

今回の講習を受けて、医療従事者の一人という前に、一人の人間として患者さんと誠実に向き合うことがクレーム対応及びクレームを防ぐ大切な要素であると感じました。医療機関、薬局は今後も激しい時代の流れの中でより便利で効率的に業務を行うことが求められ、その従事者は新たなトラブルやクレームと直面することが予想されます。しかし、どのような時代でも基本となる「人と人とのコミュニケーション」に問題が無ければ、トラブルやクレームを安全に解決できるはずです。今後、本講習会の内容が薬局業務の役に立てていただけると幸いです。

*** 『医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第5条第2号』**

医療安全の確保の観点から、薬局開設者は、医薬品の業務に係る医療の安全を確保するため、指針の策定、従業者に対する研修の実施、その他必要な措置を講じなければならない。

実務実習

令和6年度第Ⅰ期薬学生実務実習報告

薬学生実務実習受入委員会
宮本 直樹



令和6年度第Ⅰ期薬学生実務実習が無事に終了したので報告する。

第Ⅰ期は2月19日(月)～5月5日(日)までの日程で行われ、8大学(福岡大学・第一薬科大学・長崎国際大学・国際医療福祉大学福岡薬学部・山口東京理科大学・武蔵野大学・広島国際大学・安田女子大学)から18名の学生を受け入れた。

日々の薬局での実習では調剤薬局での薬剤師の業務を体験し、調剤はもちろん、実際に患者さんに服薬指導もしたり様々なことにチャレンジしてもらった。特に服薬指導は実習期間中に同じ患者さんに複数回指導を行って、状態や数値の変化、副作用の有無など治療の経過を診てもらえるように意識している。それに加え、沖縄県では恒例となっ

ている外部実習では漢方・OTC・薬局製剤・夜間救急・災害医療・在宅医療・学校薬剤師・医薬品卸の見学など各関係機関の協力の下、薬剤師が関わる様々な業務を体験してもらうことができた。

漢方製剤の外部実習では漢方薬の様々な知識や実際の生薬にも触れることができ当薬局の学生も大きな刺激を受け、災害対策の集合研修では「命を守る」ことの重要性を学べ、日頃から「災害に備える」ことがいかに大切かを実感してもらえたようであった。

日々の業務も多忙な中、今回も快く実習生を受け入れて頂いた薬局・指導薬剤師・薬局スタッフ・外部実習や集合研修でご協力頂いた先生方・関係協力機関には改めて感謝を申し上げ、私からの報告とする。



オリエンテーション

実務実習薬学生・受入薬局

(敬称略・順不同)

氏 名	大 学	受入薬局	指導薬剤師
上 地 花 奈	福岡大学	ひよこ薬局	藤 原 明 人
川 満 啓 司	福岡大学	ゆんたく薬局 おもろまち店	宮 本 直 樹
阿波連 桃 子	福岡大学	こくら虹薬局	野 村 久 子
泉 吏 穂	福岡大学	経塚薬局	神 田 寛 之
幸 喜 麻 帆	第一薬科	メイト平良川薬局	福 地 健 治
大 城 花 南	第一薬科	とくりん薬局 赤嶺駅前店	仲宗根 雅 恵
國 吉 莉 穂	第一薬科	吉田薬局 はんたがわ店	吉 田 洋 史
大 城 綾 音	長崎国際大学	会営薬局とよみ	宮 里 威一郎
金 城 寿々奈	長崎国際大学	こくら虹薬局	野 村 久 子
知 念 まりの	長崎国際大学	すこやか薬局 外間店	金 城 奈々美
藤 丸 心 夢	国際医療福祉大学福岡薬学部	いしみね薬局	盛 本 直 也
比 嘉 優 花	国際医療福祉大学福岡薬学部	すこやか薬局 沖赤店	玉 村 澄 恵
伊 波 興 陽	山口東京理科大学	はれ薬局	喜友名 朝 史
仲 嶺 磨 耶	武蔵野大学	すこやか薬局 ライカム店	松 田 絵理菜
國 吉 大 介	広島国際大学	すこやか薬局 あげだ店	仲 間 聖
荷川取 武 樹	広島国際大学	ミルク薬局 天久店	柊 井 亮 太
宮 城 裕 太	広島国際大学	病院前薬局(那覇市)	古 堅 恵 利
新屋敷 夢 乃	安田女子大学	経塚薬局	神 田 寛 之



令和6年度第I期実務実習薬学生記念撮影

令和6年度第Ⅰ期実務実習薬学生からの体験記・感想

広島国際大学5年 荷川取 武樹
(ミルク薬局 天久店 実習 指導薬剤師 杣井 亮太)

2月から5月までミルク薬局で薬局実習をさせてもらいました。薬局実習では、さまざまな体験をさせてもらい、たくさんのことを勉強しました。

指導薬剤師さんからはたくさんのことを指導してもらいました。中でも服薬指導に力を入れてもらいました。指導薬剤師さんから服薬指導は数をこなして慣れて、経験を積むのがいいということでした。たくさん服薬指導をさせてもらいました。最初は緊張もあって、伝えることで頭がいっぱいになってしまいうまくコミュニケーションも取れていませんでした。ミルク薬局の薬剤師さんたちから日々アドバイスをもらいながら、改善を重ねていきました。薬歴と処方箋から何を聞いて何を説明しないといけないのかを考え、患者さんから必要な情報をどのように聞き出すのか、聞く際はどのように聞くのか、わかりやすい言い回しはどんななのか、この薬をしっかりと説明するために何を理解し覚えられないのか、どのような口調で話すといいのかなど改善を重ねていきました。自信を持って薬について説明できるように薬剤師さんの指導の

もと薬の作用機序から注意すべきこと、小児ならではの用法用量や確認すべきことも学び、状態の確認と薬の説明だけでなく、小児の患者さんがしっかりと薬を服用して治療するために剤型の確認やおすすめの服用のさせ方、した方がいいアドバイスも学ばせてもらいました。改善したことや学んだことを服薬指導に活かせる場面が増えていき薬局実習終盤にはしっかりと服薬指導できていると薬剤師さんに言ってもらえるまでになりました。患者さんとのコミュニケーションや薬歴、処方箋から情報を読み取り、やらないといけない指導やした方がいいアドバイス、薬を服用しやすくするために薬剤師としてできる工夫を考え、相手に理解してもらうための言葉遣い、不安に対する理解とそれに対するアドバイスや指導も考える必要があると学びました。服薬指導で患者さんの治療をサポートするためにも、相手が何を伝えようとしているのか、どういう状況なのかを理解しようとする姿勢と、渡す薬や服薬指導を通してどのようなサポートができるのか考え、努力し続けなくてはならないと学びました。



「先輩教えて！ワクワク実務実習のツボとコツ」
講師：平井聖司先生（薬剤師・琉球大学医学部学生）



「夜間救急医療について」 講師：阿部義則専務理事



「災害医療と薬剤師」 講師：佐久川卓先生（那覇市立病院）



「学校薬剤師って何?」 講師：知名博樹常務理事

長崎国際大学5年 金城 寿々奈
(こくら虹薬局 実習 指導薬剤師 野村 久子)

11週間の薬局実習が終わり、振り返ってみると長いようであつという間に過ぎ去った、とても充実した11週間でした。実習前は不安でいっぱいでしたが、薬剤師の先生方、事務の方々、助手の皆さまにもとても暖かく迎えていただき、楽しく実習に取り組むことができました。薬局は毎日とても忙しく、なかなか薬剤師の先生方に声をかけられないこともありましたが、そんな中でも質問にはいつも親切に答えてくださり、時間のあるときには薬や服薬指導のことなど様々な知識やアドバイスをいただき、とても充実した日々を過ごすことができました。

薬局実習を通して感じたのは、患者情報と薬に関する知識の大切さです。調剤前に薬歴を確認すると、併用薬との相互作用や基礎疾患により処方変更になることも多く、服薬指導時に必要な患者情報を正しく聞き取り、薬歴に残すことの重要性を実感しました。また、処方箋の監査や適切な服薬指導をするためには薬についての知識が必要であり、今後

もっと勉強していかなければならないと感じました。日々働く薬剤師の皆さんを見てみると、どんなに忙しくても一人一人の患者さんに丁寧に向き合い、ミスの無いように業務に取り組んでいて、薬剤師として誇りと責任感をもって働いていることが分かり、自分もそのような薬剤師になりたいと感じました。

今回の実習では、本当に多くの方々にお世話になりました。薬局の皆さんはもちろん、服薬指導など実習に協力してくださった患者さん、外部実習でお世話になった皆さん、そしてそれらのセッティングをしてくださった沖縄県薬剤師会の皆さん、本当にありがとうございました。様々な体験を通して、薬局業務だけでなくいろいろな立場で働く薬剤師のことを知ることができました。どれも大学の講義だけでは学ぶことができないもので、本当に多くの貴重な体験をすることができました。今回実習で学んだことを活かして、病院実習やその後の勉強も頑張っていきたいと思っています。

福岡大学5年 阿波連 桃子
(こくら虹薬局 実習 指導薬剤師 野村 久子)

始まる前は、11週間の薬局実習を無事にやり遂げられるのだろうかという不安でいっぱいでしたが、指導薬剤師の先生をはじめとする薬局の方々から温かく迎えてくださり、始まる前の不安でいっぱいの気持ちはすぐに消えました。最初の1週間ほどは錠剤のピッキングを中心に行い、ある程度慣れてきた頃から服薬指導、散剤や水剤の調剤、処方監査、一包化など、日々色々なことができるようになりました。毎日できることが少しずつ増えていき、自分自身成長しているなど感じることができました。そんな実習の日々の中で、特に印象に残ったことは2つあります。1つ目は、患者さんとの関わり方についてです。服薬指導の際、私は薬の用法と用量、効能の説明をしなきゃと、自分の説明したいことを患者さんに伝えなきゃとパニックになっていました。しかし、薬剤師の先生方は必ず患者さんが不安に思っていることなどを伝えることのできる間をつくられていて、患者さんが安心できるような声かけをされていまし

た。また、数値が良くなっていたり残薬がないという報告を受けた場合には、患者さんと一緒に喜んだりされていました。ただ薬を渡すだけではなく、自分自身の家族のように患者さんに思いやりをもって接する大切を学びました。2つ目は、疾患学習です。薬剤師の先生方がそれぞれの担当分野の講義をしてくださいました。CBTで詰め込んだ知識が枯れかけていたときに、しっかりとフォローして下さったのですごく助かりました。また、自分で国試に向けて勉強を始めようというモチベーションにもなったので本当にありがたかったです。また薬局で働かれている事務の方々や栄養士の先生、助手の方々の仕事を勉強する講義もあり、薬局全体のチームとしての動きも学ぶ機会ができて本当に良かったです。最後になりますが、私たち実習生を温かく迎えて下さり色々な経験をさせて下さったこくら虹薬局の皆様また県薬剤師会の皆様には本当にお世話になり感謝しています。本当にありがとうございます。

地域医療提供

令和5年度在宅訪問薬剤師座学研修会報告

日時：令和6年3月7日（木）19：30～21：00

会場：沖縄県薬剤師会 研修室

〈次第〉

司会：地域医療提供体制対策委員会 喜友名 朝史

研修テーマ：ケアマネジャーが在宅医療において薬剤師に求めること

合同会社Reさぽっと 代表 中山 哲郎

有限会社はっぴー 事務長・介護支援専門員 遠藤 賢吾

合同会社UNIVERSEケアプランセンター 代表 松川 浩也

介護支援センターさんだん花 新垣 俊

グループディスカッション

令和5年度在宅訪問薬剤師座学研修会に参加致しましたので、報告致します。ケアマネジャーさん4名と薬剤師約20名が参加し、皆様の地域貢献に対する意識の高さを感じる研修でした。

前半パートでは「ケアマネジャーが在宅医療において薬剤師に求めること」というテーマで、4名のケアマネジャーさんの講演を頂きました。薬剤師介入による改善例として、①精神疾患、認知症の方のコンプライアンスの改善。②剤形変更、用法変更、服薬支援ロボの提案によるコンプライアンス改善。③施設看護師の負担軽減などのお話を頂きました。

薬剤師への要望、意見として、①サービス担当者会議には必ず参加して欲しい。②患者さんと薬の話のみをする薬剤師が多く、雑談やコミュニケーションを大事にした方がいい。薬の飲み忘れを怒られると感じる方もいる。③医師に連絡しづらいケースもあるので、医師との架け橋になってもらえると助かる。などの意見がありました。

後半パートでは地区ごとに分かれ、各グループに1名のケアマネジャーさんに参加し

株式会社ふく薬品
ふく薬局いとまん店
三浦 健太郎



て頂きスモールグループディスカッションを行いました。普段は気軽に聞くことができないような細かい悩みや在宅医療の現状について質問ができ、多職種の地域連携を深める方法、個人在宅を始める方法、どのような薬剤師に需要があるかなどについて話し合うことができました。

薬剤師が地域包括支援センターやケアプランセンターのことをよく知らないのと同じように、ケアマネジャーさんも薬局に気軽に電話していいのか？こんな相談をして迷惑ではないか？という気持ちがあるようです。

また、研修に参加していた薬剤師の中には、在宅に積極的に参加したい気持ちがあるものの、始め方が分からないという意見も多く見られました。

地域包括ケアシステムの中で薬剤師が必要な場面があると感じられた一方で、現実的に

< 講師陣 >



中山 哲郎氏



遠藤 賢吾氏



松川 浩也氏



新垣 俊氏

は数多くの課題が存在すると感じられました。

患者さんが施設入居や個人在宅でのフォローが必要になった時に、既に信頼が構築されているかかりつけの薬剤師が担当することが、患者さんの心理的負担減などメリットが大きく、薬剤師としてもやりがいやモチベーションに大きく繋がります。一方で、訪問医、施設側の方針や薬局側の事情で、別の薬剤師が新規で担当になることが多いのが現状だと思います。

今回の研修に参加してケアマネジャーさんも薬剤師も患者さんの生活や健康を支援したい気持ちは一緒だと感じました。患者さんが理想とする生活を送るために薬剤師は何がで

きるのか？薬や疾患の勉強だけではなく、多職種連携をするための幅広い知識とICTスキルも含めたコミュニケーション能力を身につけ、積極的に薬局の外に出ていきたいと再認識しました。



卸薬部会

日本医薬品卸勤務薬剤師会2024年度研修会受講報告

日 時：令和6年4月19日（金）14：15～17：00

開催方法：web 配信

沖縄東邦株式会社
鈴鹿 玲子



講演1：「医療DXビジョンと薬剤師の業務について」

日本薬剤師会 副会長 渡邊 大記

DXとは、そもそも情報技術が人々の生活を変容させることという意味で使われていた。

自分たちが所属する業界の変化を見据え、どのような戦略や、ビジネスモデル、価値提供の仕組みを設計する必要があるのかを考えなければならず、経営者自身が変わることによって組織一丸となって新しい価値を生み出し続けられる組織になること。このような組織を具体的に実現することがDXの目的であり、競争上の優位性はその結果として確立される。

薬局・薬剤師は誕生から終末期に至るライフステージを通じた健康サポート、服用薬の一元的・継続的・全人的な管理・指導が求められる。その中で医療DXは薬局・患者互いにメリットがあり、有効に活用する必要性が出てきている。薬局内の機械化も効率化が求められる中、誰でも有効活用できるものとなっている。局内の機械化等にとどまらず、患者フォローアップ、医療機関等との情報共有/連携ができるシステムの構築が必要とされている。

医療DXを推進するにあたりサイバーセキュリティの確保が薬機法にも記載され、必要な措置を講じることが明確化された。

まずはセキュリティ対策を理解することから始める。サイバー攻撃を受けたら業務そのものが停止する。薬局におけるセキュリティ対策チェックリストマニュアルに基づき、チェックリストを参考にして、自身で行う「薬局確認用」システム事業者と一緒に確認をする「事業者確認用」があるので利用すると良い。

【check 1】薬剤師サービスを提供し続けるために

一定のデジタルの知識や技術を持つ者にとってはそれを悪用することも容易である。

■攻撃にあつて薬局の業務が停止してしまうリスクを回避する

■個人情報の窃取被害を防ぐ

そのためにも対策を講じましょう！！

【check 2】マイナ保険証の利用促進

医療DXにおけるマイナ保険証は、医療情報の利活用において根幹をなすシステム
マイナ保険証により同意を得て、情報を利活用する。

例外：災害時は特別措置としてマイナンバーカードを持参しなくても、本人の同意のもと、薬剤情報・診療情報・特定健診等の情報の閲覧が可能な措置（災害時モード適用）を実施。

→令和6年能登半島地震

■他科受診や他薬局での調剤内容を客観的に把握

■併用薬や併発している疾病による禁忌などをチェック

普及定着させ、ICTを活用したより安全・安心な薬物療法に貢献を！！

マイナポータルの利用促進も同時に進めないと、利用者は自身の情報を把握できないままである。

- ・電子カルテ情報共有サービスの概要
- 3文書6情報の情報を送受信・閲覧・活用できるシステム
- ・診療報酬改定DX対応方針・取り組みスケジュールについて

【check 3】調剤情報の充実

オンライン資格確認等システム＋電子処方箋に対応したシステム

■電子処方箋の応需体制を構築する

調剤情報を電子処方箋管理サービスに登録する

従来からの紙処方箋を応需した場合であっても同様の登録が可能となり、調剤情報の充実を図る。

☆重複投薬等チェックについて

電子処方箋管理サービスに登録された処方・調剤情報が対象データ。保存期間である100日間において、医療機関・薬局を跨って1. 同一投与経路、同一成分（同一薬効ではない）の薬剤が処方されている場合。2. 添付文書において「併用禁忌」と定義されている薬剤が処方・調剤されている場合 チェックがされる。この情報を踏まえて医師や薬剤師がどう判断するかは、それぞれの職能における重要な責務。

患者の同意がなければ、どこから処方された薬と重複しているのか等の情報が得られない。このような場合は口頭同意システムというものがあり、情報提供への理解の説明の上同意が得られれば、その記録を残したうえで見る事が可能となる。

また、備考欄においては、紙の処方箋では物理的に限られたスペースだが、電子処方箋は無限にあり医師とのコミュニケーションツールとしての利用ができる可能性がある。

【check 4】新しい時代のコミュニケーションツールとして

次世代型の電子版お薬手帳の活用

■セルフメディケーションも記録→ライフログとしての役割

■マイナポータルとの連携により得る薬剤情報の永年的な保管

患者フォローアップツールとしての利用を！

- ・患者QOLの向上
- ・利用者の生涯的な価値の獲得
- ・医療DXに対応していく中での優位性

電子版お薬手帳に対応したシステムを薬局に導入する必要がある！

【check 5】医薬品提供体制における課題解決

すべての薬局においてオンライン服薬指導の実施を可能にする

新たな機会として一律に獲得し、患者が薬局を選択する上での優位性や立地による競争優位から脱却。（電子お薬手帳を活用した導入しやすい基盤を日薬からも提供）

■医薬品提供体制における社会的ニーズに対応

- ・過疎地・僻地のような顕在化されたニーズ
- ・子育て世代・在宅等のような潜在的なニーズ

▼いつでも対応可能な体制とするための訓練も必要

講演2：「災害時の感染症対策」

大阪公立大学大学院 教授 山崎 伸二

1. 災害時に注意すべき呼吸器感染症とその対策（感染経路が空気・飛沫等）

I インフルエンザ

- ・インフルエンザの病態・診断・治療薬・予防ワクチンについて

II コロナウィルス

新型コロナウイルスや、高病原性鳥インフルエンザなど、新興感染症として人類を悩ませているものの3分の2以上が動物由来感染症。動物が持っているウィルスが変異をして人に感染するようになる可能性がある。

- ・SARS（重症急性呼吸器症候群）→中国から世界に広がったが、病原性が強かったため、患者がどこにいたかが分かっていた。また不顕性感染者がほとんど見られず、ウィルスを持った人が海外へ出かけることが難しかったため、世界への広まりがひどくならず6か月で収束。

- ・MERS（中東呼吸器症候群）の病態・感染源・感染経路・致死率

2015年韓国国内に一人の患者が発生したのをきっかけに、アウトブレイク。収束は早かったが、警戒すべき感染症。

III 麻疹

- ・麻疹の原因ウィルス・疫学・潜伏期・感染経路・臨床症状（カタル期・発疹期・回復期）

基本再生産数

麻疹：12～18人 風疹：6～7人 おたふく風邪：4～7人 インフルエンザ1.3～1.8人

世界的に見てもコロナ禍で免疫力の低下がみられ様々な感染症がみられる。麻疹の流行もその中の一つ。海外からの旅行者などが増え、様々な感染症が流行するリスクは高まっている。

- ・麻疹の二大死因→肺炎と脳炎
- ・予防ワクチンについて

IV 結核

- ・感染様式・臨床症状・疫学について
- ・結核菌→化学的処理に対して強い抵抗性。乾燥にも強く3か月以上も生存
細胞内寄生性・・・薬を服用しても菌のところまで薬が到達しにくい
細胞壁：堅牢な細胞壁（構成成分に脂質成分が多い）
- ・診断・発病診断・治療（多剤耐性結核菌の問題）・予防・殺菌（熱・消毒薬抵抗性。紫外線には弱い）
- ・結核菌の潜伏感染

◆呼吸器感染症の対策

1. 手指消毒
2. ワクチン（新型コロナ・麻疹・インフルエンザ）
3. マスク・ソーシャルディスタンス・換気
4. 抗微生物薬（結核・インフルエンザ・新型コロナ）

密閉空間では、マスクをしていてもエアロゾルなどは飛散し長時間滞留するので換気が重要

2. 災害時に注意すべき水系・食品媒介性感染症とその対策

I ノロウィルス感染症

II ロタウィルス感染症

ⅢA型E型肝炎

Ⅳレジオネラ

Ⅴコレラ

ウィルスの性状・疫学・感染経路（感染源）・潜伏期・臨床症状・診断・治療・予防法

◆水系・食品媒介感染症の対策

1. 生水を飲まず加熱した水・食品を摂取する
2. ワクチン（A型肝炎・コレラ）
3. 風呂場・浴槽系統配管の清掃（レジオネラ）
4. 60℃ 5分以上の加熱（レジオネラ）

3.災害時に注意すべき接触・経皮感染とその対策

Ⅰ.破傷風

破傷風菌芽胞は、環境中の至る所に存在。
破傷風菌の形態・病原性について（破傷風毒素）
破傷風の潜伏期・症状・予防

Ⅱ.劇症型A群溶血性連鎖球菌感染症

（A群）連鎖球菌（GAS）について 形態・分布・分類・性状・感染経路・病態
急性感染症①咽頭炎・扁桃炎 他にも膿皮症・丹毒・猩紅熱
②劇症型A群連鎖球菌感染症（5類感染症・全数把握）
別名：人食いバクテリア

Ⅲ.日本脳炎・デング熱

潜伏期・症状

◆接触・皮膚感染とその対策

1. 傷口の洗浄消毒（破傷風・GAS）
2. 抗菌薬投与（破傷風・GAS）
3. ワクチン（破傷風・日本脳炎）
4. 抗毒素療法（破傷風）
5. 蚊が発生しやすい水たまりの除去（日本脳炎・デング熱）
6. 素肌を出さないよう長袖・長ズボン（日本脳炎・デング熱）
7. 虫よけスプレー（日本脳炎・デング熱）

☆手洗いは最大の感染症対策☆

3時間に及ぶ長い研修会でしたが、盛りだくさんの内容に大変勉強になりました。

学薬部会

学薬だより

～蟯虫とアタマジラミの予防対策等について～

拝啓 県内は梅雨入りし、恵みの雨が続く毎日ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。日頃より学校薬剤師活動にご尽力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、県内の各学校では新学期も始まり、入学生もちょうど学校生活に慣れてきて楽しく過ごしていることでしょう。

この時期、小学校によっては蟯虫検査を実施するところもございます。

蟯虫とは線虫類の一種でヒトの盲腸付近に寄生する寄生虫です。感染していても一般に無症状のことが多いですが、夜間の就寝中に雌の成虫が肛門から這い出して産卵をし、その際に痒みを生じるため無意識に掻きむしって局部が出血したり、皮膚炎による2次的な細菌感染を起こすこともあります。

感染経路としては虫の卵の経口摂取で、お尻を掻いた手指や爪から感染したり、その手で触れた箇所や寝具や下着からの虫卵の飛び散りなどで間接的にも感染を起こします。

予防対策として、

- ①トイレの後や食前にしっかり手を洗い、常に清潔を保つこと。
- ②爪を短く切り、指しゃぶりや爪を噛む習慣をやめさせる。
- ③起床時には肛門付近をしっかり洗い、寝衣や下着は毎日替え、虫卵の飛散を防ぐなど。

学校薬剤師部会
副部長 知名 博樹



陽性であっても学校生活において、「他の友達と一緒に遊ぶこと」「プールの遊泳」など、特に制限する必要はありません。

これはアタマジラミに寄生されていても同様です。

いずれも、日頃から清潔にしていなくてもいつ寄生するか分かりません。寄生が確認されたら、上記の予防対策をしっかりと取りましょう。

また、蟯虫を駆除する薬、シラミを駆除するシャンプーなどが薬局・薬店で販売されています。使用する場合にはしっかりと説明書をよく読んでご使用いただくよう啓発して下さい。

プールの遊泳については、日本学校保健会発行の「学校における水泳プールの保健衛生管理」や、日本寄生虫学会による情報などもぜひ参考にして下さい。沖縄県薬剤師会ホームページにも学校環境衛生の各検査の記入用紙や提出する際の鏡文なども掲載しておりますので、検査の際にはぜひご活用下さい。

皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

お知らせ

地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！

ぜひ“おきなわ薬剤師会報”へ地区薬剤師会、部会の活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

月例相談会

第190回健康とおくすり相談会報告

日時：令和6年1月21日（日）10:00～16:00

場所：奥武山公園 第1駐車場

担当：那覇地区薬剤師会



ぐすく薬局
又吉 智賀子

「地産地消」をテーマに、1月21日に開催された「おきなわ花と食のフェスティバル2024」において、薬剤師会は沖縄県健康長寿課のブース内で、骨密度測定とおくすり相談を実施しました。同ブースでは、沖縄県栄養士会によるベジチェックの実施もありました。

隣のブースでは試食会と中城村・伊江村特産品の販売、正面ではスイーツ販売と、いつもとは違う環境での相談会でした。

開始直前に機器のトラブルがあり、相談者をお待たせしてしまいましたが「いつまでで

も待つよ～」って言ってくださりとても有難かったです。

今回は、相談者が少ないかもとの予想を上回り100名を超える大盛況でした。骨密度測定に関心を寄せる方がとても多く、そこから健康相談やおくすり相談につなげることができたことは良かったです。また「食事・運動・サプリ（エクオールなど）・服薬をいろいろ頑張っているが、効果を実感できない」という方もおられ、他の取り組み方法の提案や医師・薬剤師への相談時のポイントなども確認すると、「いろいろ話を聞いてくれてありがとうね」とスッキリ晴れた表情を見せてくれたのがとても印象的でした。

薬剤師に処方薬以外でどこまで相談していいのかわからない方がまだまだ多いのかな？とも思いました。この症状は市販薬で十分、これは治療が必要などの判断を薬剤師が行うためにも、健康相談窓口のファーストとして薬局・薬剤師が選ばれるよう日々研鑽を積み重ねなければと改めて身の引き締まる思いになりました。

今回の健康とおくすり相談会が地域の頼れる存在の薬局・薬剤師への一助になれば幸いです。

最後に当日の相談員（薬剤師）が少なくご苦勞もあったと思いますが、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

◇健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

- 吉田 洋史 ○又吉智賀子 ○吉田 安樹
- 外間 安次 ○上原 幸代



お薬相談コーナーと骨密度測定ブース

寄附・支援

沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式

日時：令和6年3月25日（月）15:00～15:20

会場：沖縄テレビ放送株式会社 応接室



写真左より、小嶺早百合看護協会専務理事、前濱朋子薬剤師会会長、宮里達也医師会副会長、船越龍二交通遺児育成会理事長、米須敦子歯科医師会会長

去る3月25日、四師会による沖縄県交通遺児育成会への募金贈呈が、沖縄テレビ放送株式会社にて行われた。本会は、沖縄県交通遺児健全育成資金造成のため、沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会、沖縄県看護協会と協力して、毎年、募金活動を行っている。

四師会会員他、関係者の温かい支援により、今年度は728,782円の寄附をすることができた。子供達が健やかに、心豊かに、力強く成長してほしいと願い、平成2年より寄附を始め、今年で35回目の募金贈呈となった。平成11年度まではチャリティー写真展を開催、その後も寄附を続けるため四師会が協力、各関連施設へ募金箱を設置し、募金活動を行っている。

四師会を代表して宮里達也医師会副会長より、「日頃より、交通遺児支援のため種々ご活動いただいております沖縄県交通遺児育成会の船越龍二理事長をはじめ、関係者の皆様方に心から敬意を表します。さて、沖縄県警より発表されている県内の人身事故発生状況によると、令和5年12月末現在において、発生件数、死亡事故件数ともに前年と比べ、増加しているという残念な結果となっております。私共、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会は県民の命と健康を守る専門団体として、交通事故防止に取り組むと共に交通遺児となった方々の支援に引き続き取り組

んで参りたいと考えております。本日は4師会で募った募金を贈呈することと致しましたので、有効にご活用いただきますようお願い致します。」と述べられた。

船越龍二沖縄県交通遺児育成会理事長（沖縄テレビ放送株式会社代表取締役社長）から、「医療関係者の皆様におかれましては、コロナ禍が多少は緩んだものの、感染症対策等のご対応にご苦労されていたにもかかわらず、募金活動をされていたことに、お礼申し上げます。当育成会の事業推進にご理解を頂き、大変貴重な寄附金まで賜りました。この度の尊いご芳志については、遺児達の学業上の不安を和らげ、強く逞しく成長して将来立派な社会人になるよう有効に活用させて頂きます。」と挨拶された。

同育成会は、昭和55年より、交通事故で父母を亡くした、または父母が後遺障害を負った小・中・高・特別支援・専門・大学生を対象に、学業上の不安を和らげ学業に専念できるよう返済の無い「奨学・育成金」等を給付してきた。給付開始以来、これまでに延べ7,214人の交通遺児を支援した。令和5年度は、51人の交通遺児に対し、4,834,000円の給付を行っている。（文：事務局 大城喜仁）

○令和5年度四師会募金額

沖縄県医師会	578,782 円
沖縄県薬剤師会	50,000 円
沖縄県歯科医師会	50,000 円
沖縄県看護協会	50,000 円
合 計	728,782 円



琉球新報 令和6年3月29日（金）

薬事情報おきなわ No. 279

2024年 3・4・5月号 : Vol. 39 No. 1

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

薬価基準追補収載品目

●新医薬品 2024年4月17日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名・適応症・効能効果
内 用 薬	ゾキンヴィカプセル50mg (LNF50)	50mg1カプセル	91,796.4	アンジェス	ロナファルニブ : 早老症治療用剤・ファルネシルトランスフェラーゼ阻害剤(ハッチンソン・ギルフォード・プロジェリア症候群及びプロセッシング不全性のプロジェロイド・ラミノパチー)(新有効成分)
	ゾキンヴィカプセル75mg (LNF75)	75mg1カプセル	136,544		
	ボイデヤ錠50mg (DCN50)	50mg1錠	2,259.2	アレクシオン ファーマ	ダニコバン : 補体D因子阻害剤(発作性夜間ヘモグロビン尿症)(新有効成分)
	ターゼナカプセル0.1mg (pfizer TLZ 0.1)	0.1mg1カプセル	3,920.7	ファイザー	タラゾパリプトシル酸塩 : 抗悪性腫瘍剤/ボリアデノシン5'ニリン酸リボースポリメラーゼ(PARP)阻害剤(BRCA遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌)(新有効成分)
	ターゼナカプセル0.25mg (pfizer TLZ 0.25)	0.25mg1カプセル	9,576		タラゾパリプトシル酸塩 : 抗悪性腫瘍剤/ボリアデノシン5'ニリン酸リボースポリメラーゼ(PARP)阻害剤(BRCA遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌、がん化学療法歴のあるBRCA遺伝子変異陽性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌)(新有効成分)
	ターゼナカプセル1mg (pfizer TLZ 1)	1mg1カプセル	21,547.1		タラゾパリプトシル酸塩 : 抗悪性腫瘍剤/ボリアデノシン5'ニリン酸リボースポリメラーゼ(PARP)阻害剤(がん化学療法歴のあるBRCA遺伝子変異陽性かつHER2陰性の手術不能又は再発乳癌)(新有効成分)
	ラバリムス顆粒0.2%	0.2%1g	3,010.2	ノーベル ファーマ	シロリムス : mTOR阻害剤(下記の難治性脈管腫瘍及び難治性脈管奇形、リンパ管腫(リンパ管奇形)、リンパ管腫症、ゴースト病、リンパ管拡張症、血管内皮腫、房状血管腫、静脈奇形、青色ゴムまり様母斑症候群、混合型脈管奇形、クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群)(新効能、新用量、剤形追加)
注 射 薬	フィコンパ点滴静注用2mg	2mg1瓶	1,962	エーザイ	ペランパネル水和物 : 抗てんかん剤(一時的に経口投与ができない患者における、下記の治療に対するペランパネル経口製剤の代替療法 てんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)、他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法)(新投与経路)
	アイリーア8mg硝子体内注射液 114.3mg/mL	8mg0.07mL1瓶	181,763	バイエル薬品	アフリベルセプト(遺伝子組換え) : 眼科用VEGF阻害剤(中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫)(新剤形医薬品)
	エヴキーズ点滴静注液345mg	345mg2.3mL1瓶	1,409,928	Ultragenyx Japan	エビナクマブ(遺伝子組換え) : ヒト化抗ANGPTL3モノクローナル抗体(ホモ接合体家族性高コレステロール血症)(新有効成分)
	レプロジル皮下注用25mg	25mg1瓶	184,552	ブリストル・マイ ヤーズ スクイブ	ルスパテルセプト(遺伝子組換え) : 赤血球成熟促進薬(骨髓異形成症候群に伴う貧血)(新有効成分)
	レプロジル皮下注用75mg	75mg1瓶	551,000		
	イブグリース皮下注250mgオートイン ジェクター	250mg2mL 1キット	61,520	日本イーライリ リー	レプリキズマブ(遺伝子組換え) : 抗ヒトIL-13モノクローナル抗体製剤(既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎)(新有効成分)
	イブグリース皮下注250mgシリンジ	250mg2mL 1筒	61,520		
	ヒフデュラ配合皮下注	5.6mL1瓶	604,569	アルジェニク スジャパン	エフガルチギモド アルファ(遺伝子組換え)・ボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え) : 抗FcRn抗体フラグメント・ヒアルロン酸分解酵素配合剤(全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限り))(新有効成分、新医療用配合剤)

* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。



Medical News

●口腔OTCの根拠公表-鎮痛薬服用前後で効果-医薬品情報学会（薬事日報3月27日）

日本医薬品情報学会と千葉県歯科医師会は、薬剤師や登録販売者が消費者からのOTC医薬品使用に関する相談に応えられるよう作成した「口腔領域に使用するOTC医薬品・医薬部外品リスト」について、根拠に基づいた指導ができるようクリニカル・クエスチョン形式で口腔領域に使用するOTC薬のエビデンスをまとめた。

●緊急避妊薬調査事業2カ月間で2000件以上の販売実績（薬局新聞4月10日）

日本薬剤師会は厚生労働省の委託による「緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査事業」に関する現段階でのとりまとめ状況を公表し、全国で2000件以上の販売実績に達していることが明らかとなった。都道府県別データでは東京都が260件以上にのぼっているほか、全国的に一定の実績が積み重ねられている様子が示されている。

●医療情報ネット運用開始-全国の薬局が条件検索可～厚生労働省（薬事日報4月10日）

厚生労働省は今年度から、全国の薬局・医療機関等を様々な条件から検索できる「医療機能情報提供制度の全国統一システム（医療情報ネット）」の運用を開始した。これまで都道府県ごとに薬局等に関する情報を公開していたが、国民や患者の利便性向上を図った。医療情報ネットでは、ウェブ上で全国の薬局、病院、診療所等を探ることができる。薬局については、キーワードのほか、開店中の薬局、設備や対応サービス、都道府県固有の機能別に検索できるようになった。

●大手薬局頼りとなる在宅医療での夜間・休日対応の実態強調（薬局新聞4月10日）

厚生労働省の薬局・薬剤師の機能強化等に関する検討会は、先ごろ開いた第3回会合で薬局の夜間・休日対応を議論し、特に在宅医療における臨時的調剤対応では特化型薬局や大手チェーン頼りとなっている現場の実態が強調されるとともに、薬剤師会を主体とした受け皿づくりに疑問が呈され、地域の事情に即した薬局間連携体制の整備と制度・報酬上の後押しが求められた。

●腎臓学会等調査 紅麹中止で大半回復-死亡例に既往歴あり（薬事日報4月12日）

厚生労働省と日本腎臓学会は9日、小林製薬の紅麹製品による健康被害が生じた95症例の調査結果を公表した。初診時の主訴として半数以上の症例で倦怠感や食

思不振、尿の異常、腎機能障害を認め、腹部症状や体重減少を訴える患者も一定数いたが、大半は被疑剤の中止で回復していた。また、厚生労働省は小林製薬から報告のあった死亡例5例のうち3例で「前立腺癌」「悪性リンパ腫」「高血圧、高脂血症、リウマチ」の既往歴があったことも公表した。腎臓学会は、紅麹コレステヘルプ等の使用による健康被害の実態把握を目的とし、学会員に対して4日時点で登録された健康被害を生じた95例の調査を行った。

●エーザイ認知症薬、対応施設600以上に 治療希望増える（日経新聞4月19日）

アルツハイマー病治療薬「レカネマブ（製品名レケンビ）」の投与を受けられる国内の医療機関が600カ所を超えた。2023年12月の処方開始から約4カ月で対応施設は地方に広がり、治療を希望する人も増えた。

●紅麹原料サンプルから「プベルル酸」以外の複数化合物を検出（産経新聞4月20日）

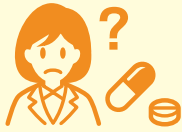
厚生労働省は19日、国立医薬品食品衛生研究所（国衛研）で健康被害の訴えがあった製品の原料のサンプルを分析した結果、会社側が報告していた青カビから発生する天然化合物「プベルル酸」以外に、通常のサプリメントには含まれていない複数の化合物も新たに検出すると明らかにした。厚生労働省は、検出された複数の化合物について特定作業を進め、健康被害が起こった原因なども検証する方針。

●生活者のセルフケア実践率は低下傾向も意識的には向上か（薬局新聞4月24日）

第一三共ヘルスケアによる「健康とセルフケアの実態調査」で、コロナ5類移行後にテレワーク経験がある社会人は体力低下などでセルフケアの重要性を実感する状況が確認される一方、全体としてセルフケア実践率は45%を切った。同社調査は人生100年時代にセルフケアの考え方が重要なテーマとなることを見据え、例年働く社会人層を対象に実施されているが、調査趣旨に反してセルフケア実践率は低下傾向を帯びる実態が示されている。

●来年から新薬承認年7回-部会開催後3週内メドに～厚生労働省（薬事日報5月1日）

厚生労働省は4月24日付の通知で、新医薬品の製造販売承認時期について、「薬事審議会医薬品第一部会・第二部会の開催から3週間以内をメド」とする方針を示した。年4回のタイミングで承認する現行ルールを見直し、承認頻度が増える見通しとなった。2025年1月1日以降に開く部会から適用される。製薬業界は、「年7回のチャンスに増えたと考えれば、非常にありがたい」と歓迎する姿勢を示している。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

疑義照会・処方医への情報提供

2024年

No.1

事例1

一般用医薬品との重複



事例

【事例の詳細】

80歳代の女性患者に、整形外科からメチコパール錠500 μ g 1回1錠1日2回朝夕食後を含む複数の薬剤が30日分処方された。患者に一般用医薬品などの服用について確認したところ、関節痛を緩和するためにリョウシンJV錠を購入し服用していることがわかった。リョウシンJV錠は1日最大服用量3錠中にシアノコバラミンを1500 μ g含有している。シアノコバラミンはメチコパール錠の有効成分であるメコバラミンと同じビタミンB₁₂であることから、念のため処方医に疑義照会を行った。その結果、メチコパール錠500 μ gは削除し、リョウシンJV錠を継続するよう回答があり、患者に説明した。

【推定される要因】

患者は、処方医に一般用医薬品を服用していることを伝えていなかった。

【薬局での取り組み】

一般用医薬品の服用の有無などの情報を、定期的に患者に確認する。日頃から、患者が話しやすい関係性を築いておく。



その他の情報

販売名	メチコパール錠250 μ g/500 μ g	リョウシンJV錠
医薬品分類	医療用医薬品	一般用医薬品（第3類医薬品）
有効成分	1錠中 メコバラミン（ビタミンB ₁₂ ） 250 μ g/500 μ g	3錠（1日最大服用量）中に シアノコバラミン（ビタミンB ₁₂ ） 1,500 μ g 他
用法及び用量	通常、成人はメコバラミンとして 1日1,500 μ gを3回に分けて経口 投与する	成人（15歳以上）1回2～3錠 1日1回

(2023年12月11日現在)



事例のポイント

- 薬剤師が患者から要指導・一般用医薬品や健康食品、サプリメントの服用に関する情報を聴取し、処方された薬剤との重複や相互作用などの有無を確認することは重要である。
- 本事例は、患者が服用していた一般用医薬品と処方された薬剤の成分が重複していることに気づき、処方医に疑義照会を行った事例である。
- 水溶性ビタミンの過量服用により重篤な副作用が発現する可能性は低いが、処方された薬剤と同類のビタミンを含有する薬剤を患者がすでに服用していることは、医師が治療薬を選択するうえで有用な情報になり得る。
- 要指導・一般用医薬品や健康食品、サプリメントの服用に関する情報は、お薬手帳に記載されていることが少ないため、患者から直接聴取する必要がある。薬剤師が情報を収集する意義を患者に理解してもらい、服用している要指導・一般用医薬品や健康食品、サプリメントをお薬手帳に記載するよう指導することが望ましい。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

調剤

2024年
No.3
事例1

注射薬と内服薬の取り違い



事例

【事例の詳細】

高熱が出ている施設入所者の尿からMRSAが検出された。医師はバンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「明治」を処方した。処方箋を応需した薬局の発注担当者は、医薬品卸業者に電話で薬剤の発注を行った。医薬品卸業者では在庫が不足しており、当日は一部の薬剤が納品された。薬剤師Aは納品された薬剤を十分に確認しないまま施設へ届けた。翌日、不足していた薬剤が納品された際に、バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「明治」ではなく、内服薬のバンコマイシン塩酸塩散0.5g「明治」が納品されていたことに薬剤師Bが気付いた。すぐに施設へ連絡し、薬剤を誤って交付したことを伝えた。前日に施設へ届けたバンコマイシン塩酸塩散0.5g「明治」はすでに患者に静脈注射されていた。

【背景・要因】

処方箋を応需した際、施設の看護師から至急対応をしてほしいと依頼があった。薬局の発注担当者が電話で医薬品卸業者へ薬剤を発注した際に、医薬品卸業者の職員が内服薬のバンコマイシン塩酸塩散0.5g「明治」と聞き間違えた。医薬品卸業者の職員が発注内容を復唱したが、薬局の発注担当者は間違いに気付かなかった。通常、納品時は複数の薬剤師で確認を行うことになっているが、薬局が混雑していたため、薬剤師Aのみが確認を行った。納品された内服薬は、バイアル瓶に粉末が入っている製剤であり、薬剤師Aと施設の看護師は注射薬であると思い込んだ。

【薬局から報告された改善策】

薬剤の発注の際には、誤発注が起きないように確認を徹底する。薬剤が納品された際は必ず二人以上の薬剤師で薬剤の確認を行う。



その他の情報

販売名	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用0.5g「明治」	バンコマイシン塩酸塩散0.5g「明治」
製品の画像		

Meiji Seikaファルマ株式会社のホームページより（参照2024年1月24日）



事例のポイント

- 本事例は、薬剤師が、処方された薬剤とは投与経路の異なる同成分の薬剤が納品されたことに気付かず調剤し、患者に内服薬が静脈内投与された事例である。
- バンコマイシン塩酸塩は注射薬、内服薬ともにバイアル製剤であるが、バンコマイシン塩酸塩散0.5g「明治」は経口用と認識できるよう、薬瓶ラベルに「経口剤」及び赤地に白文字で「禁注射」と表記されている。薬剤を取り扱う際は、薬剤に記載されている注意事項も確認することが重要である。
- 本事例では、発注時と納品時の確認不足が誤交付の要因となっている。薬剤を電話で発注する場合、改めて発注書を作成してFAXするなど、伝達の間違いが起きないように発注の手順を定めておく必要がある。また、薬剤が納品された際には、発注書と納品伝票を照合することが重要である。


公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

2024年
No.3
事例3

疑義照会・処方医への情報提供

副作用の発現



事例

【事例の詳細】

80歳代の認知症の患者が、エチゾラム錠0.5mg「アメル」を継続して服用していた。薬剤師が交付する際、家族から患者の暴言や被害妄想について相談があった。薬剤師は家族の理解を得たうえで、服薬情報提供書を用いて処方医に患者の状況報告と薬剤変更の提案を行い、ケアマネジャーとも情報を共有した。その結果、処方医はエチゾラムによる副作用の可能性を疑い、段階的にエチゾラム錠0.5mg「アメル」の減量を行った。最終的にはエチゾラム錠0.5mg「アメル」は処方から削除となり、ツムラ抑肝散エキス顆粒（医療用）が処方された。その後、家族から、患者の暴言・被害妄想は劇的に改善し、介護のストレスが軽減したと報告を受けた。

【推定される要因】

診察時の患者には暴言や被害妄想のような言動がなく、処方医は患者の変化に気付かなかった。診察に同伴している家族は、患者の前で、介護で困っていることを処方医に伝えることができなかった。患者は薬局には来局せず車内で待つことが多かったため、薬剤師は直接患者と接することがなかった。

【薬局での取り組み】

家族や介護者から、認知症患者の生活状況について積極的に情報を聴取し、妄想、幻覚、徘徊、攻撃的な言動などの認知症の周辺症状（BPSD：Behavioral and psychological symptoms of dementia）の発現があれば、処方医やケアマネジャーに情報提供を行う。



その他の情報

かかりつけ医のためのBPSDに対応する向精神薬使用ガイドライン（第2版）*（一部抜粋）

（BPSD治療アルゴリズム 確認要件 注1より）

激越、攻撃性、妄想、幻覚、抑うつ、錯乱、せん妄、等の精神症状は服用中の薬剤で引き起こされる可能性もある（特に、抗認知症薬（コリン分解酵素阻害薬、メマンチン）、H2ブロッカー、第一世代抗ヒスタミン薬、ベンゾジアゼピン系薬剤、三環系抗うつ薬、その他の抗コリン作用のある薬剤）。関連が疑われる場合には投与を中止するなど添付文書に準じた適切な処置を行うこと。薬剤については「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015（日本老年医学会）」を、せん妄の治療については「せん妄の治療指針第2版（日本総合病院精神医学会）」を参照されたい。

※平成27年度厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）

認知症に対するかかりつけ医の向精神薬使用の適正化に関する調査研究班作成（参照2024年1月24日）

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12300000-Roukenkyoku/0000140619.pdf>

事例のポイント

- 本事例は、薬剤師が認知症患者の家族から、患者の暴言や被害妄想に悩まされていることを聴取し、処方医やケアマネジャーに情報提供を行った事例である。認知症患者の周辺症状（BPSD）について医療・介護従事者や家族などが情報を共有し、連携して対応することは重要である。
- ベンゾジアゼピン系抗不安薬は、認知症患者の周辺症状（BPSD）の悪化や発現に関与する可能性がある。一方で、ベンゾジアゼピン系抗不安薬の急激な減量および中止により、痙攣発作、せん妄、振戦、不眠、不安、幻覚、妄想等の離脱症状が発現することがあるため、慎重に対応を検討する必要がある。
- 認知症患者が来局した際は、薬剤師は、来局時の患者や家族を観察し、「困っていることや、気になることは他にはありませんか。」と声を掛けるなど、積極的に情報を収集し、薬物療法の支援を行うことが求められる。

公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqhc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすいため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容及び表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

〔質問〕 家族にコロナ陽性者がいて、7歳の子も4日間高熱が続いている。コロナ治療薬は子供には使えないと思うが、コロナールなどの対症療法のみになりますか。

〔回答〕 コロナ治療薬のうち、現在ゾコーバ錠とパキロビッドパックが12歳以上、ラゲプリオは18歳以上の患者さんにしか使用できません。小児がコロナに感染した場合には、解熱剤や咳止め等症状に応じて薬が処方されます。高熱による脱水症の恐れもあるため発熱外来を受診することを勧めます。

〔質問〕 目が赤くなっているのでもいつも使っているレボフロキサシン点眼液を使いたい。市販されていますか。

〔回答〕 現在レボフロキサシン点眼液は処方薬のみで、市販されていません。抗生物質を含有する市販の点眼薬としては「サンテ抗菌新目薬」や1回使い切りタイプの「ロート抗菌目薬i」等があります。目の充血や目脂等の症状、結膜炎やものもらいに使用できます。

〔質問〕 友人がセレコキシブを1日2回で処方されたという。効いていないから3回飲んででもいいか聞かれたが、どうしたらいいですか。

〔回答〕 このお薬は作用時間より1日2回で飲むお薬となっています。痛みが強いようでしたら、主治医に相談するようお願いください。

〔質問〕 子供への漢方薬の飲ませ方について。なかなか飲んでくれない。

〔回答〕 漢方薬は独特の匂いや味があります。大人でも苦手な方もおり、小児にとっても必ずしも飲みやすいお薬とはいえません。小児への飲ませ方としては砂糖や黒糖、ガムシロップを加えたり、1歳以上なら蜂蜜も使用できます。市販の「ゼリー状オブラート」を利用してもいいでしょう。また、熱めのお湯で溶いてから、冷ました後で飲ませる方法もあります。

〔質問〕 ネブライザーのメーカーから必ず生食を使用するように言われたが、生食が購入できないので、代用はないのか。鼻うがいの粉は使用できますか？

〔回答〕 生理食塩液は100mLに0.9gの食塩を入れるとご自身で作ることができます。ただ、指示された生理食塩水の使用を奨めているのは、細菌や雑菌等に対する安全性の面からです。鼻うがいの粉もネブライザーに適しているとはいえません。

●安全性情報●

〔質問〕 頭痛持ちだけど、病院に行ったことはない。イブ、パファリンにアレルギーがあり、市販のアセトア

ミノフェンを使用していた。最近はアセトアミノフェンでも吐き気や体調不良が出る。どうしたらいいですか。

〔回答〕 頭痛は片頭痛の他にも色々な疾患が原因となっている場合があります。吐き気を伴ったり、痛みが続いているのであれば、頭痛専門外来で一度診てもらえる事を勧めます。頭痛の原因によっては、治療薬も異なります。片頭痛を予防するお薬や片頭痛発作時に頓服的に使用する薬もあります。

〔質問〕 1週間前から声枯れがあり、寝る前にセレスタミン配合錠、その他にトラネキサム酸、シナールも飲んでいる。セレスタミンを服用して3日目から怠さが続いていて、力が入らない。調べたらセレスタミンの副作用が出ているように思う。今日は病院が休みです。症状は良くなっている感じがするが、どうすればいいですか。

〔回答〕 服用されたセレスタミンには、眠気やめまい、脱力感、倦怠感等の副作用が報告されています。昨晚服用した薬の影響の可能性もありますので、念のため今日はこのお薬の服用は中止し、明日早めに主治医にご相談ください。

〔質問〕 PHが8とか高い水を飲んでいるが、薬をこの水で飲んで大丈夫ですか。

〔回答〕 飲料水については多くの会社から水や製造器等が販売されています。水道水のpH基準値は5.8～8.6であり、pHに関しては特に問題はありません。ただ、天然水やミネラルウォーターなど製品によって種々のミネラル含量も異なっています。薬の効果に対する影響については確認されていないこともあるため、基本的に薬に影響のない水道水や白湯で服用することを勧めます。

〔質問〕 1歳の子の薬について。1週間前に耳鼻科を受診し、サリパラ液とカルボシステインシロップを処方された。ネットで調べたら12才以下には処方禁止となっている薬だと書いてあった。今の所元気だけど、心配になった。

〔回答〕 ネットで見られたのは「サリパラコデイン液」ではありませんか。この医薬品は2016年に発売中止となり2018年3月まで使用されていました。その製品に含まれていた咳止め薬のコデインは、現在小児への使用が禁止されています。今回処方されたサリパラ液にはコデインは含まれておらず、乳児にも使用できるお薬です。ご心配はいりません。

〔質問〕 アムロジピンとカルベジロールという血圧の薬を飲んでいる。風邪を引いてジキニンを飲もうと思うが、高血圧の人は相談することとある。自分は飲め



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
消費者専用電話：098-963-8935

ないのですか。

〔回答〕 ジキニン顆粒の中に血圧をあげる成分（メチルエフェドリンとカンゾウ）が含まれているため、そのような注意が記載されています。ただ、現在血圧の薬を服用中で血圧が安定しているのであれば、短期間の服用は問題ないと考えます。

〔質問〕 アムロジンという薬を10年程飲んでいる。最近歯茎が弱くなって2本抜けたこともあったと薬局で話したら、薬剤師から副作用の話をした。そんなことがあるのですか。

〔回答〕 アムロジン等のカルシウム拮抗薬といわれる降圧剤には歯肉増殖症という副作用が報告されています。症状としては、歯茎は硬く、薄いピンク色で痛みもなく出血を伴う事はないとされています。重症例では歯茎が歯（歯冠）を完全に覆って歯周病を起こすだけでなく、歯の萌出や歯並びにまで影響を及ぼします。気になるようでしたら主治医または、歯科医師にご相談ください。

参考：歯肉増殖症を引き起こす薬物には、フェニトイン（抗てんかん薬・ヒダントイン系薬）、ニフェジピン（降圧薬・カルシウム拮抗薬）、シクロスポリンA（免疫抑制薬・カルシニューリン阻害薬）などがある。過形成は、びまん性で、比較的血管分布が少ない平滑性または結節性の歯肉腫大を特徴とし、何本かの歯をほとんど覆ってしまうことがある。可能であれば、代替投薬が原因薬物に対してなされる。徹底した口腔衛生は再発を最小限に抑える。また、歯科治療を受けたCa拮抗薬の服用者1533名を対象とした17種類のCa拮抗薬による歯肉増殖症の発生頻度をみた調査では、ニフェジピンの発症率が7.7%と最も高く、ついで、ジルチアゼム4.0%、マニジピン1.8%、アムロジピン1.3%、ニソルジピン1.1%、およびニカルジピン0.5%に認められたとの報告がある（文献3）。

参考文献：

1. 歯肉増殖症：MSDマニュアルプロフェッショナル版
2. 歯周治療のガイドライン2022
3. 「歯肉増殖の副作用が少ないCa拮抗薬はありますか」：日本医事新報（4772），2015
4. 歯肉増殖症患者用インフォメーション：オーラルメディシン米国アカデミー

●妊婦・授乳婦●

〔質問〕 授乳中。肩の痛みがあるのでケトプロフェンテープを使用してもよいですか。

〔回答〕 塗り薬も含めケトプロフェンの外皮用剤については妊婦、授乳婦で使用の可否が異なります。ケトプロフェンテープについては全身循環への移行が少なく、母乳中の薬剤濃度は低いとされています。授乳期で治療上必要な場合には、安全に使用できる薬剤です。

ただし、妊娠後期の方は胎児動脈管収縮が起こることがあるため、ケトプロフェンテープの使用は禁止されています。

参考文献：

1. 母乳とくすりハンドブック 第3版（大分県薬剤師会）

●その他の質問●

〔質問〕 乾燥剤について。処方される薬に乾燥剤が入っている事があるが、成分はどのようなものが使用されているのか教えて欲しい。舐めたかもしれないと相談された。

〔回答〕 お薬に梱包されている乾燥剤は、シートタイプ、タブレットタイプ、分包品など様々です。内容物は活性炭やシリカゲル、塩化カルシウム等で無味・無臭・無害なものが使用されています。誤飲などで医療機関にかかる場合には、いつ、製品名、どのくらい食べたのか、舐めたのか等の情報が必要となります。

〔その他ご意見・ご相談〕

- ・服薬ロボットをレンタルできる薬局を教えて欲しい。
- ・紅麹が騒がれている。自分の飲んでいる健康食品の製造会社に聞いたが入っていないと言っていたが大丈夫か心配になった。
- ・薬局で外用薬が切れているので後日自宅に届けると言われた。処方箋の薬は常に備蓄しておくべきではないか。
- ・血圧の薬ニフェジピンCR20を10日前に処方された。1日に14回血圧を測っていたら、先生にはこんなに測る必要はないと言われた。本当ですか？
- ・血圧の薬を飲んでから血圧が低くなっていると思うが、薬は続けて飲んだ方が良いのか。
- ・難病の子がいる。京都市のアイ・ピース研究所に行きたい。山中先生という偉い人がいる。



今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より特集および文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

◇ medicina 61 巻 2 号

* 今どきの手技を見直し、医療処置でのトラブルを防ぐ 経験値ごとの気をつけるべき合併症や工夫

◇ medicina 61 巻 3 号

* どこでもみれる？ コモンディジーズとしての感染症アップデート

◇ medicina 61 巻 4 号 (増刊)

* 内科医のための臨床問題集

◇ medicina 61 巻 5 号

* 腎機能を考慮した内科疾患の診療

◇ エキスパートナース 40 巻 3 月号

* 最新おむつカタログ 2024 / 場面別でわかる気管切開患者ケア

◇ エキスパートナース 40 巻 4 月号

* 観察、アセスメント、対応をランクアップさせる ナースの教科書 / 新人ナースと先輩ナース 新生活の不安を聞いてみよう！

◇ エキスパートナース 40 巻 5 月号

* 血液検査・尿検査・喀痰検査 / あなたの“ストレスを減らす”ための職場の対人関係サバイバルスキル

◇ きょうの健康 3 月号

* 認知症、便秘・下痢・痔

◇ きょうの健康 4 月号

* 快眠生活、健康づくり

◇ きょうの健康 5 月号

* メンタル不調、肺がん

◇ 月刊薬事 66 巻 2 号 (臨増)

* 評価スケールの読み方、活かし方

◇ 月刊薬事 66 巻 4 号

* 病棟・外来でよくみる気になる 神経診療 Up to Date

◇ 月刊薬事 66 巻 5 号

* 最適な治療・管理がわかる 水・電解質・酸塩基平衡異常

◇ 月刊薬事 66 巻 7 号

* 基本とコツを押さえたイマドキの緩和ケア

◇ 産科と婦人科 91 巻 3 号

* 婦人科がん化学療法の進化 - 最適レジメント管理を考える

◇ 産科と婦人科 91 巻 4 号

* 子宮摘出と機能障害・機能温存・機能再建アップデート

◇ 産科と婦人科 91 巻増刊号

* これでマスター！最新 産婦人科ホルモン療法

◇ 産科と婦人科 91 巻 5 号

* 女性のライフコース疫学研究 [日本ナースヘルス研究 (JNHS)] のすべて

◇ 総合診療 34 巻 3 号

* え、ウソ！実は〇〇だった!? “コモンディジーズ”の診断ピットフォール

◇ 総合診療 34 巻 4 号

* 困ったときの漢方 この症状に役立ちます！

◇ 総合診療 34 巻 5 号

* 優柔不断にサヨウナラ！あなたの「臨床判断力」を高めるケーススタディ 11 選

◇ 調剤と情報 30 巻 3 号

* 薬剤師の災害時の課題解決！BOOK

◇ 調剤と情報 30 巻 4 号

* 服薬指導に+α CKD 患者へ寄り添う生活指導

◇ 調剤と情報 30 巻 5 号

* クリーンスポーツを支える 薬剤師に求められるアンチ・ドーピングの知識と情報発信

◇ 調剤と情報 30 巻 6 号

* 疑問を解決！挑戦！薬物動態 Quiz

◇ 治療 106 巻 3 号

* 実際どうなの？ SGLT2 阻害薬

◇ 治療 106 巻 4 号

* プライマリ・ケアでみる睡眠の悩み

◇ 治療 106 巻 5 号

* プライマリ・ケアにおける腰痛診療

◇ 日経ドラッグインフォメーション 316 号

* じっくり学ぶ骨粗鬆症の薬

◇ 日経ドラッグインフォメーション 317 号

* インスリンだけじゃない！広がる自己注射製剤

◇ 日経ドラッグインフォメーション 318 号

* 在宅移行をスムーズに 退院時処方 ここに気を付ける！

◇ 日本医事新報 5206 号

* ダウン症候群の成人期医療 - 主な合併症と健康管理
指針

◇日本医事新報 5107 号

* 最新 掌蹠膿疱症診療 - 他科連携・医科歯科連携の
ポイント

◇日本医事新報 5208 号

* 新型コロナウイルス後遺症 - これまでの対応と問題点

◇日本医事新報 5210 号

* 消化器症状に潜む内分泌代謝疾患

◇日本医事新報 5211 号

* 難治な呼吸器疾患に、GERD の新常識

◇日本医事新報 5212 号

* プライマリ・ケア医が知っておくべき がん化学療
法の最新知識

◇日本医事新報 5213 号

* かゆみ漢方虎の巻 - 最新の痒み診療とエビデンス漢
方

◇日本医事新報 5214 号

* プライマリ・ケア医が知っておくべき がん化学療
法の最新知識

◇日本医事新報 5215 号

* 最新エビデンスと使い方のコツが見につく 舌下免
疫療法 Q&A

◇日本医事新報 5216 号

* 小児医療従事者・学校医のための包括的性教育

◇薬局 75 巻 3 号

* 微量元素みつけた

◇薬局 75 巻 4 号

* みえる！わかる！精神科のくすり

◇薬局 75 巻 5 号

* ストップ！CKD

◇薬局 75 巻 6 号

* 腸内細菌となかよく

【今月の論文等】

■薬物療法■

▶新型コロナウイルス感染症 5 類化以降の治療
Medicina61 (3) p.436

▶これから増える！？ 知っておきたい麻疹の診断・
治療
Medicina61 (3) p.460

▶気になる小児感染症 (1) RS ウイルスの新しい予防
薬 [1]
月刊薬事 66 (7) p.119

▶医師が語る 処方箋の裏側～流産を繰り返す患者に
処方された低用量アスピリン

日経ドラッグインフォメーション (316) p. PE013

▶医師が語る 処方箋の裏側～メマンチン、抗てんか
ん薬中止し穏やかになった認知症の女性

日経ドラッグインフォメーション (317) p. PE013

▶医師が語る 処方箋の裏側～皮膚科で処方された低
用量・食前投与のシクロスポリン

日経ドラッグインフォメーション (318) p. PE001

■新薬■

▶ポリファーマシーと SGLT2 阻害薬
治療 106 (3) p.278

▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み
[41]

コルスパ®静注透析用シリンジ 17.5 μ g・25.0 μ g・
35.0 μ g (ジフェリケファリン酢酸塩)

月刊薬事 66 (4) p.124

▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み
[42]

レケンビ®点滴静注〔レカネマブ (遺伝子組換え)〕

月刊薬事 66 (5) p.130

▶添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み
[42]

ウコービ®皮下注 SD〔セマグルチド〕

月刊薬事 66 (7) p.152

▶輸液の目的と選択の考え方は？

月刊薬事 66 (5) p.29

▶最新エビデンスと使い方のコツが身につく～舌下免
疫療法 Q&A

日本医事新報 (5214) p.18

■安全性情報■

▶医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース

・ST 合剤併用でミコフェノール酸の血中濃度が低下

・コロナワクチンの副反応とノセボ効果

薬局 75 (3) p.136

▶医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース

・5 α 還元酵素阻害薬と前立腺がんとの関連はない

・抗精神病薬の抗コリン作用と認知機能低下との関連

薬局 75 (4) p.140

▶医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース

・緑茶でラロキシフェンの血中濃度が低下

・薬局での運動の声かけでフレイル予防の可能性

薬局 75 (5) p.120

▶外来薬物療法ケースカンファレンス (25) グレープ
フルーツと相互作用のある薬剤はどれか？

月刊薬事 66 (4) p.102

▶薬剤性の電解質異常

月刊薬事 66 (5) p.24

- ▶高齢者ならではの抗うつ薬の注意点
日経ドラッグインフォメーション (317) p.PE024
- ▶ロンサーフの服用中に中止された降圧薬
日経ドラッグインフォメーション (317) p.PE047
- ▶論文で読み解くくすりのリスク～抗凝結薬による急性腎障害のリスク
日経ドラッグインフォメーション (316) p.PE020
- ▶論文で読み解くくすりのリスク～SGLT2 阻害薬で尿路感染症より留意すべき副作用は
日経ドラッグインフォメーション (317) p.PE022
- ▶論文で読み解くくすりのリスク～GLT-1 受容体作動薬と自殺念慮との関連
日経ドラッグインフォメーション (318) p.PE020
- ▶耐性菌を増やさないための抗菌薬適正使用の知識 - 高齢者への点眼剤
調剤と情報 30 (4) p.76
- ▶CKD ステージの進行に応じて注意が必要な薬剤
調剤と情報 30 (4) p.12
- ▶飲食物と薬物の組み合わせの影響
調剤と情報 30 (6) p.33
- ▶授乳中患者の服薬継続可否
調剤と情報 30 (6) p.50

■薬剤師業務■

- ▶振り返れば国試 [9] 外来がん薬物療法の薬学管理、患者指導のポイントは？
月刊薬事 66 (4) p.108
- ▶振り返れば国試 [10] カテーテル関連血流感染症 (CRBSI) へのバンコマイシンの AUC 評価
月刊薬事 66 (5) p.121
- ▶振り返れば国試 [11] 気管支喘息患者の服薬指導で知っておくべきポイントは？
月刊薬事 66 (7) p.144
- ▶体液異常の病態を理解するための検査所見 (血液・尿) の読み方
月刊薬事 66 (5) p.20
- ▶CKD 患者へ寄り添う生活指導～明日からできる生活指導 OTC 医薬品とサプリメント
調剤と情報 30 (4) p.58
- ▶CKD 患者へ寄り添う生活指導～明日からできる生活指導 腎代替療法患者へのケア
調剤と情報 30 (4) p.64

■漢方療法■

- ▶緩和ケアでよく使う漢方薬は？
月刊薬事 66 (7) p.86
- ▶風邪に対する漢方薬の選び方
調剤と情報 30 (4) p.70

- ▶ぐっとよくなる！ 漢方処方快訣ビフォーアフター〈第3回〉抑肝散の子母同服 家族を治療する場合の注意点：小児の薬用量 子どもが薬を飲んでくれないとき
薬局 75 (3) p.130
- ▶ぐっとよくなる！ 漢方処方快訣ビフォーアフター〈第5回〉めまい・冷えに対する処方の使い分け 「実証」・「虚証」を生薬ベースで理解する
薬局 75 (6) p.124

■その他■

- ▶ドーピング 禁止物質の調べ方&探し方
調剤と情報 30 (5) p.14
- ▶意図しないドーピング事例とその対応の Q&A
調剤と情報 30 (5) p.42
- ▶二日酔いに対する市販薬の選び方
調剤と情報 30 (5) p.66
- ▶体重あたりの投与量が新生児・小児のほうが多い薬物
調剤と情報 30 (6) p.37
- ▶ほうりつのおとしあな 法律違反事例から学ぶ おじさん薬剤師の憂鬱 オンライン服薬指導って結局よくわかりません
調剤と情報 30 (4) p.86
- ▶ほうりつのおとしあな 法律違反事例から学ぶ おじさん薬剤師の憂鬱 OTC 医薬品を販売したら損害賠償を請求されました
調剤と情報 30 (5) p.81
- ▶ほうりつのおとしあな 法律違反事例から学ぶ おじさん薬剤師の憂鬱 説明したはずなのに、説明していないとクレームを受けました
調剤と情報 30 (6) p.80
- ▶SGLT2 阻害薬とお金の関係
治療 106 (3) p.283
- ▶経口鉄剤、比べてみました
薬局 75 (3) p.87



医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

CKD患者へ寄り添う生活指導
OTC医薬品とサプリメント

調剤と情報 3月号

OTC医薬品・サプリメントには、アルミニウムやマグネシウムを含むものや、リンやカリウムの含有量の多いもの、腎機能を悪化させる可能性のあるものなどもあるため、自己判断で服用を継続することは避けるべきである。CKD患者では、腎機能が低下していく場合が多いが、急に悪化した場合は薬剤性が疑われる。原因としては、医療用医薬品ではNSAIDsの使用や造影剤が多いとの報告がある。他にも利尿薬やSGLT2阻害薬による脱水や、ACE阻害薬やARBも原因となる場合があり、速やかな介入が求められる。よい影響が期待されるOTC医薬品・サプリメントとしてはレボカルニチンがある。レボカルニチンは、透析患者の腎性貧血におけるエリスロポエチン製剤（ESA）低反応性貧血の改善、心機能改善効果を期待する報告などがある。患者指導は、患者が選択する際に参考にできるよう、CKD患者に適さないOTC医薬品やサプリメントに関する情報は予め提供しておくことが望ましい。CKDステージが上がったタイミングも、改めて状況把握や介入が必要でないかと考える。CKD・透析教室などによる集団指導も有用である。

重井医学研究所附属病院 薬剤部
佐藤 みのり

腸内細菌叢にも最も影響を与えるのは薬です。
影響度の高い薬とは？

薬局 5月号

日本人の腸内細菌組成はBifidobacteriumやBlautiaという菌種が多く、Prevotellaという菌種が少ないことが特徴といわれている。その組成は欧米人や中国人とも異なり、腸内細菌が有する機能は・代謝も国間で異なることがわかっている。筆者らが日本人を対象に構築した大規模データベースでは、さまざまな食・生活習慣のなかで、薬の投与が最も腸内細菌叢への影響が高い事が明らかとなった。影響度の多いものとして、消化器疾患治療薬ではプロトンポンプ阻害薬（PPI）、カリウムイオン競合型アシッドブロッカー等の胃酸分泌抑制薬、浸透圧性下剤、アミノ酸製剤、胆汁酸分泌促進薬の影響が強く、糖尿病治療薬の中ではαグルコシダーゼ阻害薬が最も強く影響することがわかった。しかし、この影響は可逆的な一面もあり、薬の中断により腸内細菌叢を基の状態に戻すことが出来る可能性がある。今後、腸内細菌についての研究が進展し、病院や薬局などにおける腸内細菌叢検査の普及なども期待されるなかで、薬剤師に腸内細菌の知識が求められる場面は増えていくと考えられる。

北里大学薬学部 微生物学教室
金 倫基

睡眠薬長期服用者への対応について

治療 4月号

睡眠薬をめぐる患者と医療者の思いは十人十色である。「前回と同じお薬をお願いします」の裏には、「医師が処方するのだから問題ないだろう」という思い入れも何もない人もいれば、常用量依存に裏打ちされた強すぎる欲求がある人もいる。一方で睡眠薬の副作用について、携帯端末で調べるうちに「やめることも、飲み続けている事にも不安」というアンビバレントな思いを抱いている事も想定される。オレキシン受容体阻害薬が登場してから、随分と調整はしやすくなっていると感じているが、かつてベンゾジアゼピン受容体作動薬も同じように副作用が少ない睡眠薬としてもはやされた歴史を鑑み、過度に入れ込まないように心がけている。まれではあるが、睡眠薬をいわゆる“オーバードーズ”のために使用している、家族や友人に譲渡している、営利目的で売却しているなどの不適切使用がなされることも一応想定しなくてはならないとも考えている。不適切使用が露呈した時は、患者の自傷行為や違法行為に負担する処方だ断固しない姿勢で、丁寧に、ここぞとばかりに減量・中止を含む処方変更の機会にしている。

杏林大学医学部 精神神経科学教室
今村 弥生

若者に急増するOTC薬乱用の実態と対策は？

日本医事新報 5218号

大麻などの違法薬物よりも広がっているのがOTC薬の過剰摂取です。違法薬物は男性が多いのに対し、OTC薬の乱用者は、若い女性が多いのが特徴です。多くは様々な生きづらさを緩和するための自己治療として、過剰摂取を繰り返しているようです。コロナ渦で社会的に孤立する人が増え、使用しても逮捕されないことが乱用拡大につながっているとみられます。薬物依存研究部では、2023年に15～64歳5000人を対象に「薬物使用に関する全国住民調査」を実施しました。その結果、過去1年以内にOTC薬の乱用経験のある人は0.8%、国民の約65万人と推計されます。年代別では10代と50代に2つのピークがみられたこともわかっています。問題になっているのは厚生労働省が指定した6成分だけではありません。デキストロメトルファンによる薬物依存症患者が2018年からの4年間で倍増し、抗アレルギー薬や睡眠補助薬に含まれるジフェンヒドラミンの大量服用でも、急性中毒症例や死亡例が出ています。患者の医薬品の過剰摂取に気付いたら、頭ごなしに否定したりせず本人に寄り添うと共に、背後にある問題をケアする専門的な支援につなげていただければと思います。

国立精神・神経医療研究センター
嶋根 卓也

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】OTC 医薬品事典 第19版

【編著】一般社団法人日本 OTC 医薬品情報研究会 【発行】じほう 【発行日】2024 年 4 月

【版型/頁】A5 判/1,038 頁 【定価】7,480 円(税込) 【幹旋価格】6,490 円(税込)

日本 OTC 医薬品協会会員会社が製造・販売中の OTC 医薬品、指定医薬部外品の約 2,200 品目を薬効別に掲載。添付文書の情報や製剤の特徴、包装・価格などが簡潔にまとめられ、知りたい製品について、成分、製品名、会社名の 3 種類の索引から調べられる。

★【日薬幹旋図書】軟膏・クリーム配合変化ハンドブック 第3版

【発行】じほう 【発行日】2024 年 4 月発行

【版型/頁】B6 判/776 頁 【定価】5,060 円(税込) 【幹旋価格】4,510 円(税込)

軟膏・クリームなど皮膚外用剤の混合調剤において、製薬企業各社および論文報告などによる皮膚外用剤の混合可否や混合後の変化とその理由を網羅した、皮膚外用剤の混合調剤に欠かせない 1 冊。第 3 版では前版発刊後に新たに収載された新薬、ジェネリック医薬品に関する情報や最新の論文報告による情報を大幅に追加したほか、前版までに掲載された混合情報についても最新の臨床評価にもとづき全面的に見直し。多くの施設で使用されている「自転公転型混合機」による混合についての解説を加えて、より日常の調剤支援に役立つ。

★【日薬幹旋図書】実践 小児薬用量ガイド 第4版

【発行】じほう 【発行日】2024 年 3 月

【版型/頁】A6 変型判/476 頁 【定価】3,630 円(税込) 【幹旋価格】3,190 円(税込)

小児への処方・調剤の拠り所になる書籍が欲しい—そんな現場の切実な声に応じて生まれた本書が、10 年目を迎えてさらにパワーアップ。体重 kg あたり用量と添付文書の記載を一覧できる特長はそのままに、前版以降の新薬・小児適応が加わっただけでなく、「作用、注意事項、製剤のポイント」欄がさらに見やすいレイアウトに。

第一線で奮闘する医師・薬剤師が臨床現場の視点で、臨床現場に必要な情報にこだわってまとめた実践書。小児に向き合う全ての医療従事者必携。

★【日薬幹旋図書】薬事衛生六法 2024 年版

【発行】薬事日報社 【発行日】2024 年 3 月

【版型/頁】B5 判変型/2,100 頁 【定価】5,500 円(税込) 【幹旋価格】4,950 円(税込)

医薬品医療機器等法及び関係政省令、告示を中心に薬剤師法、毒劇、麻薬、医療保険、保健医療、食品・家庭用品、など薬事・医療・衛生関係法令を幅広く収載した法令集。

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

調剤と情報 2024年2月臨時増刊号

薬剤師の災害時の課題解決! BOOK

【編著】江川 孝 【発行】じほう 【発行日】2024年2月

【版型/頁】B5判/208頁 【定価】3,300円(税込)

昨今、台風や地震、大雨などさまざまな自然災害が頻発しており、いつ薬剤師として「対応」や「判断」を求められる場面に直面しても不思議ではない。緊急事態に焦らず、慌てずに平時と同じように正しい判断ができるよう準備をしておく必要がある。自然災害をはじめとした有事の際に薬剤師として直面する課題を厳選し、その課題に対して薬剤師業務で用いるSOAPの考え方をを用いて、現状把握から課題解決に向けたアプローチ法までを解説。

治療薬ハンドブック 2024

【編著】堀 正二、菅野 健太郎、門脇 孝、乾 賢一、林 昌洋

【発行】じほう 【発行日】2024年1月

【版型/頁】B6変型判/1,888頁 【定価】4,950円(税込)

2024年度版は、新項目「ガイドライン PickUP」の追加や書籍に載せきれないが押さえておきたい情報をQRコード化。定番の情報もさらに充実。

症例から考える代表的な8疾患 2024-25 一解答・解説付一

【編著】一般社団法人 京都府薬剤師会 【発行】じほう 【発行日】2024年1月

【版型/頁】B5判/576頁 【定価】5,720円(税込)

平成25年度に改訂された薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した実務実習では、公平で幅広く参加・体験できる実習を目的として、全ての実習生がどの施設でも標準的な疾患について広く学べるよう代表的な8疾患が提示された。本書は、その代表的な8疾患の設問を考えることで、実践的な臨床対応能力を身に付けることができるようになっている。各章は、当該疾患にかかわる基礎問題と処方箋ベースの症例問題(CASE)で構成されており、実務実習受入施設における教材、大学での臨床準備教育などに活用できる。

調剤と情報 2024年1月臨時増刊号

ウィメンズヘルスケアのための薬の使い方

【編著】柴田 綾子 【発行】じほう

【発行日】2024年1月 【版型/頁】B5/316頁 【定価】4,400円(税込)

近年注目が高まっているウィメンズヘルスケアの視点から、外来治療を行う婦人科疾患から救急・入院治療が必要な疾患、さらに妊娠・授乳中の薬物療法、不妊治療の薬における注意点について、薬物治療とセルフケアを中心に解説。

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

TEL：098-963-8931 FAX：098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

「小林製薬の紅麹を含む健康食品に関する Q&A」より抜粋(一部改変)
(<https://www.mhlw.go.jp/content/001242967.pdf>) 作成日：令和6年4月9日

【問1】小林製薬の対象3製品について、なぜ回収することになったのでしょうか。

3月22日付で、小林製薬株式会社が販売する、紅麹を原料とする機能性表示食品について健康被害が発生したとして、製品の回収をする旨が、同社より公表されたところです。現在、食品衛生法に基づき小林製薬が製造・販売した紅麹関連製品(紅麹コレステヘルプ 2. ナイシヘルプ+コレステロール 3. ナットウキナーゼさらさら粒 GOLD)の回収等が進められています。

【問7】現在、入院・通院をしている人の症状について教えてください。

自治体に対して医療機関から報告されている情報によれば、症状としては「浮腫(むくみ)」「頭痛」「倦怠感(だるさ)」「食欲不振」「吐気・嘔吐」「動悸・息切れ」「めまい・ふらつき」などが見られるとのことです。

【問8】小林製薬の対象製品を使用していました。検査をしたいのですが、何科を受診すれば良いのでしょうか。

ご自身の症状に応じた診療科を受診していただくこととなりますが、対象の3製品を摂取した方については、身体に明らかな異常がない場合であっても、何らかのご不安等があるときには、まずは内科を標榜している医療機関を受診していただくのがよいと考えます。

【問10】もし、検査で異常があった場合、治療はどのような内容なのでしょうか。

原則として医師の判断によるものですが、当該製品の喫食が原因として疑わしいようであれば、まずは当該製品の喫食を中止することが重要です。そのうえで、検査結果や、症状の程度などを踏まえて、必要に応じた治療を行うこととなります。具体的には、薬剤を用いた治療(※1)や、重症例に対する血液透析などの治療(※2)を行う場合があります。

※1 ステロイドを用いた治療を行う場合があります(入院して実施することが想定されます)。

※2 著しく悪化した腎臓の機能を一時的に補うため、血液浄化療法(血液透析等)を行う場合があります。いわゆる維持血液透析とは異なり、腎臓の機能が回復すれば、治療を中止(離脱)することが可能です。

【問11】対象の3製品を喫食したことがある場合、医療費はどのような取扱いとなりますか。自己負担は発生しますか。

対象の3製品を喫食したことがある方については、無症状の場合の診療を含め、喫食歴等から医師が必要と判断して実施した診療については、保険診療となります。その際は、通常の保険診療と同様の自己負担割合となります。

試験検査センターからのお知らせ

1 ガスクロマトグラフ質量分析計を更新しました

2002年5月に購入しプール水中の総トリハロメタンの測定に使用してきたガスクロマトグラフ質量分析計（GCMS）は経年劣化で夜間の自動分析ができず、メーカー保守期間も既に終了しており、故障時には対応に問題のある状態でした。

また、分析には高純度（99.9999%）のヘリウムガスを使用していたため、近年のヘリウムガスの価格高騰や供給不足問題※もあり検査体制に不安がありました。

そこで、試験センター委員会にて機器の状態等を説明し、更新について承認を頂きました。機種選定の結果、日本電子株式会社製の機器となり令和6年4月2日に納品されました。試験検査センターでは、正確で迅速な検査結果を会員の皆様にお届けできるよう今後も務めていきます。

【ヘリウムガスの供給不足問題※とは？】

ヘリウムは元素記号 He、原子番号 2 の希ガスで、無色・無臭の不活性ガスです。非常に軽い気体で、風船に使用されていたのでご存じの方も多いと思います。また、沸点は -269°C と低いので液体は医療用 MRI の冷媒やリニアモーターカーなどに、気体は水道管の漏れテストや分析機器のキャリアガスなどに使用されています。このように様々な分野で使用されているヘリウムは大気中に 0.0005%



しか存在せず、集めることは大変困難なため、地中の天然ガスから分離精製します。しかし、日本では採取できないため、米国や中東から 100% 輸入しています。近年、世界的に需要が高まっていることから供給不足となり価格は高騰しています。

分析機器のキャリアガスは、ヘリウムから他のガス（窒素や水素）を使える仕様に変更されるものが増えています。

今回更新した GCMS もキャリアガスに窒素を使用しています。

※参考資料：分析用ヘリウムガスの供給不足への対応について（厚生労働省事務連絡令和4年5月13日）

2 学校環境衛生検査が始まっています

令和6年度の学校環境衛生検査について、教育委員会等から依頼を受けた市町村の学校薬剤師の方へ随時、連絡しております。

検査容器の手配や日程の決定・変更など、試験検査センターまでご連絡ください。

よろしくお願いいたします。

ひきつづき利用契約推進中！

試験検査センターでは、会員の皆様のご利用をお待ちしています。

私達は、困った時の検査センター、会員のための検査センターをモットーに頑張っています。

※利用契約の詳細は、以下の連絡先に連絡下さい。

連絡先：試験検査センター 電話：098-963-8934 Mail：siken@okiyaku.or.jp

第64回 暮らしの中の薬草学 身近な薬草を知ろう

女性薬剤師部会
狩俣 イソ



沖縄産の「ニトベギク茶」が売られている。札幌農学校（現北海道大学）で学んだ農学士・教育者・思想家新渡戸稲造が、明治時代後期に日本に持ち帰った花である。きっと「日本の役にたつ」と思われたのでしょう。

ニトベギク：皇帝向日葵

学名 *Titonia diversifolia* (Hemsl.) A. Gray

科名 キク科 Asteraceae

属名 ニトベギク属 *Tithonia*

薬用部位 葉・茎

有効成分 セスキテルペノイド：オリザピン
フラボノイド：ルテオリン



【ニトベギクの名称・分布】

ニトベギク（腫柄菊）の名は、明治時代末期に新渡戸稲造が初めて日本に持ち込んだことに因むとされる。別名コウテイヒマワリ（皇帝向日葵）、ガリバーヒマワリ、英名は Tree Marigold とも Mexican Sunflower ともいわれる。中国南部や台湾では皇帝菊、腫柄菊、五爪金竜などの名で急性胃腸炎、肝機能改善、化膿性皮膚疾患などに用いられる。

ニトベギクは中央～北アメリカ・メキシコ原産、中米、東南アジア、アフリカなど熱帯・亜熱帯の地域に広く分布する。一日中太陽の光をあびる場所でのみ育ち、地域によって一年草であったり多年草であったりする。

【ニトベギクの特徴】

キク科の頑丈な植物で、高さは2～5m、茎は直立し、ときには茎が木質化して常緑の低木状になることもある。夏の花々が姿を消し、秋の花も少なくなる11月頃に、見事に咲きほこる。

沖縄では野生化して高さは4m以上、開花時期は5月、11月頃で、年二回みられる。頭花は直径約15cmの大きな橙色、明るい黄色で茎の先端に数個着く。舌状花は20枚前後ある。丘一面が黄色に染まる美しい景観を呈する。花の形はヒマワリやキクイモに似ている。花序柄が紡錘状に膨らむところはマリーゴールドにも似ている。背が高すぎるの

で人が立って見えても花を観察することはできない。日本の初冬には木枯らしがあるので、強風に揺さぶられてすぐに花卉が傷んでしまう。

葉は互生し、長さ約20cmで根元は卵形大型で先端は3～5裂し、種名も「葉が割れている」の意味である。縁には鋸歯がある。

【ニトベギクの利用】

一部の地域で民間薬として解熱、マラリア、解毒、打ち身などに用い、また肥料としても利用される。メキシコでは捻挫や骨折、打撲、皮膚感染症の治療薬などとして利用されている。

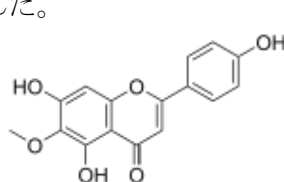
中国南部では皮膚病（水虫）、ほてり止め、利尿、肝炎、黄疸、膀胱炎の治療などに使われている。中国の広西から雲南省で栽培され、葉を清熱解毒に用いる。台湾では生薬市場で売られており、煎じたものが肝機能に良いとされる。

【ニトベギクの成分】

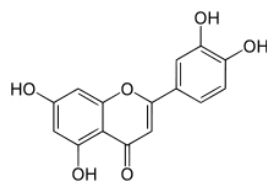
ニトベギクはセスキテルペノイド類オリザピンなどを含み、独特の苦味を有する。フラボノイド類ルテオリンなども含む。葉には多くのポリフェノールや機能性成分が含まれており、沖縄では地域の特産品としてニトベ茶があり、糖尿病に効果があるとされている。近年血糖降下作用が報告され血糖値が高い人の健康食品として売られている。

【ニトベギクの抗酸化作用】

ニトベギクの地上部より3種のフラボノイド、luteolin、nepetin、hispidulinが単離され、構造が同定された。HL-60白血病に対する細胞毒性も検討され、その結果 hispidulin が最も強い細胞毒性活性を示した。最近、luteolin が腫瘍細胞に対して選択的にアポトーシスを誘導することが報告された。



ヒスピドゥリン



ルテオリン

【ルテオリンの動脈硬化予防・尿酸低下作用】

ルテオリンは HNF4 α （核内受容体）に直接結合し、HNF4 α 標的遺伝子の発現を抑制することで血中コレステロールレベルを低下させる。さらに高脂肪食負荷時の脂肪肝の軽減や体重増加の抑制作用を発揮する。

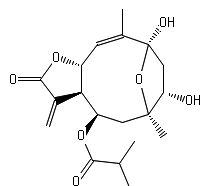
ヒトの体内における尿酸合成には、プリン体の代謝において重要な役割を果たす酵素である XOD（キサンチンオキシダーゼ）が関与しており、ルテオリンには XOD に対して競合的な阻害活性があることが IC50 値（酵素やトランスポーター等のタンパク質の活性を半分に抑えるために必要な化合物の濃度のこと）の評価によって明らかになっている。ルテオリンの XOD 阻害活性は、植物に一般的に含有される他のフラボノイドに比べて極めて強い。

【ニトベギクのNO 産生抑制作用】

スクリーニング NO 産生抑制試験の結果ニトベギクは、50 $\mu\text{g/mL}$ の濃度では顕著な細胞毒性が認められた。それらは tagitinin A、1 β , 2 α -epoxytagitinin C、tagitinin C、orizabin、2 α -hydroxytirotundin の5種のセスキテルペンラクトンであると構造決定されている。**抗炎症作用・がん細胞毒性**を含む多様な活性の報告がある。単離化合物のうち 1 β , 2 α -epoxytagitinin C と tagitinin C がそれぞれ IC50 25.6 μM 、14.7 μM の Notch シグナル（多細胞生物に広く保存された細胞間情報伝達経路）阻害作用を示し、構造活性相関の考察から、分子中のエノン構造が Notch 阻害作用と関連している可能性が示唆された。

1 β , 2 α -epoxytagitininC は、Notch の亢進した白血病細胞株 HPB-ALL に IC50 1.7 μM の顕著な毒性を示した。そしてメカニズム解析の結果、Notch 1 mRNA を発現抑制することで Notch シグナル阻害作用を示している可能性が示唆された。さらにエノン構造に注目した酸化ストレス関与の検討から、酸化ストレスの惹起により Notch シグナル阻害作用とがん細胞毒性を発現することが明らかとなった。

【オリザビンの抗動脈硬化機能】



オリザビンはヒト単球系細胞株のヒト臍帯静脈内皮細胞への接着を著しく阻害し、ヒト臍帯静脈内皮細胞内の接着分子の mRNA 発現を抑制した。さらに、オリザビンは、マクロファージ

及び AKT リン酸化における酸化低密度リポタンパク質の取り込みを抑制した。それどころか、がん抑制遺伝子 mRNA 及びタンパク質発現がオリザビンによって有意に促進されたことが明らかになった。研究の結果、ニト

ベギク由来のオリザビンのがん抑制遺伝子発現促進による Akt リン酸化の抑制を介した**抗動脈硬化機能**を有する可能性が見出された。

★Akt は細胞シグナル伝達における中心的役割を果たし、これらのシグナル伝達の異常はがん及び糖尿病から神経変性に至る広範囲の疾患に影響を及ぼす。

・オリザビンのヒト単球系細胞株とヒト臍帯静脈内皮細胞における**細胞接着と泡沫化の抑制作用**が確認された。

・西洋食負荷低密度リポ蛋白質受容体ノックアウトマウスにおけるオリザビンの粥状動脈硬化症と炎症の予防効果が確認された。

★泡沫細胞：血液中のマクロファージが、大量の悪玉コレステロールや脂肪性物質を取り込み、泡状になった細胞。活性酸素を産生するのに加え、アテローム（粥腫）と呼ばれるドロドロした状態のかたまりの元となり、血管の壁に沈着することで、動脈硬化を悪化させる。

【糖尿病治療薬- JPAH08127538A】

ニトベギク又はメキシコヒマワリを主体とする煎汁・エキスを糖尿病治療薬として2か月間服用した後、キダチキンバイ又はチョウジタデを主体とする煎汁・エキスを糖尿病治療薬として1か月間服用すると、糖尿病の諸症状が軽減・消失し、その後尿糖及び血糖値が自然に正常値まで降下して完治する。

なお、この**糖尿病治療薬は、糖尿病の症状を軽減・消失させることにより、血糖値が自然に降下する**ものであって、従来のように血糖値を強制的に降下させるものでなく、低血糖を起こすことがなく安全であり、その後長期間にわたって血糖値の再上昇を防止することができる。

その作用機序は明確ではないが、肝臓や脂肪細胞など末梢組織細胞に直接、インスリン様作用を起こすと考えられる。その後継続して服用の必要がないことは、糖代謝を抑制する物質に働きかけその作用を抑える抗体が抗原抗体反応により体内に形成されるからであろう。

薬効メカニズムとして生薬成分が糖尿病患者の血中インスリンの吸収力を低下させる物質に対して作用しているものと思われ、さらに生薬成分中にある種の多糖類を含んでいて、これがインスリンに結合し易く、細胞膜を通して細胞内に入り、糖代謝異常を軽減し、治療に導いているものと思われる。

参考：メディカルハーブ事典、山科植物資料館

花木図鑑、JPAH08127538A、井出将博医学博士論文、東京薬科大学、日本農芸化学会大会講演要旨集(Web) Bibgraph、公益社団法人東京生薬協会会報、元北里大学生命化学研究所 布目慎勇、東京大学大学院農学生命科学研究科 佐藤隆一郎、井上順准



囲碁とAI



株式会社 琉葉
竹内 聡

この度、リレー随筆のバトンを受け取りました、琉葉の竹内です。

私の趣味の話をしてしたいと思います。

みなさんは「定石」という言葉をご存じでしょうか。ある事例に対する最善、もしくは決まったやり方を表す際に使う言葉です。例えば、野球だとこの場面ではバントするのが定石だよね、などと使うと思います。この「定石」は囲碁が語源の言葉です、他にも「一目置く」や「駄目（ダメ）」など囲碁が語源の言葉は多くあります。ことわざにも多く使用されるように囲碁は昔から私たちの生活に根付いています。

そんな囲碁が私の趣味です。ざっくりいうと、囲碁は陣取りゲームです。黒と白の石を交互に打ち合っ、陣地をより多く獲得した方が勝ちです。様々な細かいルールがあり、複雑に見え、馴染みのない方にはとっつきにくく思われがちですが、子供からお年寄りまで楽しめます。考えに考え、相手の先の手まで読み切った時に楽しさが広がるゲームです。

私は、祖父が高段者だった影響もあって小学3年生から囲碁を始め、周りのみんなが外で鬼ごっこやサッカーをする中、囲碁の参考書を読みふけるほどのめりこみ、その後3年で段位も取得しました。その頃には相手は大人の高段者になり、たばこの煙が充満している碁会所で囲碁を打っていました。その後、少しずつ実際に人と対戦する機会は減りましたが、日曜日のお昼はNHKの囲碁番組を見る（実際は、テレビの棋士が次にどこに打つか一緒に考えるも思考が限界に達し、気が付くと寝てしまっている、、、）のは今でも日課になっています。

そんな囲碁ですが、数年前からAIによる影響が大きくなっています。囲碁と同じく、日本で親しみのある将棋では、2015年にAI

が人間のトップに勝利するようになりました。将棋は盤面が9×9で駒の動きが決まっているので、10の220乗通りの展開があります。囲碁は19×19の盤面で、展開が10の360乗通りと将棋より複雑であることから、2015年時点の専門家の予想では囲碁AIが人間に勝つのはあと10年先と言われていましたが、2015年の予想の1年後にはAIは人間のトップに勝利しました。このことから予想よりもAIの進化が目覚ましいことがわかります。

囲碁界にAIがもたらした変化が「定石」です。囲碁での定石は決まった手順での打ち方で、お互いに損がない展開で進む手のことをいいます。定石は昔から研究が重ねられ、何百年とかけて少しずつ改良されてきたものなのですが、AIにより今まででは考えられなかった定石が生まれ、数年で急激な変化をしています。もはや、今まで当たり前だったことが当たり前ではなくなっている印象を持ちました。今後は、「AIが師匠です！」なんてプロ囲碁棋士の登場もありえるかもしれません。

最後に、AIは医療の分野にも進出してきています。蓄積した咽喉頭画像データからインフルエンザの診断を行うことができるAIを搭載した医療機器が登場し、保険適応も可能になっています。今後はこういった機器を取り入れる医療機関も増えていくのかもしれないですね。

後半は詳しいわけではないAIがメインの文章になってしまいましたが、ご容赦ください。



次号には、がねこ薬局の池田 武俊 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！

薬連だより

沖縄県薬剤師連盟臨時評議員会

日時：令和6年3月17日（日）13:00～13:20

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<式次第>

会長あいさつ

議題

- 議案 第1号 令和6年度事業計画書の件
第2号 令和6年度収支予算書の件

司会 組織強化担当 知名博樹
会 長 前濱朋子

幹事長 石川恵市
会計責任者 川満直紀

「参議院議員 本田あきこの国会活動」PPT 放映
「新年度に向けてのご挨拶」メッセージ動画放映

副幹事長 新垣紀子
参議院議員 本田あきこ

沖縄県薬剤師会第89回臨時総会に先立ち、
沖縄県薬剤師連盟臨時評議員会が開催された。

司会進行は、知名博樹組織強化担当が務めた。

司会が、新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえた今回の臨時評議員会の開催の取り扱いについては、去る3月2日開催の沖縄県薬剤師連盟総務会において、発熱や風邪症状がある、体調に不安がある場合等は、参加の自粛を要請、また、欠席の場合は、予備評議員への出席の呼びかけ、もしくは沖縄県薬剤師会臨時総会に準ずる「議決権の代理行使」に係る委任状の提出により出席とすることが承認された後、関係書類と共に出席確認票を発送したとの説明をした。そして、配布資料の確認を行った。

会則第12条第3項に、「評議員会の議長は会長とする。ただし、会長は総務の中から議長を委任することができる。」とあることから、前濱会長が事前に、司会である知名博樹組織強化担当に議長を委任していることが告げられた。

議長より、会則第15条に、「評議員会は評議員の過半数の出席をもって成立し、承認および議決は出席者の過半数をもって決するものとする。」とあることから、47人の評議員

の内、会場出席24人、委任状提出による出席が14人、欠席9名で、38人が出席扱いとなり、開会を宣言した。

議長が、2つの提示議案について、その都度採決をとることを説明した。

前濱朋子会長があいさつの冒頭で、今年1月1日に発生した能登半島地震、翌2日に羽田空港で起きた海上保安庁航空機と日本航空旅客機の衝突事故で亡くなった方々へのお悔やみ、被災された全ての方々とその関係者へお見舞いを述べた。能登半島地震・津波被害への支援においては、本会会員が沖縄県医師会のJMATの一員としていち早く現地に赴き支援活動を開始し、その後も日本薬剤師会や九州ブロックの薬剤師会の支援チームとして支援活動に参加した。前線で活動された会員へ敬意を表した。続けて、「コロナ禍前の生活に戻りつつある中、季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症が流行し、セルフメディケーションや環境衛生に関する知識の提供など、地域においては薬局・薬剤師、学校においては学校薬剤師への期待は益々高まってきている。また、今年4月からスタートする県の第8次沖縄県医療計画においては、5疾病及び新たに加わった新興感染症を含む6



知名 博樹 組織強化担当



前濱 朋子 会長



石川 恵市 幹事長



川満 直紀 会計責任者

事業、並びに在宅医療の全てに薬剤師・薬局の役割が明記されたほか、災害薬事コーディネーターの配置の明記など、地域への医薬品の安定供給を担う薬剤師への期待が現れたものとなっている。薬剤師への期待がかかる一方で、規制改革推進会議では、薬剤師の対人業務強化の名の下に、調剤業務の外部委託が進められようとしている。更に、引き続き懸念されている医薬品の供給不足への対応や地域包括ケアシステムの構築への対応も令和6年度直面する課題となっている。このような課題等に対し、日本薬剤師連盟を通して国政に働きかけを行っているが、やはり、我々薬剤師職能からの国会議員の政策関与が欠かせない。会員には、御理解と御協力をお願いする。本日は、2議案の審議をよろしくお願いする。」と述べた。

議案第1号 令和6年度事業計画書の件

石川恵市幹事長が、事業計画5案を説明した。

1. 本連盟および支部の組織の強化
2. 日本薬剤師連盟の次期参議院議員選挙組織内統一候補に対する支援活動を積極的に行う。
3. 地区薬剤師会と連携強化の会議や、若手・女性薬剤師の集いを開催し、薬剤師職能と政治の関わりについて、その重要性の啓発を行い、政治連盟への積極的な参画と活動等の連携を強化する。
4. 薬剤師問題を理解し支援活動をしてくれる議員および候補者への支援活動を行う。
5. その他の必要な事項

議長が、議案第1号「令和6年度活動計画の件」について、会場参加の代議員へ賛成方への挙手を求め、会場出席24人中全員が挙手、委任状提出の評議員数も合わせて、会則第15条により、賛成が過半数の賛成多数で、議案第1号が承認され、可決したことを告げた。

議案第2号 令和6年度収支予算書の件

川満直紀会計責任者が、以下の通り説明した。

収入の部については、令和5年度決算見込額を基に令和6年度を予測し、各勘定科目金額を計上した。

通常会費については、同等の会員数が見込まれるため、令和5年度決算見込額並みとした。また寄付金収入については、今年度は若手薬剤師フォーラムの助成金のみであったが、令和6年度は、「参議院議員通常選挙活動助成金」が日本薬剤師連盟より交付されることを確認しているため、前回、令和3年度と同等の金額を寄付金収入へ計上した。

支出の部については、令和5年度決算見込額を基に令和6年度を予測し、各勘定科目金額を計上した。

令和6年度は、収入の部でも説明した「参議院議員通常選挙活動助成金」が日本薬剤師連盟より交付されることもあり、渉外費や旅費交通費などの選挙活動に関連する事業費を増加させた。また、日本薬剤師連盟責任負担金、自民党党費、薬剤師議員支援金を今年度同様、令和6年度の支出予算として計上した。

次頁へ続く⇒

議長が、議案第2号「令和6年度収支予算書の件」について、会場参加の代議員へ賛成方への挙手を求め、会場出席24人中全員が挙手、委任状提出の評議員数も合わせて、会則第15条により、賛成が過半数の賛成多数で、議案第2号が承認され、可決したことを告げた。

議長が、全ての議案が無事に承認され、可決したことを改めて告げた。

最後に、本田あきこ中央後援会制作の「参議院議員 本田あきこの活動」をパワーポイントにて放映、ナレーターには新垣紀子副幹事長が務めた。内容は、国会議員になってからの活動をコンパクトに紹介したものとなっている。「国会議員になって約3年が経過した一昨年の8月に厚生労働大臣政務官に任命された。着任当時は、新型コロナ対策の議論がたけなわな時期で、『今後の感染症危機に備えるための政策』に深く関わり、昨年10月に400日間の任期を終えた。厚生労働大臣政務官を終えたのも束の間、昨年10月からは文部科学省の大臣政務官として公務と政務ともにがんばっておられる。文部科学省の来年度予算案の編成や国会への法案提出に関わるとともに、イノベーションの創出について各研究機関の研究者との協議などを重ね、引き続き多忙な日々を送られている。また、この時期には、薬剤師をはじめ医療や介護などの関係者にとって最大の関心事であるトリプル改定の検討も始まっていた。大臣政務官という政



新垣 紀子 副幹事長

府側の立場では、党内の部会などで、直接、財務省や厚生労働省に“もの申す”ことができない分、神谷まさゆき議員と共に、薬剤師ではない議員の理解を得るために党の内外を動きまわってくださった。昨年11月末に開催した薬剤師問題議員懇談会総会では、出席した100名を超える自民党議員に対して日本薬剤師会の意見・要望への理解を深める良い機会となり、その結果、今回の改定は、診療報酬本体の引上げを勝ち取ることができ、薬価を含め、一定程度、賃上げ対策や安定供給対策につながる内容となった。」

続けて、本田あきこ参議院議員から届いたメッセージ動画では、前記の活動報告に加えて、「これからも一歩ずつ止まることなく政策実現を目指して歩いていく。薬剤師から政策提言！ 国民の皆様の命と暮らしを守る！」と力強いメッセージであった。



本田あきこ参議院議員「新年度に向けてのご挨拶」

滞りなく進行した司会（議長）の知名博樹組織強化担当が、次期参議院議員選挙組織内統一候補に対する支援活動について評議員の強力な支援を呼びかけ、沖縄県薬剤師連盟臨時評議員会を閉会した。（文：事務局 大城 喜仁）

薬連だより

オレンジ日記

災害支援と防災技術～文部科学省の関わり～

参議院議員・薬剤師

本田 顕子



元日の能登半島地震に際し、お悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、水道、電気、通信、道路等の復旧、避難されている皆様と全国の薬剤師の先生方をはじめ支援にご尽力いただいているすべての皆様の健康と安全を願っております。

1月26日に第213回通常国会が開会しました。

同30日の参議院での施政方針演説では、被災地・被災者への切れ目ない息の長い支援について言及がありました。

政府全体で取り組んでいます「被災者の生活と生業支援のためのパッケージ」の一環として、文部科学省では、高校・大学などの入試への特例的・弾力的対応のほか、被災した児童生徒等への学習支援や心のケア等に必要な教職員等の配置、新学期の開始に係る柔軟な取扱いなどの対応をとっているところです。

また、文部科学大臣政務官としての担務の範疇では、国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC：<https://www.jamstec.go.jp/j/>）の研究船「白鳳丸」による海底地震計等の設置と海底地形調査、国宝・重要文化財41件を含む約370件（1月29日現在）に及ぶ文化財・文化施設の復旧支援などを行っています。

JAMSTECと同様、旧科学技術庁の流れを汲む国立研究開発法人防災科学技術研究所では、これまでの研究成果から築き上げた「基盤的防災情報流通ネットワーク」によって共有される災害関連情報を集約して発信するWebサイト「防災クロスビュー」(*)に、能登半島地震発生当日、専用サイトが開設されました。

車両通行可能な道路、自衛隊による給水・入浴支援が行われている箇所、通話可能なエリアなどをマップ上で知ることができ、断水状況や住家被害状況などの確認もできますので、避難生活や支援活動の一助になればと思います。

(*) <https://xview.bosai.go.jp/view/index.html?appid=41a77b3dcf3846029206b86107877780>

通常国会で審議予定の令和6年度予算案では、海底地震・津波観測網の構築・運用や火山・気象災害を念頭に置いた調査研究などを推進するための事業費・研究費を計上しています。

震災大国と言われるわが国は科学技術立国でもあります。自然災害に対する強靱な社会づくりのため、防災科学技術関連予算の早期成立に向けて頑張っています。



令和5年11月17日

国立科学博物館にて「震災からのあゆみ」を視察

医薬品の供給安定化に向けて

春めいた暖かい日々の訪れはまだ少し先になりますが、全国各地で卒業式が行われる季節を迎えました。3月は年度を締め括る時期ですが、それとともに新年度に向けた備えの時期でもあります。

3月2日土曜日、衆議院本会議で令和6年度予算案が可決されました。

令和6年度予算案はいわゆる「3報酬改定」の財源を含め、賃上げ対応や少子化対策などの先送りできない課題対策に加え、能登半島地震の復旧・復興等対応のために予備費を今年に入ってから組替えていますので、4日から始まりました参議院での審議でも円滑な議会運営により速やかな可決・成立につなげたいと思います。

来年度予算案には、依然としてご負担とご心配をおかけしています医薬品の供給回復に向けた取組も含まれています。供給不足が令和3年に顕在化してからは、ジェネリック医薬品関連の予算はそれまでの「使用促進」から「供給・品質」に重点が置かれ、令和4年度以降、補正予算を含め、品質確保の徹底や増産体制の整備等に関する予算事業に取り組んでいます。

また、現下の供給不足は世界的な物価高騰や度重なる薬価改定による採算性の悪化もその主たる要因の一つですので、今回の薬価改定では、①基礎的医薬品の薬価下支え制度の対象範囲の拡充、②平均乖離率7.0%を超えない範囲の品目を対象にした特例的な不採算再算定を行うことになりました。

これらの取組とともに新年度には、厚生労働省ホームページで随時、供給停止や出荷制限に関する情報が公表され、かつ調剤時の供給事情に伴う説明ややむを得ない製剤実施時の報酬上の評価がなされることで、現場の皆様のご負担が少しでも軽減されることを願います。生産から流通に至る複合的な課題を抱える供給問題に対して、私も少量多品目生産など産業構造上の対応策を含め、引き続き医薬品の供給安定化に向けて頑張ってまいります。

オーバードーズ（OD）への対応

春めいた陽気の中を舞う桜花の彩りが新たなスタートをお祝いしているように映る季節を迎えました。

私が平日の大半を過ごす議員会館や国会議事堂周辺を入社・入職、人事異動などに伴う挨拶をされる方々が行き来する姿や、3月28日に可決成立しました令和6年度予算の関連資料が各府省から届くことを通じて、新年度の始まりを感じることができます。

新年度は新たな目標や計画に取り組むモチベーションを高め易いと言われますが、その反面、生活環境や職場環境の変化が心身に影響を与えることがありますので、各自一人ひとりの注意と周囲への配慮が必要な時期でもあります。

日常の苦労・苦痛、対人関係のトラブル、孤独などの個人を取り巻く困難や不安が薬物乱用の要因の一つと言われている中、救急搬送事例や中毒情報センターへの相談事例の調査から、若年層によるOTC医薬品の過剰摂取（オーバードーズ;OD）への対応が急務であることが分かります。

麻薬・覚醒剤などと比べて、若年世代にとって手が届きやすいOTC医薬品のOD対策のため、厚生労働省では薬機法改正を念頭にOTC医薬品の適正な販売方法の検討を進めています。

他方、ODを根本的に防ぐには、ODの危険性と適正使用の重要性の理解を広く促すことが大切であり、厚生労働省と文部科学省とが連携して啓発・教育を推し進める役割を担うべきと考えています。

そのような観点において、厚生労働省が令和5年補正予算として、学校薬剤師等の協力を得て啓発・相談対応を充実させるために1,600万円を計上したことの意義は大きく、文部科学省の小中高生向けの健康教育関連予算との連携可能性について確認作業を続けます。

薬の正しい使い方や薬に関する相談先があること等を未来ある青少年に伝えるため、両省を知り合う立場としてOD防止の橋渡し役を務めてまいります。

薬連だより

政幸だより 通常国会が始まりました



参議院議員・薬剤師
神谷 政幸

令和6年1月26日、私にとって2度目の通常国会が開会しました。今回は通常国会についてご紹介したいと思います。

国会は国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関です。国会の常会（通常国会）は、毎年1回召集することが日本国憲法に定められており、国会法第2条で常会は1月中に召集することされています。開会式は参議院本会議場において天皇陛下の御臨席のもと、衆議院・参議院の議員が出席して行われ、衆・参を代表して衆議院議長が式辞を述べます。

開会式後、内閣総理大臣から「施政方針演説」、財務大臣から「財務演説」、外務大臣から「外交演説」、内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）から「経済演説」の、いわゆる政府四演説が行われ、その後、各会派からの質疑（代表質問）が行われます。常会では、まず翌年度の予算案が審議されます。予算審議は衆議院で先に審議が行われ、衆議院で議決されると次に参議院で審議されます。万一、来年度予算について参議院が否決した場合は両院協議会を開催し、そこで成案が得られない場合、又は衆議院議決案の受領後30日以内に参議院が議決しない場合は、衆議院の議決が国会の議決となり予算は成立します。

3月に入り予算の審議が終わると、法律案・条約等の審議が本格的に始まります。今回、私が所属する委員会等は昨年と同様、厚生労働委員会、消費者問題に関する特別委員会、資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会です。所属する委員会等に法案が提出されていますので、法律に関する情報収集や勉強等を行い、法案審議に備えています。国会審議は過去の内容も含めて、参議院インターネット審議中継<<https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php>>で、ご視聴いただくことが可能です。国会では皆様のくらしに関係する法律案が審議されています。キーワード検索も可能ですので、ご興味のある内容をご視聴いただければ幸いです。

資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会で質問に立ちました

令和6年2月14日の参議院資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会で質問に立ちました。薬学部では放射化学や放射性医薬品学を学びます。病院では放射性医薬品を扱っており、一部の病院ではPET検査で用いられる薬剤の調製等を薬剤師が行っています。日本核医学会は核医学認定薬剤師制度を設置しています。放射性医薬品には直接人体に投与し、体外から放射性同位元素が放出する微量の放射線を測定する体内診断用放射性医薬品と、直接人体には投与せず、血液及び尿中に含まれる微量の物質を体外で測定する体外診断用放射性医薬品がありますが、今回の調査会では、がん治療で治療と診断を一体化した新しい医療技術である「セラノスティクス」について、量子科学技術の未来への可能性も含めて質問しました。

病巣の内部から α 線を照射し、がん細胞を死滅させることが期待されているアクチニウム225は、骨転移が全身に広がった転移性前立腺がん治療に対する効果が世界中で注目を集めています。これを生成するために加速器、若しくは原子炉を用います。質問では、現在運転を停止している高速実験炉「常陽」において、アクチニウム225の製造能力の実証に活用する目的で原子炉設置変更許可申請が行われたことと、国際社会における我が国の優位性について質問しました。「常陽」が運転を再開した場合、OECD諸国で運転を行う唯一の高速炉となることから、アクチニウム225を大量に製造できる利点を持つ高速炉を活用した製造手法の研究開発を世界に先駆けて行うことができる旨の回答を得ました。今後更なる発展が期待されるラジオセラノスティクスの分野で我が国がしっかり存在感を示し、一日も早く新しい治療法が提供されるよう要望しました。

能登半島地震の被災地を視察しました

令和6年能登半島地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、ご家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

令和6年3月11日、能登半島地震による被災状況と薬剤師の活動を視察するため石川県を訪れました。視察には石川県薬剤師会副会長の橋本昌子先生と日本薬剤師会災害対策委員会委員長の越智哲夫先生に同行していただきました。

主な内容は以下の通りです。金沢で石川県病院薬剤師会の森戸敏志会長と面会后、穴水町の薬局を訪問し原将充能登北部支部長と石川県薬剤師会の竹端裕常務理事に面会。その後、公立穴水総合病院、珠洲健康増進センター、珠洲市総合病院を訪問し発災からの活動を伺い、いしかわ総合スポーツセンター（1.5次避難所）を訪問しました。

特に印象に残ったのは、穴水町で伺ったお二人の先生のお話でした。薬剤師は持参薬を見れば瞬時に現在の手持ち薬から代替薬が提案できる。厳冬期の避難所は締め切った環境になるため、CO2 モニターを利用した換気指導や感染対策が重要。地域の薬局や薬剤師は減少しており、自ら被災しながらも、災害活動は様々な役割を少ない人数で対応してきたとのお話を伺いました。

元々、医療従事者が少なかった上に、地震の影響で道路が寸断された半島の地理的条件もあり、勤務する施設にたどり着けなかった職員も多かったと聞きました。その中で、被災しながらも懸命に活動された石川県薬剤師会の先生方、また応援に駆け付けた日本薬剤師会、日本病院薬剤師会の先生方、医薬品供給にご尽力いただきました卸の皆様改めて敬意と感謝を申し上げます。今回の視察で得た知見をもとに政策や国会等での発言を通じ、一日も早い復興を後押しすると共に、国土強靱化に取り組んで参ります。結びに、今回の視察にご尽力いただきました関係者の皆様に御礼を申し上げます。

予算委員会で質問に立ちました

令和6年3月28日の参議院予算委員会で質問に立ちました。武見厚生労働大臣に対し、能登半島地震における薬剤師の支援活動と医薬品卸に対する評価について質したところ、被災地では発災直後から自ら被災しながらも活動を行った薬剤師や、モバイルフーマシーを含め全国から支援に駆け付けた日本薬剤師会、日本病院薬剤師会の会員に対し感謝の言葉がありました。医薬品卸においても倉庫や営業所における荷崩れの被害が生じ、発災直後より道路の状況や悪天候などがあったものの、基本的には翌日に現地に届ける体制が整備されたことなどに対して感謝の言葉がありました。

また岸田総理に対し、薬価基準の頻回な改定が製薬業界の利益を圧迫し、医薬品供給問題にも影響を与えている現状や、薬価改定の資産減の影響を吸収しきれず経営が苦しい薬局の現状を訴え、令和7年度中間年改定は中止にするか、本来の主旨である乖離幅が大きい品目の範囲で行うべきと主張し総理の考えを質しました。総理からは「薬価の毎年改定は、市場実勢価格を適時に反映し、国民の負担を抑制する観点から実施しているものであるが、これまでの薬価改定においては、不採算医薬品の薬価を引き上げるなど、医薬品の安定供給問題にも適切に対応してきた。診療報酬改定のない令和7年度の中間年改定の在り方については、昨年末、厚生労働省の中医協で了承された令和6年度薬価制度改革の骨子において、引き続き検討するとされており、令和6年度速やかに議論を開始し検討を進めていく」との回答がありました。総理の答弁に対し、平均乖離率は令和5年度調査で6%と過去30年で最も小さくなっており、次の中間年改定をこれまでのように0.625倍の範囲で行うことは現実的ではない。賃上げを実施しつつ、医薬品流通体制と地域の医薬品提供体制を守るために、是非前向きな検討が行われるよう要望しました。

薬連だより

沖縄県薬剤師連盟の SNS アカウントを開設いたしましたので、当連盟の活動をご覧のうえ、ぜひ、いいね、シェアをお願いします。たくさんのフォローお待ちしております。

【SNS アカウント情報】

- Instagram: <https://www.instagram.com/okinawa.renmei/>
- Facebook: <https://www.facebook.com/okinawayakuren>



Instagram



Facebook



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawayakuren/>

令和6年2月

- 1木○沖縄県薬務生活衛生課来訪（災害薬事コーディネーターについて） 県薬会議室 中村薬務生活衛生課薬務専門監、阿部専務理事
- 1木○令和5年度「がん教育シンポジウム」 文部科学省 前濱会長、上原卓朗学校薬剤師部会副部会長
- 1木○令和5年度那覇市保健医療審議会 那覇市保健所 阿部専務理事
- 1木○**令和5年度会営薬局うえはらの無菌調剤室を共同利用するための研修会** 会営薬局うえはら 講師（地域医療提供体制対策委員会）：西川 裕委員、喜友名常務理事
- 2金○令和5年度第2回沖縄県がん対策推進協議会 沖縄県教職員共済会館八汐荘 喜友名常務理事
- 2金○九州山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関評議員会 福岡県薬剤師会・Web 前濱会長（Web）
- 2金○第3回九州山口各県薬代表者会議 福岡県薬剤師会・Web 前濱会長（Web）
- 2金○九州ブロック日薬代議員予備会議 福岡県薬剤師会・Web 前濱会長（Web）
- 2金○令和5年度第4回沖縄県がん診療連携協議会 琉球大学 阿部専務理事
- 2金○令和5年度那覇市学校保健事務連絡会 那覇市役所 吉田将司学校薬剤師部会那覇支部長、新垣紀子学校薬剤師部会長
- 2金○令和5年度第5回広報委員会 県薬会議室
- 4日○**認定実務実習指導薬剤師養成・更新講習会** 県薬会議室
- 4日○**令和5年度災害薬事コーディネーター養成研修会** 県薬ホール
- 4日○令和5年度厚生労働省委託事業「在宅医療関連講師人材養成事業」全国担当者会議 Web 盛本直也地域医療提供体制対策委員会委員長
- 5月○令和5年度第11回業務執行理事会 県薬会議室
- 5月○琉球大学病院移転後を見据えた会営薬局の運営に関する意見交換会 県薬会議室
- 6火○令和5年度第4回医療保険委員会 県薬研修室・Web
- 7水○令和5年度第4回沖縄県高齢者福祉対策推進協議会 沖縄県市町村自治会館 佐藤常務理事
- 9金○特定共同指導 沖縄県総合福祉センター
- 10土○令和5年度第12回理事会 県薬研修室
- 11日○**訪問薬剤管理指導推進事業研修会～在宅訪問の現場で活かせるバイタルサインの臨床推論～** 大浜第一病院 講師：入江 聡五郎（社会医療法人 松藤会 入江病院 院長）
- 11日○**第191回健康とおくすり相談会** 県医師会館 担当：保健福祉委員会
- 12月○**令和5年度医療安全講習会** 県薬ホール 講師：安田 幸一（株式会社 iMus 代表取締役）
- 13火○令和5年度第5回沖縄県医療費適正化計画検討委員会 沖縄タイムス社 喜友名常務理事
- 14水○**沖縄県Uターンガイダンス（昭和薬科大学）** 県薬研修室・Web 沖縄県保健医療部衛生薬務課：米村わかな、事務局：大城事務局長・平安山
- 14水○協会けんぽ沖縄支部、沖縄県保健医療福祉事業団来訪 県薬研修室 阿部専務理事、保健福祉委員会：盛本直也、事務局：大城事務局長・長嶺主任
- 14水○令和5年度沖縄県献血推進協議会 Web 知名常務理事

- 14水○社会保険診療報酬支払基金令和6年2月審査運営協議会沖縄審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 宮城常務理事
- 14水○令和6年度第3回災害対策委員会 県薬研修室・Web
- 14水○令和6年度第I期実務実習受入薬局指導薬剤師事前説明会 県薬ホール・Web 薬学生実務実習受入委員会：佐藤雅美常務理事、宮城幸枝理事、兼城崇委員、事務局：金城
- 15木○沖縄県国民健康保険課来訪 県薬会議室 阿部専務理事、喜友名常務理事、吉田理事、事務局：大城事務局長・長嶺
- 16金○訪問薬剤管理指導推進事業研修会～褥瘡の基本と使用薬剤について～ 県薬研修室 講師：久場良悟（ろかい在宅クリニック 院長）
- 18日○女性薬剤師部会主催：令和5年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング 県薬ホール
- 19月○令和5年度薬局実務実習受入に関するブロック会議 福岡県薬剤師会館 前濱会長、佐藤常務理事
- 19月○令和6年能登半島地震災害支援薬剤師からの報告会 県薬ホール・Web
- 21水○令和6年度第I期薬学生実務実習オリエンテーション 県薬ホール
- 22木○沖縄県Uターンガイダンス（徳島文理大学） 県薬研修室 沖縄県保健医療部衛生薬務課：宮城隼人主任、事務局：大城事務局長・平安山
- 22木○沖縄県衛生薬務課来訪 県薬会議室 阿部専務理事、中村薬務専門監、米村わかな、事務局：長嶺主任
- 22木○令和5年度第1回財務委員会 県薬研修室
- 23金○令和5年度第11回学校薬剤師部会役員会及び支部長会 県薬研修室
- 23金○令和5年度第2回学校薬剤師部会研修会 県薬研修室
- 25日○令和5年度薬薬連携会議「疑義照会簡素化プロトコルについて」 県薬ホール
- 26月○小林信之長崎大学薬学部教授来訪 県薬会長室 前濱会長、阿部専務理事、大城事務局長
- 26月○薬学部設置シンポジウム打ち合わせ 県薬会議室 中村章弘薬務衛生課薬務専門監、前濱会長、阿部専務理事、大城事務局長
- 26月○令和6年度能登半島地震沖縄県医師会医療救護班（J-MAT沖縄）活動報告会 沖縄県医師会館 災害対策委員会：知念理事、鈴鹿玲子委員、事務局：長嶺主任
- 26月○令和5年度第12回業務執行理事会 県薬会議室
- 27火○令和5年度スポーツ医・科学サポートプログラム調整会議 WEB 吉田理事、笠原大吾
- 28水○株式会社ファルモとおきなわ電子おくすり手帳に係る打ち合わせ Web 医療保険員会：川満副会長、宮城常務理事、西川裕委員
- 28水○薬学部設置シンポジウムの打ち合わせ 県薬 阿部専務理事、沖縄県衛生薬務課：中村薬務専門監、川崎主幹
- 28水○令和5年度日本薬剤師会研究推進に関する全国会議 WEB 中尾滋久学術研修委員会副委員長、事務局：徳元

令和6年3月

- 2土○令和5年度第12回理事会 県薬研修室
- 3日○令和5年度第2回地区薬剤師会会長会議 県薬研修室
- 4月○在宅訪問薬剤師研修会「ケアマネージャーが在宅医療において薬剤師に求めること」事前打ち合わせ 県薬会議室

- 6水○女性薬剤師部会那覇市乳児検診打合せ 県薬会議室 女性薬剤師部会：草壁部会長、村田理事、事務局：平安山
- 6水○令和5年度第5回学術研修委員会 県薬研修室・Web
- 7木○令和6年度調剤報酬改定等説明会 TKPガーデンシティPREMIUM東京駅 医療保険委員会：宮城常務理事、照屋林一郎委員
- 7木○武藤泰浩スズケン沖縄薬品社長来訪 県薬 前濱会長、阿部専務理事、玉寄課長
- 7木○友愛医療センター地域医療支援病院運営委員会 友愛医療センター 前濱会長
- 7木○在宅訪問薬剤師研修会～ケアマネージャーが在宅医療において薬剤師に求めること～
県薬研修室 講師：ケアマネージャー4氏
- 9土○日本薬剤師会令和5年度第103回臨時総会（10日まで） ホテルイースト21東京 前濱会長、川満副会長
- 10日○令和5年度ゲートキーパー（薬剤師）スキルアップ研修会 県薬研修室・Web 講師：道下 聡（ぎのわんメンタルクリニック院長）、酒向摩貴子（沖縄県地域保健課精神保健班主任技師）
- 11月○沖縄県Uターンガイダンス（九州保健福祉大学） 県薬研修室・Web 沖縄県保健医療部衛生薬務課：宮城隼人主任、事務局：大城事務局長・平安山
- 12火○令和5年度第8回地域医療提供体制対策委員会 県薬会議室
- 13水○社会保険診療報酬支払基金令和6年3月審査運営協議会沖縄審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 宮城常務理事
- 13水○うりずんフェスタ振り返り会議 沖縄県医師会館 又吉理事、事務局：長嶺主任
- 14木○おきなわ電子おくすり手帳に係る打ち合わせ 県薬会議室・Web 川満副会長、宮城常務理事、西川裕委員、事務局：長嶺主任
- 14木○沖縄県老人クラブ連合会：令和5年度「健康づくり支援事業」第2回推進委員会 沖縄県総合福祉センター 村田理事
- 14木○沖縄県アレルギー疾患医療連絡協議会 県庁 吉田理事
- 14木○沖縄県理学療法士協会「令和5年度沖縄県受託事業」振り返り会議 沖縄産業支援センター 又吉理事
- 15金○日本スポーツ振興センター来訪 県薬会議室 事務局：大城事務局長・平安山
- 15金○令和5年度沖縄県自殺対策連絡協議会 Web 島袋理事
- 17日○沖縄県薬剤師会第89回臨時総会 県薬ホール
- 18月○令和5年度第2回沖縄県医療審議会（全体会議） 県庁 前濱会長
- 18月○令和6年度診療報酬改定に伴う都道府県薬剤師会に対応する事項に係る打ち合わせ 県薬会議室 宮城、喜友名両常務理事、医療保険委員会：照屋林一郎、事務局：長嶺・金城・比嘉
- 24日○健康サポートのための多職種連携研修会【A研修】 県薬ホール
- 24日○健康サポートのための薬剤師の対応研修会【B研修】 県薬ホール
- 24日○令和5年度第2回女性薬剤師部会漢方講座 県薬研修室 講師：高宮城直子（Naoko女性クリニック院長）
- 24日○令和5年度沖縄県薬学部設置シンポジウム 沖縄県市町村自治会館
- 25月○沖縄県交通遺児育成会募金贈呈式 沖縄テレビ放送株式会社 前濱会長、大城事務局長
- 25月○令和5年度第2回スポーツ医・科学委員会 沖縄県スポーツ協会 吉田理事、笠原大吾

- 26火○長崎国際大学へ薬剤師確保対策事業（UIターンガイダンス再開実施）の説明 長崎国際大学 沖縄県衛生薬務課：中村薬務専門監、宮城主任、事務局：大城事務局長・平安山
- 26火○令和5年度沖縄県薬物乱用防止協会第2回理事会総会 沖縄県自治研修所 前濱会長、阿部専務理事
- 27水○令和5年度第5回沖縄県保険者協議会 沖縄県教職員共済会館八汐荘 阿部専務理事
- 27水○令和5年度沖縄県子ども医療電話相談事業（＃8000）運営協議会 沖縄県医師会館 阿部専務理事
- 28木○令和6年九州厚生局沖縄事務所・沖縄県との連絡会議 県薬会議室 阿部専務理事、医療保険委員会：宮城常務理事、喜屋武芳美委員、照屋林一郎委員、事務局：長嶺主任

令和6年4月

- 1月○「沖縄県医師会報」前濱会長インタビュー 県薬会議室 沖縄県医師会：玉井修広報委員（インタビュー）、前濱会長、阿部専務理事、大城事務局長
- 1月○令和6年度第1回業務執行理事会 県薬会議室
- 5金○薬学生実務実習「先輩平井くん講義」Ⅰ期1回目 県薬研修室 講師：平井聖司（薬剤師・琉球大学医学部学生）
- 7日○令和6年度第1回オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会 県薬研修室・Web
- 10水○薬学生実務実習「学校薬剤師について」 研修室・Web 講師：知名常務理事
- 10水○令和6年度調剤報酬改定説明会に係る打ち合わせ 県薬会議室 医療保険委員会：宮城常務理事、照屋林一郎委員
- 13土○令和6年度第1回理事会 県薬研修室
- 15月○薬学生実務実習「夜間救急医療について」Ⅰ期1回目 会営薬局医療センター前 講師：阿部専務理事
- 17水○九州厚生局沖縄事務所来訪 県薬会議室 前濱会長、阿部専務理事
- 17水○社会保険診療報酬支払基金令和6年4月審査運営協議会沖縄審査委員会 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部 宮城常務理事
- 17水○沖縄県医療事故調査等支援団体連絡協議会・沖縄県医師会医療事故調査支援委員会合同会議 沖縄県医師会館 薬事情報委員会：吉田理事、中尾滋久委員長
- 18木○新沖縄県保健医療部統括監来訪 県薬会長室 前濱会長、阿部専務理事、大城事務局長
- 19金○2024年度第1回病院・薬局実務実習九州・山口地区調整機構総会 オリエンタルホテル福岡博多ステーション 佐藤常務理事
- 19金○薬学生実務実習「夜間救急医療について」Ⅰ期2回目 会営薬局医療センター前 講師：阿部専務理事
- 21日○令和6年度第1回学校薬剤師部会役員会 県薬研修室
- 21日○令和6年度学校薬剤師部会主催新人学校薬剤師研修会 県薬ホール
- 22月○令和6年能登半島地震義援金贈呈式 沖縄赤十字病院 前濱会長、阿部専務理事、知念理事、長嶺主任
- 22月○令和6年度保健体育課関係機関等懇親会 沖縄県青年会館 知名常務理事、新垣紀子学校薬剤師部会長

- 23火○**薬学生実務実習「先輩平井くん講義」1期2回目** 県薬研修室 講師:平井聖司(薬剤師・琉球大学医学部学生)
- 24水○協会けんぽ沖縄支部来訪 県薬研修室 長嶺主任
- 24水○福治嗣夫那覇商工会議所専務理事訪問 那覇商工会議所 沖縄県衛生薬務課:中村薬務専門監、泉水主幹、阿部専務理事、大城事務局長
- 24水○全国薬剤師研修協議会実務担当者会議 県薬会議室 事務局:大城事務局長・金城
- 25木○新規個別指導 那覇第一地方合同庁舎 医療保険委員会:照屋林一郎委員
- 25木○令和6年度第1回九州山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関運営委員会 Web 佐藤常務理事
- 25木○令和6年度調剤報酬改定説明会に係る動画撮影 県薬ホール 医療保険委員会:宮城常務理事、照屋林一郎委員、小泉試験検査センター長代理、長嶺主任
- 25木○令和6年度第1回スポーツファーマシスト連絡会議 県薬研修室
- 26金○令和6年度薬物乱用防止協会南部支部講習会 沖縄県南部保健所 講師:平良恭子(学校薬剤師部会)
- 30火○**薬学生実務実習「災害医療と薬剤師」** 県薬研修室・Web 講師:佐久川卓(那覇市立病院)

沖縄県薬剤師連盟

令和6年2月

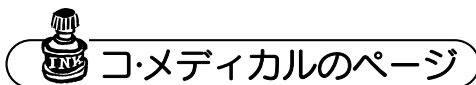
- 17土○衆議院議員コクバ幸之助令和6年新春の集い 沖縄県市町村自治会館 大城事務局長
- 18日○JPLフォーラム AP日本橋 与儀和子総務
- 19月○新垣よしとよ議会報告会 ホテルモーリアクラシック沖縄 川満副会長
- 20火○坂井浩二那覇市議会議員来訪 県薬会議室 前濱会長、古謝副会長、阿部専務理事、大城事務局長
- 26月○本田あきこ中央後援会全国支部訪問説明会 Web 石川幹事長、大城事務局長

令和6年3月

- 2土○自民党沖縄県支部連合会総務会 パシフィックホテル沖縄 前濱会長
- 2土○自民党沖縄県支部連合会陽春の集い パシフィックホテル沖縄 前濱会長、川満副会長、阿部専務理事
- 2土○自民党沖縄県支部連合会昼食懇談会 パシフィックホテル沖縄 前濱会長
- 3日○西銘恒三郎意見交換会 県薬会議室
- 16土○熊本県若手薬剤師フォーラム TKP熊本カンファレンスセンター 石井青年部会副部長
- 17日○**沖縄県薬剤師連盟臨時評議員会** 県薬ホール
- 23土○ニシメ啓史郎議会報告 沖縄県市町村自治会館 川満副会長、阿部専務理事
- 27水○令和5年度日本薬剤師連盟定時評議員会 AP日本橋 前濱会長

転載記事

那覇市医師会の会報誌より



那覇市医師会報 春季号(第52巻 第2号) 令和6年

訪問薬剤師について

沖縄県薬剤師会 常務理事／はれ薬局 喜友名 朝 史



これから迎える超高齢化社会において、私たち薬剤師の業務はさまざまな展望を見据えた働き方が求められています。

今年4月からスタートする第8次医療計画の中でも在宅医療の提供体制に求められる機能として、①退院支援、②日常の療養支援、③急変時の対応、④看取りがあり、それぞれの機能において薬剤師・薬局の関わりが想定されています。このことから薬局のあり方として、従来の薬局機能に在宅医療をプラスした形態を見据えて取り組む必要があります。

これまで地域密着型薬局としての位置付けに加えて、薬剤師が薬局から出て患者さん宅や入居施設に訪問することで、患者個々に合わせた服用方法や投薬による効果・副作用評価、残薬管理、相互作用等の薬学的管理のほかに、現在では医師への代替え薬の提案など、さまざまなメリットが生じます。一方、このことにより、在宅患者訪問薬剤管理指導や在宅・居宅療養管理指導の請求を行うことになり、患者の自己負担が増えることに対する不満や、慢性的な薬剤師不足を抱える薬局側の事情として、業務負担の増加により、薬局によっては十分な在宅への対応ができないなどの課題が考えられます。

在宅患者訪問薬剤管理指導等による患者負担の増に対しては、ケアマネージャー

や医師、訪問看護師をはじめとする患者に関わる全ての職種と連携をとり、患者にしっかりと説明を行い、患者・家族の同意を得て訪問薬剤管理指導等を行うようにしています。

薬局の薬剤師不足については、沖縄県・沖縄県薬剤師会が行う就職斡旋のUIターン事業や奨学金返済額を一部助成制度等により対応していますが十分ではありません。それでも各薬局は将来を見据え、在宅の需要に応えるよう努力をしています。

薬局が在宅医療に関わることについては、沖縄県薬剤師会のホームページに在宅支援を行っている薬局の検索サイトがあります。沖縄県の補助金を活用した事業として、これまで在宅訪問を行っていない薬局・薬剤師にこれから在宅訪問を行うための研修もあり、沖縄県内では推進していこうというトレンドになっています。

一方で、市町村の担当者の中には、残薬管理は訪問看護師が行うから薬剤師は必要ないとの意見があったりします。しかし、訪問看護は時間単位での業務のため、現場の看護師からは残薬管理を訪問時間内に行うことができないとのことで、しばしば薬局に残薬管理の依頼が入ります。在宅での服薬管理や残薬管理は、医療費削減や重複投与の防止につながるため、薬の専門家である薬剤師が行うべきと考えます。

私は、在宅訪問を行いたくて薬局を開

《コ・メディカルのページ》

局しましたが、現在来局される患者もいつかは在宅に移行するかもしれない、そのときは「今まで利用していた薬局がいい」と言われるような、信頼される薬剤師となれるように精進していきたいと考えています。

在宅業務を行うようになり、24時間対応、緊急の在宅訪問などもあり業務が多忙になりましたが、一人の患者に寄り添い、その患者の生活に溶け込み薬剤師として支援できていること、時に看取りに立ち会い、微力ながらも患者や家族のサポートができた実感したとき、薬剤師としてのやりがいを感じることが出来ます。また、在宅では全ての薬剤を処方できるわけではありません。希望する処方

に対応する薬剤の選択や提案等もっと薬剤師として力を発揮できる場面もありますので、医師の皆様にはさまざまなことで薬剤師に相談していただけたらと思います。

私たちの薬局は、どんな患者も断らないことを目指していますので、時には私たちの薬局へ遠方の患者から依頼がくることがあります。その際は、医療機関やケアマネージャーが薬局を探す手間を省けるよう、私たちの薬局から患者宅の近隣薬局へ対応できないか依頼を行っています。

私たち薬局が在宅医療に関わることで少しでも患者や他の職種の力になれるよう今後とも努めていきます。



訪問時の様子

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

本会と本会会員の取り組みが紹介されました

(2024年2月15日) 第1906号 ほ～むぶらざ (2)

パッチも活用を

Q1 意思が弱いからやめられない？

喫 煙の一番の害は、タバコの葉に含まれる成分であるニコチンの強い依存性。タバコを吸うと血中を通してニコチンがすぐに脳に達し、ドーパミンという物質が大量に放出されて強い快感が得られ、それを繰り返したいと思うようになります。ニコチン依存症の人にはタバコが吸えない状態が続いて血中のニコチン濃

度が一定以下になると、落ち着かない・イライラするなどの不快感(離脱症状)を覚えます。喫煙をすることで離脱症状はなくなるので、タバコがやめられなくなってしまうのです。健康に悪いと分かっているのに禁煙ができないのは、決して意思が弱いせいではなく、ニコチンの強い依存性によるものです。

A 強い依存性のため

タバコには強い依存性があり自分の意思だけで禁煙することは難しいので、禁煙外来の医師や薬局の薬剤師など専門家の力を借りましょう。必要によって離脱症状を和らげることで禁煙がしやすくなるニコチンパッチなどの禁煙補助薬を活用しましょう

ドクターから



沖縄大学学長
山代寛さん

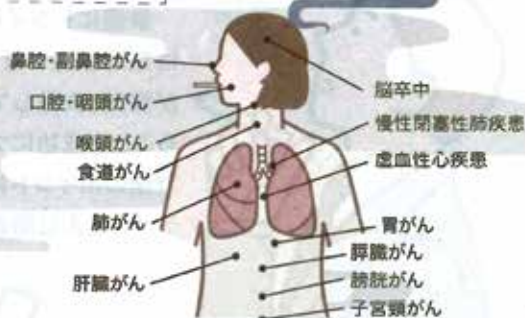
医師・医学博士。日本禁煙学会認定禁煙専門指導者。禁煙に関する講演会などで活動

県内の喫煙習慣がある人の割合



グラフは県内の中高齢で喫煙習慣がある人の割合を性別、年代別でまとめたもの。40代前後で男性の4割が喫煙習慣があることが分かる。女性は45歳～49歳が15.2%と最も高い。

喫煙者になりやすい病気



タバコの煙には200種類以上の有害物質や70種類以上の発がん物質が含まれ、体に悪影響を及ぼす。山代医師は「沖縄にも多い慢性閉塞性肺疾患(COPD)は、患者の9割以上が喫煙者といわれています。肺や気管支に炎症が起こって息が吐きにくくなる病気で、呼吸がしづらくなって動くのもきつくなり寝たきりの要因になります」と説明する。

妊婦が喫煙したり受動喫煙にさらされたりすると、おなかの子どもが栄養不足になって早産や低出生体重児のリスクが高まるという。「低出生体重児は将来メタボリック症候群になりやすいというデータもあります。お母さんが喫煙していると生まれる子どもも喫煙を好みやすい性質になるということも分かっています」と注意を呼びかけ

協会けんぽ・事業所・薬局が連携して禁煙をサポート

協会けんぽでは、本年度から県薬剤師会・県保健医療福祉事業団と連携して、禁煙の意思がある従業員を事業所・薬局・協会けんぽでサポートする「事業所で取り組む禁煙サポート事業」を進めている。同事業では、県保健医療福祉事業団の助成による禁煙補助薬(ニコチンパッチ)2週間分を無償提供。2週間ごとに県薬剤師会所属の指定薬局でパッチを受け取り、薬剤師から禁煙指導を受けられる。その際に記入する「禁煙サポート手帳」で従業員・薬局・事業所が禁煙の進捗状況を共有しながら、8週間の期間で禁煙を進めていく(3週目以降のパッチは事業所または個人負担)。

本年度は19の事業所(参加者は計65人)、29の薬局が参加しており、1月現在で20人が終了し、うち6人が禁煙に成功した。協会けんぽでは来年度以降も継続実施を目指している。



禁煙サポート手帳に禁煙補助薬の受け取り状況などを記入し、事業所と薬局で禁煙の進捗状況を確認

(3) ほ〜むぶらざ 第1906号 (2024年2月15日)

そろそろ本気で! 生活習慣病予防

⑪

禁煙に挑戦しよう!

1人で悩まない

Q2 禁煙のポイントは

健康に悪いから、子どもが生まれるからなど、なぜ禁煙したいのか動機をしっかりと確認しましょう。離脱症状でつらくなった時にそれを思い返すことで初心に立ち返り、モチベーションの維持につながります。また、健康への害など喫煙を続けることのデメリットが目が行きがちですが、食事がおいしく感じる・浮いたたばこ代を趣味や貯金に使えるなど禁煙のメリットを意識すると、より前向きに取り組むやすくなります。

次に禁煙を開始する日を決めましょう。月初めや誕生日など覚えやすい日や仕事が落ち着くタイミングで始めるのがいいでしょう。家族や友人、会社の同僚に禁煙することを伝え、つらい時に励ましてもらうなど周囲の協力も得ましょう。禁煙成功者がいるならその人に相談するのも一つの手です。

たばこを吸いたくなった時の対処法

A 動機をしっかりと把握、前向きに捉える

を事前に決めておきましょう。ガムをかんだり、冷たい飲み物を飲んだりして口に別の刺激を与えるのも一つの方法。食後に吸いたくなる人は歯磨きをしてみましょう。深呼吸やストレッチ、ハーブティーなどで気持ちをリラックスさせることも効果的。コーヒーよりカフェインが少ないさんぴん茶もおすすです。自分に合った対処法を見つけましょう。

禁煙は1回のチャレンジでできなくても期間を置いて何度でもトライできます。失敗しても後ろめたい気持ちになったり、自分を責める必要はありません。

少しでも禁煙したいと考えている方は、その気持ちを大事にして、ぜひお近くの薬局や薬剤師に相談してみてください。場合によっては禁煙補助薬を活用しながら一緒に禁煙に取り組みしましょう。

禁煙で大事なことは…

- ・動機付けをしっかりと
- ・禁煙を開始する日を決める
- ・吸いたくなった時の対処法を決める
- ・失敗しても期間を置いてチャレンジ!
- ・薬局や薬剤師に相談を

薬剤師から



ゆんたく薬局おもちもち店 代表
宮本直樹さん

協会けんぽの禁煙サポート事業の参加者に禁煙指導をしている

禁煙体験者の経験談

会社の支援もあって、禁煙にトライしやすい環境でありがたいです

実践した人

桑江徹さん

興南施設管理(株)に勤める



協会けんぽの禁煙サポート事業に参加した事業所の一つ、興南施設管理(株)で健康推進委員長を務める取締役常務の星良一寿さん

ごみ焼却施設などの公共施設の運転維持管理を手掛ける弊社では、「心身ともに健康で永く働ける職場」を目指して、楽しく継続してできる健康推進に取り組んでいます。協会けんぽの事業への参加もその一環です

喫煙のルーティンを崩すこと意識

林 煙しようと思ったのは家族、特に子どもたちからたばこをやめてほしいと言われたのがきっかけ。喫煙歴は20年ほどでこれまで何度か禁煙を試みましたが、うまくいきませんでした。ニコチンパッチを使った禁煙は今回が初めての試みでした。パッチを使用して4日目くらいから喫煙したいと思わなくなり、予想以上に効果があると感じました。

禁煙中に工夫したことは、自分が普段たばこを吸う時のルーティンを意識的に崩すこと。例えば、朝コーヒーを飲んだらたばこを吸う習慣があったので、朝はコーヒーを飲まないようにしました。また、普段はたばこを外で吸っているのに、吸いたい気分になった時は外に出な

いように心掛けました。

このようなことに気をつけて最初の2週間は順調に禁煙を進めていました。しかし、パッチは2週間ごとに薬局で受け取るスケジュールになっていたのですが、予定していた日はいろいろと立て込んでいて受け取ることができず、そのタイミングで自分がたばこを吸いたくなる状況が重なり、吸ってしまいました。

今回は禁煙に失敗しましたが、パッチが切れる前に次の分をもらっておくなど工夫したら成功するのではと手応えを感じました。私は仕事で悩んだり、考えごとをしたりする時にたばこを吸いたくなる傾向があるので、そんな時の対処法も事前に決めておこうと思います。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

会員の投稿を紹介します

論壇

1週間程度の予備用意を

新年早々、能登半島を襲った地震。ことほぐ気分になれないまま正月が終わりました。災害大国の日本では、家庭や企業、自治体ごとに食料や水などを備蓄する意識が定着しつつありますが、個人が普段服用している薬についてはいかがでしょうか？

持病がある人にとって、毎日服用している薬は、食料や水同様、命を守るために欠かすことのできないものです。高血圧症の人は、普段服用している降圧剤を急に中



糸嶺達

災害時の服用薬

止すると、リバウンドで血圧が急上昇する可能性があります。糖尿病で薬を服用している人は、いつもは気を付けている食事や運動制限があたり運動ができなくなったりすることで、普段以上に血糖コントロールは難しくなっています。

このように、万が一に備えてお薬は1週間程度予備を持つておく、玄関などすぐに取り出せる所に準備しておくことを提案します。薬剤には有効期間があるため、毎回お薬をもらうたびに、災害用予備薬を入れ替えるようにします。また、災害時には、お薬手帳

止すると、リバウンドで血圧が急上昇する可能性があります。糖尿病で薬を服用している人は、いつもは気を付けている食事や運動制限があたり運動ができなくなったりすることで、普段以上に血糖コントロールは難しくなっています。

「血圧の白い薬を、1日1錠、飲んでました」と言っても分かりませんが「お薬手帳」があれば、種類、ミリ数などの量が分かるので、正確に今服用している薬剤を特定することができます。また、お薬手帳の他に、携帯電話で薬の写真や薬の情報が記載された紙の情報撮影することもあります。

緊急の避難で時間的な余裕がなく、薬も携帯電話も持ち出せない場合も想定されます。その場合は「マイナンバーカード」の情報を用いて、オンライン資格確認等システムを導入している被災地域の医療機関・薬局において「災害時医療情報閲覧機能」（災害時モード）により、薬剤情報・診療情報・特定健診情報の閲覧ができます。また、災害時モードが利用できない場合でも、マイナンバーカードをお持ちの方は、ご自身や家族のスマートフォンから、マイナポータルで自身の服薬履歴などを確認できます。

避難所において医療関係者に普段飲んでお薬や特定健診のデータを提示したい場合に利用可能です。マイナンバーカードを紛失した際も、慌てずに災害時に相談可能な医療機関・薬局、救護所の担当者に相談しましょう。

（宮野湾市、薬剤師、61歳）

転載記事

2024年2月8日木曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2544号



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

© 2024じほう

PHARMACY NEWSBREAK

株式会社じほう

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写その他の複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします

薬学部新設「琉球大単独では困難」

福治理事・副学長、行政の財政支援が前提

沖縄県初の薬学部新設を巡り、琉球大（西原町）の福治友英理事・副学長はじほうの取材に応じ、「琉球大単独での新設は困難」という考えを示した。一方、慢性的な薬剤師不足という県の抱える課題については「地域貢献」を掲げる同大として「看過できない」とも発言。新設は行政の財政支援などが前提となるとしつつ、県との協議を始める方針を改めて示した。

県は、県内の国公立大を対象に新設を希望する大学を公募したが、昨年12月の期日までに応募する大学はなかった。一方、琉球大は県に対して「県内の慢性的な薬剤師不足の影響の大きさを踏まえ、薬学部設置の可能性を含め、県と緊密に連携しつつ協議を進めたい」と回答。設置に向けた協議に前向きな意向を示していた。

12月の判断について、福治理事は「過去に署名が寄せられるなど、琉球大に薬学部を設置してほしいという県民の期待は感じている」と説明。文部科学省が設定している、国立大に求められる3つの役割のうち、琉球大は「地域のニーズに応える人材育成・研究を推進」（地域貢献枠）を選択していることを踏まえ、「地域の課題をそのまま看過するわけにはいかない」と述べた。

●課題山積も「決して後ろ向きではない」

ただ、制度や財政上の課題が解消されない限り、大学として新設の判断は難しいという。制度上の課題としては、「18歳人口の減少を踏まえ、国立大の収容定員の総数を増やさない」という文科省の方針がある。仮に琉球大に薬学部を新設する場合は、他学部の定員を減らす必要があるため「文科省との交渉は必須になる」（福治理事）。また大学単独では施設整備費やランニングコストなどの財政的な負担を解消するめどは立ちづらいという。

福治理事は「決して新設に後ろ向きではない。条件が整えば、大学としても新設の方向性を打ち出せるが、現時点では『新設する』とも『しない』とも言いづらい」と話した。

県は引き続き、2028年度の薬学部開学を目指している。一方、福治理事は新設のスケジュールについて「答えられない」と明言を避けた。ただ、昨年10月に施行された文科省の薬学部新設規制の見直しは「5年をめど」とされたことから、同大としては文科省の動きもにらみつつ検討を進める姿勢もにじませた。

●医学部跡地に薬学部が「何も決まっていない」

同大病院・医学部の移転に伴い、移転元のキャンパス跡地と建物の利活用の議論も進んでいる。県や住民を交えた検討委員会が22年2月にまとめた報告書によると、大学教育のほか、健康・医療・バイオ産業拠点等の産業振興といった跡地全体を一括して活用する大規模施設を導入する案が盛り込まれている。また、跡地を3分割し、▽医療・福祉▽人材育成・研究開発▽住宅や商業など多機能ゾーンに振り分ける案もある。

医学部跡地に薬学部を誘致してほしいという声も一部にあるが、福治理事は「あくまで案の一つ。まだ何も決定されていない」と話した。（折口 慎一郎）

[許諾番号20240209_01]

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

国保・社保

国保

令和6年度 レセプト受付日と診療報酬等支払日

	レセプト受付 協力日	レセプト受付 締切日	診療報酬等の支払日
令和6年 4月	9日(火)	10日(水)	22日(月)
令和6年 5月	9日(木)	10日(金)	20日(月)
令和6年 6月	7日(金)	10日(月)	20日(木)
令和6年 7月	9日(火)	10日(水)	22日(月)
令和6年 8月	9日(金)	10日(土) *開所	20日(火)
令和6年 9月	9日(月)	10日(火)	20日(金)
令和6年 10月	9日(水)	10日(木)	21日(月)
令和6年 11月	8日(金)	10日(日) *開所	20日(水)
令和6年 12月	9日(月)	10日(火)	20日(金)
令和7年 1月	9日(木)	10日(金)	20日(月)
令和7年 2月	7日(金)	10日(月)	20日(木)
令和7年 3月	7日(金)	10日(月)	21日(金)

※ レセプトの受付締切は、10日(必着)です。(請求省令により毎月10日までと定められています)

※ 受付窓口は、午前9時から午後5時までです。

※ 12月は早期提出に御協力をお願いします。

※ 令和6年6月8日(土)、6月9日(日)、11月9日(土)、
令和7年2月8日(土)、2月9日(日)、3月8日(土)、3月9日(日)は、
閉所となりますのでご注意ください。

郵便等により送付される場合は、
安全確実な方法にて毎月1日～10日
必着をお願いします。

お問合せ先
沖縄県国民健康保険団体連合会
T E L 098-863-2473 (審査課)

国保・社保

支払基金

令和6年度診療（調剤）報酬請求書等受付及び返戻レセプト等発送日について

令和6年4月～令和7年3月における診療（調剤）報酬請求書等の受付締切日等についてお知らせいたします。

なお、診療（調剤）報酬請求書等の提出については、請求省令により「診療翌月の10日まで」と定められておりますのでご留意願います。

受付月	受付締切日	受付開所日	返戻等発送日
令和6年 4月	10日（水）		4/4（木）
5月	10日（金）		5/2（木）
6月	10日（月）		6/4（火）
7月	10日（水）		7/4（木）
8月	10日（土）	10日（土）	8/5（月）
9月	10日（火）		9/4（水）
10月	10日（木）		10/4（金）
11月	10日（日）	9（土）・10日（日）	11/5（火）
12月	10日（火）		12/4（水）
令和7年 1月	10日（金）		1/6（月）
2月	10日（月）		2/4（火）
3月	10日（月）		3/4（火）

※受付時間は9：00～17：30までとしておりますので、ご協力の程よろしくお願いします。

社会保険診療報酬支払基金沖縄支部



誌上ギャラリー（裏表紙）について

上：「由布シルキーロードから見る由布岳」 photo by 飯塚 雄矢（会営薬局とよみ）

撮影地：大分県由布市湯布院町

中央：「桂離宮の松琴亭」 photo by 山里 美恵子 撮影地：京都市西京区桂

左下：「和歌山城」 photo by 宮本 直樹（ゆんたく薬局 おもろまち店）撮影地：和歌山県

右下：「ちら〜くらべ」 photo by 佐藤 雅美（榊薬正堂 すこやか薬局グループ）

大嶺實清作の「顔シーサー」と顔（ちら〜）比べ 撮影地：やちむんの里「ギャラリー鶴屋」

編

集

後

記

化粧品開発をしている知人が、満を持してついに商品を完成させた。モニターとして関わっているが、近日中のリリースを心待ちにしている。私のアロマセラピーの師匠である彼女は、産婦人科クリニックで妊婦と赤ちゃんのためのアロマトリートメント施術をしながらアロマセラピーの指導と普及に努めている。その傍らでオリジナル化粧品の完成は感慨深い。「思いを形にする」とはなんともうらやましい。さて、私の仕事、私の思いが形になるのはいつ？・・・。

（クララ）

4月は、新薬局への異動に伴い、引っ越しの準備でバタバタと過ごしました。久しぶりの引っ越し準備で、段ボールを何枚も処分したり、荷物を整理したりと、思った以上に時間がかかりました。プライベートでは6月にアパートの引っ越し予定です。新居は現在よりも狭いので、薬剤師会の会報や勉強資料などで散らかることないように日頃から整理整頓を心掛けたいです。新しい環境で、今まで以上に仕事に集中できるよう頑張っていきたいと思います。また、最近の家電製品の値段の高さに驚きました。テレビや冷蔵庫など、欲しいものはどれも高額で、なかなか購入に踏み切れません。いつか新居に、最新の家電製品を揃えたいですね。（チャゲ）

会報原稿募集のご案内

広報委員会

おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいますようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します）。

どしどし
お寄せ
下さい！

☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10

TEL 098-963-8930

FAX 098-963-8932

e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp

友人に誘われて那覇ハーリー（一般部門）に出場してきました。出場と言っても全員が素人のエンジョイハーリー、漕ぎ方は事前にレクチャーしてもらえますが海での練習はゼロです(笑)。舵取りはプロの方がやってくれるので漕ぎ手の私たちはただひたすら漕ぐ、漕ぐ、漕ぐ。鐘の音に合わせて全員でタイミングを合わせて漕ぐんですが、これが難しい。水の抵抗も大きくカイの使い方が思うようにいかず一苦労。必死で漕ぐも、疲れも出てきて次第にみんなバラバラに。チームメイトの必死の掛け声で仕切りなおしたりタイミングを取り直したりしてひたすら漕ぎ、やっとのことでゴール。気づけばカイを握っていた指の皮がめくれていました。それだけ夢中で漕いでいたんだと思います。急造の素人チームでゴールできたことを褒めたいと思いますし、何より楽しかった！応援に駆けつけてくれた友人にも感謝です！打ち上げのビールが格別においしかったことと、翌日の筋肉痛は言うまでもありません。沖縄移住12年目にして初のハーリー。また1つ良い思い出が出来ました。誘ってくれた友人に感謝です。（ハンバーグ）

インターネットが使えなくなり約1か月に問題なく出来るようになった。自分では何もできないので、息子や孫達が代わる代わるにきてスマホ片手に悪戦苦闘、ドコモ光にも電話した。しかし今どきの電話は何度もかけてやっと繋がったかと思うと音声案内が延々と流れてあげくに「SNSで」、「チャットで」、と続く。それで直せば苦労はしないのに……。ところが悩ましいことに時々インターネットが使えるようになるのである。直った！直った！とぬか喜びをしていると翌日にはまた不通になるのである。そんなこんなでもたもたしていたが、やっと決心して何が原因かはわからないのでパソコンを買って、違約金を払ってプロバイダーも変えて、工事もして一から出直すことにしてやっと解決した。IT難民は辛い！

（ピアナ）



沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp
■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 **■薬事情報センター** TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937
■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 **■試験検査センター** TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932
■会営薬局うえはら 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原1-26-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567
■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-6026

おきなわ薬剤師会報 第322号 令和6年5月31日発行

◇次号は、令和6年7月下旬発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 前濱朋子

編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／池間記世・運天芳生・宮本直樹

久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子

八重山地区通信員／波多江直也 事務局／大城喜仁・川平真央

印刷：株式会社 東洋企画印刷



誌上ギャラリー
(会員作品)
お気軽にご投稿下さい。

